学修の手引き

第 4 学 年
（ Segment 8 ）

令和 8（2026）年度

東京女子医科大学
医 学 部

目　　次

東京女子医科大学設立の精神…… 1
東京女醫學校設立主意…… 2
序　言…… 3

東京女子医科大学の目的…… 4
東京女子医科大学医学部における 4 つのポリシー …… 5
MD プログラム 2011 について…… 9
　学部教育を通じて達成する医師としての実践力…… 10
　医の実践力_アウトカム・ロードマップ…… 12
　慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ…… 15
　カリキュラムツリー…… 17
　カリキュラムの構造…… 18
　週間の授業予定…… 18

セグメント８
Ⅰ　学修内容…… 20

Ⅱ　到達目標
　A. 包括的到達目標…… 21
　B. 科目別シラバス
　・基幹科目
　　≪臨床入門≫
　　「東洋医学系」…… 23
　　「入門型臨床実習」…… 27
　　「臨床基礎実習」…… 36
　　　ローテーション表 …… 74
　　　生化学・免疫…… 78
　　　血液…… 80
　　　輸血療法…… 82
　　　病理診断…… 84
　　　微生物…… 86
　　　気道管理 /FIRST AID…… 88
　　　法医（中毒学・Ai）…… 90
　　　心電図…… 92
　　　心エコー…… 94

腹部エコー…… 96
内視鏡…… 98
東洋医学…… 100
医療安全…… 102
臨床研究…… 104
CPC…… 106
放射線診断演習…… 108
保健所…… 111

・縦断教育科目
「至誠と愛」の実践学修」…… 118
「AI・データサイエンスと医療」…… 126
「基本的医学的表現技術」 …… 130
「国際コミュニケーション」…… 132
「医療・患者安全学」…… 140
「健康管理」…… 144
基礎研究医養成プログラム …… 146

Ⅲ 試験科目・試験日程…… 148
客観的臨床能力試験（OSCE)、総合試験（共用試験）CBT

Ⅳ S7,S8 教育委員会・学生アドバイザー・学生委員…… 167

Ⅴ 選択科目…… 169

Ⅵ 講義・実習時間割表…… 172

東京女子医科大学設立の精神

Ⅰ．　建学の精神

東京女子医科大学は、1900 年（明治 33 年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952 年（昭和 27 年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998 年（平成 10 年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

Ⅱ．　大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學校

〇設立主意

世界ノ文化ハ日一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアランヤ蓋シ一歩ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ專門學ニアリ由來女子ノ專門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年以前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ專門學校トシテハ女子師範學校、音楽學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞說ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而巳ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ髙尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ專門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ欽點ニシテ幾多ノ髙尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ巳レ女醫ノ業ニ從事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍観座視スルニ忍ビス浅學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月

東京女醫學校主　鷲山彌生　識

序　　言

学　長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100 年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは 2017 年度に改訂された『MD プログラム 2011 改訂版』（2017 年度 1 年生より導入）であるが、その原形は 1990 年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育（その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして 2018 年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展）を導入した『MD プログラム 90』、そして 1994 年に関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラム『MD プログラム 94』の導入である。

『MD プログラム 2011』では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが 2011 年に導入された。2017 年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018 年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第1条』

医学部の教育目標

将来医師が活躍しうる様々な分野で必要な基本的知識、技能および態度を身に体し、生涯にわたって学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題に取り組むにあたっては、自然科学にとどまらず、心理的、社会的、論理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人々と対応できる全人的医人としての素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における
人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第1条　本内規は、東京女子医科大学学則第1条第2項及び東京女子医科大学院学則第1条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第2条　医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

(1)「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成すること。

(2)　社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。

2　医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。

(1)　将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。

(2)　患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を実践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における4つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1 年次から 6 年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして 10 に区分されたカリキュラム、および縦断的カリキュラムとして「AI・データサイエンスと医療」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を 6 学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され 6 年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1 年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション

等で学ぶ機会が設けられ、4 年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに 5 年次から 6 年次では指導者の下で診療に参画して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、テュートリアル、チーム基盤型学修、「『至誠と愛』の実践学修」の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価を GPA (Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる 4 年次の CBT (Computer Based Testing)、OSCE (Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT(Problem-solving Ability Test)、ならびに 6 年次の Post-CC (Clinical Clerkship) OSCE は、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、「『至誠と愛』の実践学修」評価、テュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。 医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像
1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、思考力試験により評価します。

入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

	入学時	在学中	卒業時
大学 （機関レベル）	入学者選抜 入学時調査	休学率・退学率・学生調査・課外活動状況	学士授与(卒業)率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査
医学部 （課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ・共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外活動状況	卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与（卒業）率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査
学部科目レベル	入学者選抜	単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト 出席率・至誠と愛の体得度・ポートフォリオ・授業評価アンケート	

大学院医学研究科（課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率・退学率・単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	学位授与率・修了率・学位論文の IF・就職率・学生調査・アンケート調査
大学院科目レベル	入学者選抜	単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果（達成度）を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

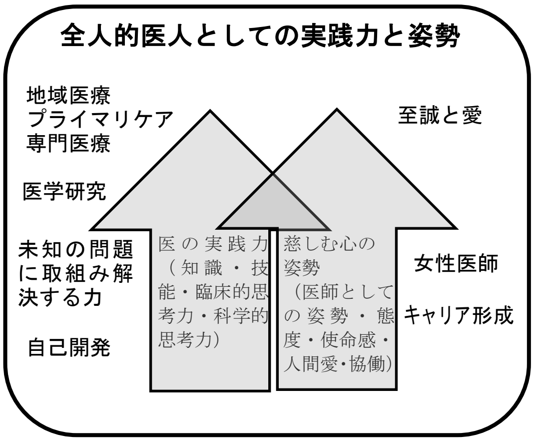
1） 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
2） 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
3） 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
4） 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

1） 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
2） 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
3） 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・テュートリアル・ＴＢＬ教育を通じて学ぶ。
4） 医師としての人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
5） 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
6） 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
7） 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力

医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する 6 個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する 5 個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時までに達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2 年）、中学年（3/4 年）、高学年（5/6 年）で達成すべき具体的目標をロードマップとして表してある。



アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

Ⅰ　医の実践力

1. **知識と技能を正しく使う力**
   - **A.　医学的知識を医療に活用できる。**
   - **B.　診断・治療・予防を実践できる。**
   - **C.　基本的技能を実践できる。**
2. **問題を見つけ追求する力**
   - **A.　解決すべき問題を発見できる。**
   - **B.　問題を深く追求できる。**
   - **C.　未知の問題に取り組むことができる。**
3. **問題解決に向け考え実行する力**
   - **A.　適切な情報を集め有効に活用できる。**
   - **B.　解決方法を選び実行できる。**
   - **C.　結果を評価できる。**
4. **情報を伝える力**
   - **A.　患者に情報を伝えることができる。**
   - **B.　医療情報を記録できる。**
   - **C.　医療者と情報交換ができる。**

5. 根拠に基づいた判断を行う力
   A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。
   B. 根拠に基づいて診療を行える。
6. 法と倫理に基づいて医療を行う力
   A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。
   B. 医療倫理を理解し実践できる。
   C. 研究倫理を理解し実践できる。
   D. 社会の制度に沿った診療を行える。

Ⅱ 慈しむ心の姿勢

1. 患者を理解し支持する姿勢
   A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。
   B. 家族・患者周囲に配慮できる。
   C. 社会の患者支援機構を活用できる。
2. 生涯を通じて研鑽する姿勢
   A. 目標を設定し達成するために行動できる。
   B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。
   C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。
   D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。
   E. 専門職として目標を持つ
3. 社会に奉仕する姿勢
   A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。
   B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。
4. 先導と協働する姿勢
   A. 自分の判断を説明できる。
   B. グループを先導できる。
   C. 医療チームのなかで協働できる。
5. ひとの人生へ貢献する姿勢
   A. 患者に希望を与えられる。
   B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

Ⅰ 医の実践力―アウトカム/ロードマップ

	1. 知識と技能を正しく使う力			2. 問題を見つけ追求する力		
アウトカム	A. 医学的知識を医療に活用できる。	B. 診断・治療・予防を実践できる。	C. 基本的技能を実践できる。	A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	C. 未知の問題に取り組むことができる。
1、2 年 ロードマップ	① 人体の正常な構造と機能を説明できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-① ② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-② ③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-③ ④ 世界の保険・医療問題、国際保健に関わる組織・計画・リソースについて概説できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-④	① データを読み解釈できる。Ⅰ-1-B-(1-2)-①	① 実習に必要な技術を実践できる。Ⅰ-1-C-(1-2)-① ② 安全に配慮して実習・研修を行える。Ⅰ-1-C-(1-2)-②	① 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。Ⅰ-2-A-(1-2)-①	① 仮説を導くことができる。Ⅰ-2-B-(1-2)-① ② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。Ⅰ-2-B-(1-2)-②	① 既知と未知の問題を明らかにできる。Ⅰ-2-C-(1-2)-① ② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。Ⅰ-2-C-(1-2)-②
3、4 年 ロードマップ	① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-① ② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-② ③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-③ ④ 疾患、症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④	① 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-① ② 適切な治療法とその根拠を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-② ③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-③	① 基本的医療技能を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-① ② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-②	① 問題の優先度および重要度を判断できる。Ⅰ-2-A-(3-4)-① ② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。Ⅰ-2-A-(3-4)-②	① 問題の科学的重要性を評価できる。Ⅰ-2-B-(3-4)-① ② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。Ⅰ-2-B-(3-4)-②	① 事例から自分の知らないことを発見できる。Ⅰ-2-C-(3-4)-① ② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。Ⅰ-2-C-(3-4)-②
5、6 年 ロードマップ	① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(5-6)-①	① 臨床推論を実践できる。Ⅰ-1-B-(5-6)-① ② 患者にあわせた診断・治療の判断ができる。Ⅰ-1-B-(5-6)-② ③ 患者に合わせた診療計画・経過観察計画を立てられる。Ⅰ-1-B-(5-6)-③	① 基本的医療技能を実践できる。Ⅰ-1-C-(5-6)-① ② 安全に配慮して、医療を実践できる。Ⅰ-1-C-(5-6)-②	① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。Ⅰ-2-A-(5-6)-① ② 患者の診療上の問題を明らかにできる。Ⅰ-2-A-(5-6)-②	① 患者の病態の原因を検索できる。Ⅰ-2-B-(5-6)-① ② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「こころ」から説明できる。Ⅰ-2-B-(5-6)-②	① 患者から新しいことを学べる。Ⅰ-2-C-(5-6)-① ② 患者から自分の知らないことを発見できる。Ⅰ-2-C-(5-6)-② ③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。Ⅰ-2-C-(5-6)-③

	3. 問題解決に向け考え実行する力			4. 情報を伝える力		
アウトカム	**A. 適切な情報を集め有効に活用できる。**	**B. 解決方法を選び実行できる。**	**C. 結果を評価できる。**	**A. 患者に情報を伝えることができる。**	**B. 医療情報を記録できる。**	**C. 医療者と情報交換ができる。**
1、2 年 ロードマップ	① 問題解決のための情報収集ができる。 Ⅰ-3-A-(1-2)-① ② 仮説を証明する手順を説明できる。 Ⅰ-3-A-(1-2)-②	① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。Ⅰ-3-B-(1-2)-① ② 複数の問題解決法を考えることができる。 Ⅰ-3-B-(1-2)-②	① 問題解決結果の妥当性を評価できる。Ⅰ-3-C-(1-2)-① ② 結果に予想される誤差を考えられる。Ⅰ-3-C-(1-2)-②	① 自分の考えを他者に伝えることができる。 Ⅰ-4-A-(1-2)-①	① 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 Ⅰ-4-B-(1-2)-① ② 研究・実習の報告書が作成できる。Ⅰ-4-B-(1-2)-② ③ 文書の要約を作成できる。 Ⅰ-4-B-(1-2)-③	① 簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。Ⅰ-4-C-(1-2)-① ② 相手の理解に合わせて、説明できる。Ⅰ-4-C-(1-2)-② ③ 自己学習の結果を適切に伝えられる。Ⅰ-4-C-(1-2)-③
3、4 年 ロードマップ	① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 Ⅰ-3-A-(3-4)-① ② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 Ⅰ-3-A-(3-4)-②	① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 Ⅰ-3-B-(3-4)-① ② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 Ⅰ-3-B-(3-4)-②	① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 Ⅰ-3-C-(3-4)-① ② 結果の客観的評価ができる。Ⅰ-3-C-(3-4)-② ③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 Ⅰ-3-C-(3-4)-③	① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 Ⅰ-4-A-(3-4)-① ② 患者に分かる言葉を選択できる。Ⅰ-4-A-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。Ⅰ-4-B-(3-4)-① ② POMR に基づく診療情報記録方法を説明できる。 Ⅰ-4-B-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。Ⅰ-4-C-(3-4)-① ② 医療チームでの情報共有について説明できる。Ⅰ-4-C-(3-4)-②
5、6 年 ロードマップ	① 適切な診療ガイドラインを選択できる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-① ② 診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。Ⅰ-3-A-(5-6)-② ③ 診療上の問題解決のための情報検索ができる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-③ ④ 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-④	① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。Ⅰ-3-B-(5-6)-① ② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 Ⅰ-3-B-(5-6)-②	① 診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-① ② 診療過程で予測される問題点を示せる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-② ③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-③	① 病状を患者が理解できるように伝えられる。 Ⅰ-4-A-(5-6)-① ② 診療に関する情報を患者が理解できるように伝えられる。 Ⅰ-4-A-(5-6)-②	① 診療録を適切に記載できる。 Ⅰ-4-B-(5-6)-① ② 処方箋を適切に発行できる。 Ⅰ-4-B-(5-6)-② ③ 症例要約を作成できる。 Ⅰ-4-B-(5-6)-③ ④ 死亡診断書記入法を説明できる。Ⅰ-4-B-(5-6)-④	① 口頭で症例提示ができる。 Ⅰ-4-C-(5-6)-① ② 患者の問題点を指導医に報告できる。Ⅰ-4-C-(5-6)-② ③ 必要な患者情報を要約して説明できる。Ⅰ-4-C-(5-6)-③ ④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 Ⅰ-4-C-(5-6)-④

	5. 根拠に基づいた判断を行う力		6. 法と倫理に基づいて医療を行う力			
アウトカム	A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。	B. 根拠に基づいて診療を行える。	A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。	B. 医療倫理を理解し実践できる。	C. 研究倫理を理解し実践できる。	D. 社会の制度に沿った診療を行える。
1、2年 ロードマップ	① 現象の原因・機序を検索できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-① ② 実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。Ⅰ-5-A-(1-2)-② ③ 情報の信頼度を評価できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-③	① 根拠に基づいて解決法を判断できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-① ② 問題解決の適切性を評価できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-②	① 社会的規範を守った生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-① ② 学則を守った学生生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-②	① 個人情報保護について説明できる。Ⅰ-6-B-(1-2)-① ② 倫理の概念について説明することができる。Ⅰ-6-B-(1-2)-②	① 研究倫理の概念について述べることができる。Ⅰ-6-C-(1-2)-① ② 研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。Ⅰ-6-C-(1-2)-②	
3、4年 ロードマップ	① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-① ② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。Ⅰ-5-A-(3-4)-② ③ 根拠となる文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-③	① 診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(3-4)-①	① 医学生の医行為水準を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-① ② 医師法・医療法の概要を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-②	① 医学における倫理の概念を説明できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-① ② 倫理的問題を明らかにできる。Ⅰ-6-B-(3-4)-② ③ 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-③	① 基礎研究における倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-① ② 利益相反(Conflict of interest)について説明できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-②	① 社会保障を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-① ② 医療に関する保証制度を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-②
5、6年 ロードマップ	① 基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。Ⅰ-5-A-(5-6)-① ② 問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-② ③ 検索した医学的情報の確かさを評価できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-③	① 患者に合わせた診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(5-6)-①	① 病院の規則に従って診療に関われる。Ⅰ-6-A-(5-6)-①	① 患者情報の守秘を励行して医療を行える。Ⅰ-6-B-(5-6)-① ② 臨床倫理を実践できる。Ⅰ-6-B-(5-6)-② ③ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。Ⅰ-6-B-(5-6)-③	① 臨床研究の倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(5-6)-①	① 患者に合わせて医療保険、医療補助制度を説明できる。Ⅰ-6-D-(5-6)-①

Ⅱ 慈しむ心の姿勢―アウトカム/ロードマップ

	1. 患者を理解し支持する姿勢			2. 生涯を通じて研鑽する姿勢				
アウトカム	A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。	B. 家族・患者周囲に配慮できる。	C. 社会の患者支援機構を活用できる。	A. 目標を設定し達成するために行動できる。	B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。	C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。	D. 自分の特性を生かした医療を行うために研鑽する。	E. 専門職として目標を持つ。
1、2 年 ロードマップ	① 他者の意志を聞き出すことができる。 Ⅱ-1-A-(1-2)-① ② 他者を尊重して対話ができる。 Ⅱ-1-A-(1-2)-② ③ 他者の自己決定を理解できる。 Ⅱ-1-A-(1-2)-③	① 様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。 Ⅱ-1-B-(1-2)-①	① 社会支援制度を説明できる。 Ⅱ-1-C-(1-2)-①	① 学習上の目標を設定することができる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-① ② 目標達成の手段を明らかにできる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-② ③ 省察（振り返り）を実践できる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-③ ④ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-④	① 社会が期待する医師像を説明できる。 Ⅱ-2-B-(1-2)-①	① 社会で活躍する女性の特性を述べられる。 Ⅱ-2-C-(1-2)-① ② 学習のための時間を適切に自己管理できる。 Ⅱ-2-C-(1-2)-②	① 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 Ⅱ-2-D-(1-2)-① ② 真摯に学びを励行できる。 Ⅱ-2-D-(1-2)-②	① 自分の目標となる人物像を説明できる。 Ⅱ-2-E-(1-2)-①
3、4 年 ロードマップ	① 傾聴できる。 Ⅱ-1-A-(3-4)-① ② 患者の人権・尊厳を説明できる。 Ⅱ-1-A-(3-4)-②	① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 Ⅱ-1-B-(3-4)-① ② 患者・家族の心理を説明できる。 Ⅱ-1-B-(3-4)-②	① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 Ⅱ-1-C-(3-4)-①	① 卒業までの学習目標を立て、自分の達成度を評価できる。 Ⅱ-2-A-(3-4)-① ② 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 Ⅱ-2-A-(3-4)-②	① 地域社会の医療ニーズを説明できる。 Ⅱ-2-B-(3-4)-①	① 学習目標を達成するための自己学習を計画的に行える。 Ⅱ-2-C-(3-4)-① ② 女性のライフサイクルを説明できる。 Ⅱ-2-C-(3-4)-② ③ キャリア継続の意思を持つ。 Ⅱ-2-C-(3-4)-③	① 自分の特性を活かして学習できる。 Ⅱ-2-D-(3-4)-① ② 学習の中で興味を持ったことを自ら学べる。 Ⅱ-2-D-(3-4)-②	① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 Ⅱ-2-E-(3-4)-①
5、6 年 ロードマップ	① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 Ⅱ-1-A-(5-6)-① ② 患者の意志を聞き出すことができる。 Ⅱ-1-A-(5-6)-② ③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 Ⅱ-1-A-(5-6)-③	① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-① ② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-② ③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-③	① 患者支援制度を検索し利用法を説明できる。 Ⅱ-1-C-(5-6)-①	① 診察能力・技能を振り返り、目標を設定し、修得のための方法を明らかにできる。 Ⅱ-2-A-(5-6)-①	① 研修（実習）する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 Ⅱ-2-B-(5-6)-①	① ライフサイクルを理解し、その中でキャリア継続のための計画を立てられる。 Ⅱ-2-C-(5-6)-①	① 自分の目指す医師像を達成するための計画を示せる。 Ⅱ-2-D-(5-6)-①	① 自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを述べることができる。 Ⅱ-2-E-(5-6)-①

	3. 社会に奉仕する姿勢		4. 先導と協働する姿勢			5. ひとの人生へ貢献する姿勢	
アウトカム	A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。	B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。	A. 自分の判断を説明できる。	B. グループを先導できる。	C. 医療チームのなかで協働できる。	A.患者に希望を与えられる。	B. 後輩を育てることができる。
1、2年ロードマップ	① 社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 Ⅱ-3-A-(1-2)-①	① 医学研究の重要性について概説できる。 Ⅱ-3-B-(1-2)-①	① 自分の考えの根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(1-2)-①	① 共通の目標を設定できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-① ② 活動向上のための評価ができる。 Ⅱ-4-B-(1-2)-② ③ 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-③	① 他者の話を聴くことができる。Ⅱ-4-C-(1-2)-① ② 対話の中で相手の述べることを要約できる。 Ⅱ-4-C-(1-2)-② ③ 役割分担を確実に実践できる。Ⅱ-4-C-(1-2)-③	① 医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。Ⅱ-5-A-(1-2)-① ② 困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。Ⅱ-5-A-(1-2)-②	① 学生として適切な振る舞いで行動できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-① ② 学んだことを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-②
3、4年ロードマップ	① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①	① 基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-① ② 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-② ③ 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 Ⅱ-3-B-(3-4)-③	① 自分の選択・判断の根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-① ② 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-②	① 討論・話し合いを促せる。Ⅱ-4-B-(3-4)-① ② 自分の方針を説明し同意を得ることができる。Ⅱ-4-B-(3-4)-② ③ 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 Ⅱ-4-B-(3-4)-③	① グループ目標達成のために行動できる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-① ② 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-②	① 学習する事例について医学の貢献を説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-① ② 問題を解決できたときの状況を考え説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-②	① 自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-① ② 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-②
5、6年ロードマップ	① 臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 Ⅱ-3-A-(5-6)-①	① 診療のなかで医学研究の課題を見つけることができる。 Ⅱ-3-B-(5-6)-①	① 診療上の判断を他者に分かるように説明できる。 Ⅱ-4-A-(5-6)-①	① 講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 Ⅱ-4-B-(5-6)-①	① 自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。Ⅱ-4-C-(5-6)-① ② 与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 Ⅱ-4-C-(5-6)-①	① 医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-① ② 患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-②	① 適切な振る舞いで診療に参加できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-① ② 他者の疑問を共に解決することができる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-② ③ 医療の中で他者に教えることを実践できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-③

卒業時

ディプロマ・ポリシー	
DP5	生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。
DP4	安全な医療を行える能力を有する。
DP3	医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
DP2	自ら問題を発見し解決する能力を持つ
DP1	医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。

アウトカム

医の実践力						慈しむ心の姿勢				
知識と技能を正しく使う力	問題を見つけ追及する力	問題解決に向け考え実行する力	根拠に基づいた判断を行う力	情報を伝える力	法と倫理に基づいて医療を行う力	患者を理解し支援する姿勢	ひとの人生へ貢献する姿勢	社会に奉仕する姿勢	先導と協働する姿勢	生涯を通じて研鑽する姿勢

カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を 2 年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を 3 年後期までに学ぶ。4 年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わり、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして 4 年後期は、臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解を学び、4 年後半から医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。4 年後半から 6 年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6 年後期は、6 年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が 4 もしくは 6 年間で継続して自己開発する必要のある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

６年間のカリキュラム全体図

<table>
<tr><td rowspan="2">1年</td><td>前期
（4月～7月）</td><td>セグメント1</td><td>人体の基礎</td><td rowspan="2">人体の基本的構造と機能／
人体の防御機構</td><td rowspan="7">テュートリアル・TBL</td><td rowspan="12">「至誠と愛」の実践学修</td><td rowspan="12">医療・患者安全学</td><td rowspan="12">基本的・医学的表現技術</td><td rowspan="12">国際コミュニケーション</td><td rowspan="8">AI・データサイエンスと医療教育</td><td rowspan="7">選択科目</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>後期
（9月～3月）</td><td>セグメント2</td><td>人体の機能と
微細構造</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td>前期</td><td>セグメント3</td><td>人体の構造と
疾患の基礎</td><td>人体の発生と全体構造</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント4</td><td>臓器・器官系の構造と
機能の正常と異常１</td><td>疾患の成り立ちと治療の基礎／循環器系
呼吸器系／腎尿路系／生殖器／妊娠と分娩</td><td rowspan="6">研究プロジェクト</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td>前期</td><td>セグメント5</td><td>臓器・器官系の構造と
機能の正常と異常２／
人の一生</td><td>消化器系／内分泌系／栄養・代謝系
新生児・小児・思春期／加齢と老化、臨終</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント6</td><td>臓器・器官系の構造と
機能の正常と異常３／
医学研究</td><td>脳神経系／精神系／運動器系／
皮膚粘膜系／聴覚・耳鼻咽喉系／眼・視覚系</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4年</td><td>前期</td><td>セグメント7</td><td>全身的な変化と医学／
医療と社会</td><td>全身的な変化／医学と社会</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント8</td><td>臨床入門</td><td>臨床入門</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">5年</td><td>前期</td><td rowspan="3">セグメント9</td><td rowspan="3">医療と医学の
実践</td><td rowspan="3">診療参加型臨床実習（研究実習）</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>後期</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">6年</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント10</td><td>全体統合・
総合達成度評価</td><td>卒業試験</td></tr>
</table>

週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、テュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

セグメント８

「医学・医療と社会／臨床入門」

2026 年 8 月 24 日～2026 年 12 月 18 日

Ⅰ　学　修　内　容

セグメント８の基幹科目は、セグメント７までの科目で修得した知識を統合して臨床に応用する『臨床入門』となっている。

『臨床入門』では、「診療の基礎」「臨床基礎実習」および「入門型臨床実習」の各科目を通して、全身管理に関わる医学を学び、４年生１月からの診療参加型臨床実習に向けての知識を修得する。なかでも「臨床基礎実習」は、臨床実習で実際に必要な検査の基本的知識を各科で学び、放射線診断演習や CPC 実習で診断に必要な症候から疾患を考える知識を修得する。「診療の基礎」では講義および実習で症候からの臨床判断や臨床技能を修得する。また、「入門型臨床実習」では、症例を基盤として医師の基本能力ともいえる問題指向型診療記録の記載方法、臨床推論や根拠に基づく医療の基礎、チーム医療・患者安全・リスクマネージメント、患者に合わせた診断・治療の実際を学ぶ演習を行う。

以上のように、セグメント８は、４年生１月から始まる医療現場における診療参加型臨床実習を学生自らが積極的に行うための仕上げのカリキュラムである。

Ⅱ　到達目標

A．包括的到達目標

1. 診療参加型臨床実習を行う前の準備状態を完成するため、基本的臨床技能（医療面接法、身体診察法）の手技および態度を身につけ、診断に必要な情報を収集することができ、問題指向型システムに基づいた診療録に記載することができる。また、これまで臓器系・疾患別に学修してきた内容を統合し、症候から医療面接、身体診察、鑑別のための検査などを経て診断にいたるプロセスを習得できるようにする。Evidence-based Medicine (EBM)を理解し、エビデンスを探して吟味したうえで正しく利用できるようにする．さらに、病院内のチーム医療のあり方、リスクマネージメントについても理解し、適切に行動できるようにする。
   1) 症候と病態・疾患
   2) 問題指向型システム（POS）とそれに基づいた診療録（POMR）
   3) 医療面接
   4) 身体診察法
   5) Evidence-based Medicine (EBM)
   6) 臨床推論・臨床判断
   7) チーム医療
   8) 患者安全・リスクマネージメント

2. 東洋医学についてその基本的思考を理解し、主要疾患の症状の漢方医学的とらえ方およびその対応、漢方薬の特徴、作用機序、副作用について述べることができる。
   1) 漢方、鍼灸治療の適応・不適応
   2) 東洋医学的病態把握
   3) 漢方・鍼灸治療の特徴
   4) 漢方薬の特徴・作用機序・副作用

B. 科目別シラバス

科目名	東洋医学系
科目責任者(所属)	木村　容子

到達目標	高齢社会の到来とともに、疾病構造が変化し、伝統医学の役割が再認識されている。東洋の伝統医学は近代西洋医学と病態の認識方法や治療の理念が異なっており、両者の連携を如何に実践していくかが課題となっている。学生が、将来どの科を選択するにしても、現代医学のエビデンスを踏まえた上で、必要なときに漢方診療を実践できることを目指す。講義では、基本的な諸概念と臨床の実際をとりあげる。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	適切な治療法とその根拠を説明できる。　Ⅰ-1-B-(3-4)-②
学修（教育）方法	講義
評価方法 (1)総括的評価の対象	定期試験（筆記試験）の点数を科目の評価点とする。実習の評価は実習中の態度と実技内容を対象とする。
評価方法 (2)評価項目	医療のあり方 １）漢方医学の、現代医療における役割を理解し、説明できる。　F-02-08-⑬ ２）漢方医学の歴史を理解し、重要な古典の特徴を説明できる。　F-02-08-⑬ 病理 ３）漢方医学の病理思想である陰陽、虚実、気血水、五臓について理解し、説明できる。　F-02-08-⑬ ４）漢方医学的診察である四診（望診・聞診・問診・切診）の方法と意義について理解し、説明できる。　F-02-08-⑬ 診察 治療 ５）湯液治療と鍼灸治療の特徴を説明できる。　F-02-08-⑬ ６）感冒、冷え、多愁訴患者、虚弱体質患者、高齢者に対する漢方医学的治療法について理解し、適合する漢方方剤を鑑別できる。　F-02-08-⑬ 和漢薬（生薬） ７）和漢薬の特徴、作用、副作用について理解し、説明できる。　F-02-08-⑬
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90点以上）、A.良く理解している（80点以上90点未満）、B.理解している（70点以上80点未満）、C.ある程度は理解しているが、十分ではない（60点以上70点も未満）、D.あまり理解できていない（60点未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
事前・事後学修	講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。
伝達事項	-
実務経験	○　大学病院の東洋医学研究所の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『医学生のための東洋医学入門』	東京女子医科大学東洋医学研究所		
2.	『学生のための漢方医学テキスト』	日本東洋医学会学術教育委員会編	南江堂 2007	978-4-524-25031-8
3.	『基本がわかる漢方医学講義』	日本漢方医学教育協議会編	羊土社 2020	978-4-7581-1875-0
4.	『漢方治療ハンドブック』	佐藤弘著	南江堂 1999	4524207260
5.	『漢方治療のファーストステップ』	松田邦夫, 稲木一元著	南山堂 1999	4525470011
6.	『東洋医学概説　22刷』	長濱善夫著	創元社 1992	4422413015
7.	『やさしい東洋医学』	伊藤　隆、木村容子、蛯子慶三	ナツメ社 2016	978-4-8163-5996-5

関連リンク	1.　日本東洋医学会　http://www.jsom.or.jp/universally/index.html
添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK	

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間

1.	2026/10/19(月)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	1. 漢方医学総論			
	担当者（所属）	木村 容子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
	講義資料番号/連番 (LMS)				1
2.	2026/10/19(月)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	2. 漢方医学の病態把握（1）			
	担当者（所属）	河尻 澄宏			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
	講義資料番号/連番 (LMS)				2
3.	2026/10/20(火)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	3. 漢方医学の病態把握（2）			
	担当者（所属）	宮川 亨平			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
	講義資料番号/連番 (LMS)				3
4.	2026/10/20(火)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	4. 漢方医学の診断法			
	担当者（所属）	宮川 亨平			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
	講義資料番号/連番 (LMS)				4
5.	2026/10/21(水)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	5. 漢方薬について			
	担当者（所属）	森永 明倫			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
	講義資料番号/連番 (LMS)				5
6.	2026/10/21(水)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	6. 漢方治療の実際 (1)			
	担当者（所属）	髙橋 厚子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
	講義資料番号/連番 (LMS)				6

授業予定表	7.	2026/10/30(金)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
		タイトル	7. 漢方治療の実際 (2)			
		担当者（所属）	河尻　澄宏			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
		講義資料番号/連番 (LMS)				7
	8.	2026/10/30(金)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
		タイトル	8. 鍼灸総論			
		担当者（所属）	津嶋　伸彦			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
		講義資料番号/連番 (LMS)				8
	9.	2026/11/04(水)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
		タイトル	9. 鍼灸各論			
		担当者（所属）	宮川　亨平			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
		講義資料番号/連番 (LMS)				9
	10.	2026/11/04(水)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
		タイトル	10. 古典から学ぶ			
		担当者（所属）	宮川　亨平			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-8)⑬			
		講義資料番号/連番 (LMS)				10
	11.	2026/11/19(木)	１時限	試験	－	10:00-11:30
		タイトル	東洋医学系 試験10:00-11:30(講義室202,203)			
		担当者（所属）	－　－			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				11
	12.	2026/11/19(木)	２時限	試験	－	10:00-11:30
		タイトル	東洋医学系 試験10:00-11:30(講義室202,203)			
		担当者（所属）	－　－			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				12

	13.	2026/11/27(金)	１時限	追･再試験	−	10:00-11:30
		タイトル	東洋医学系 追再試験10:00-11:30(講義室203)			
		担当者（所属）	− −			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				13
	14.	2026/11/27(金)	２時限	追･再試験	−	10:00-11:30
		タイトル	東洋医学系 追再試験10:00-11:30(講義室203)			
		担当者（所属）	− −			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				14

科目名	入門型臨床実習
科目責任者(所属)	西井　明子

到達目標	入門型医臨床実習では、セグメント９の診療参加型臨床実習を有効に行うための準備として、基礎医学と臨床医学を統合し、病態を考え、臨床推論を行う力が身についているかどうかを確認すると共に、実際の診療に必要となる医療安全、患者安全、個人情報の取り扱い、感染予防と感染制御、放射線安全、遺伝カウンセリングの知識とスキルなどについて理解し概説できる能力を身に着けることを目標とする。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。　I-1-A-(3-4)-① 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。　I-1-A-(3-4)-② 疾患、症候の病態を説明できる。　I-1-A-(3-4)-④ 診断の過程を説明し実践できる。　I-1-B-(3-4)-① 問題の優先度および重要度を判断できる。　I-2-A-(3-4)-① 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。　Ｉ-4-C-(3-4)-① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。　I-3-B-(3-4)-① 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。　I-3-B-(3-4)-② 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。　I-4-A-(3-4)-① 患者に分かる言葉を選択できる。　I-4-A-(3-4)-② 医療チームでの情報共有について説明できる。　I-4-C-(3-4)-② データ・結果の根拠を批判的に説明できる。　I-5-A-(3-4)-① 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。　I-5-A-(3-4)-② 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。　I-6-B-(3-4)-③
学修（教育）方法	CBT演習では、CBTの練習問題を、臨床医学・基礎医学を結び付けて考え、解くために、臨床医学系教員と基礎医学系教員のジョイント形式で、学生が能動的に参加するアクティブラーニングを行う。遺伝カウンセリングは、小グループに分かれて遺伝カウンセリングの模擬実習を行うアクティブラーニング形式で行う。その他については、講義形式で行う。
評価方法 (1)総括的評価の対象	評価項目 CBT演習問題、入門型臨床実習まとめテスト、遺伝カウンセリングのレポート、そのほかの講義の講義復習テスト 評価基準 上記の評価項目について重みづけをした上で合算し、１から５までの段階評価を行う。平均3以上を合格とする。
評価方法 (2)評価項目	主要症候(表5)について原因と病態生理を理解している。 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。　A-1-3)② 医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。　A-1-3)③ 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。　A-1-3)④ 必要な課題を自ら発見できる。　A-2-1)① 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。　A-2-1)② 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。　A-2-1)③ 課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。　A-2-1)④ 病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等）を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。　A-3-1)① 診療録（カルテ）についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record <POMR>)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。　A-3-1)④ 患者の病状（症状、身体所見、検査所見等）、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。　A-3-1)⑤ コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。　A-4-1)① コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。　A-4-1)② 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。　A-4-1)③ 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。　A-4-2)① 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。　A-4-2)③ 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。　A-4-2)④ 患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。　A-4-2)⑤ 患者のプライバシーに配慮できる。　A-4-2)⑥ 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。　A-4-2)⑦ 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。　A-6-1)① 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。　A-6-1)② 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。　A-6-1)③ 医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やってはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。　A-6-1)④ 診療録（カルテ）に関する基本的な知識（診療録の管理と保存（電子カルテを含む）、診療録の内容、診療情報の開示、プライバシー保護、セキュリティー、問題志向型医療記録<POMR>、主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan <SOAP>)）を説明でき、実際に作成できる。　B-2-2)① 診療に関する諸記録（処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約）を説明できる。　B-2-2)② 情報収集には医療面接、身体診察、検査の３つの方法があることを説明できる。　F-2-1)② 清潔の概念と必要性を説明できる。　F-2-9)-(1)①

	基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。	F-3-1)①
	得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。	F-3-1)②
	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。	F-3-2)①
	診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画<SOAP>で記載できる。	F-3-3)②
	症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。	F-3-3)③
	プライバシー保護とセキュリティーに充分配慮できる。	F-3-3)④
	模擬患者の協力を得て、臨床技能（コミュニケーションスキルを含む）や医療者に求められる態度を身に付ける。	G-4-4)②
	シナリオを用いたトレーニングを通して、状況判断、意思決定能力を獲得する。	G-4-4)③
	振り返りによって自己省察能力を高める。	G-4-4)⑤

評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	CBT演習問題の総合計(30%)、入門型臨床実習まとめテスト(30)%、遺伝カウンセリングのレポート(20%)、そのほかの講義の講義復習テスト及び放射線講習会の動画視聴(20%)を合計 評価基準 上記の評価項目について合算し、1から5までの段階評価を行う。平均3以上を合格とする。
事前・事後学修	CBT演習については事前にCBTに向けた学修をしておく。他の実習・講義については講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくはレポートで事後学修する。
伝達事項	本実習への出席率が2/3に満たないとき、CBT, OSCEの受験資格を失う。
実務経験	○ / 大学病院の循環器内科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う
教科書・参考図書	（下表）

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目』	公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構	公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 2020	
2.	『「型」が身につくカルテの書き方』	佐藤健太	医学書院 2015	ISBN-10: 4260021060,ISBN-13: 978-4260021067
3.	『Common Diseaseの診療ガイドライン～総合診療における診断・治療の要点と現場での実際の考え方』	横林賢一、渡邉隆将、齋木啓子	羊土社 2017	ISBN-10: 4758118094,ISBN-13: 978-4758118095
4.	『ガイドライン外来診療2020』	泉孝英	日経BP 2020	ISBN-10: 4296105566,ISBN-13: 978-4296105564
5.	『外来診療をはじめよう～救急や病棟とは一味違った診療プロセスを意識して、一般外来患者さんを上手に診よう!』	石丸裕康	羊土社 2020	ISBN-10: 4758116385,ISBN-13: 978-4758116381
6.	『めざせ!外来診療の達人-外来カンファレンスで学ぶ診断推論』	生坂政臣	日本医事新報社 2010	ISBN-10: 4784954295,ISBN-13: 978-4784954292
7.	『ゼロから始めて一冊でわかる！みんなのEBMと臨床研究』	神田善伸	南江堂 2016	ISBN:978-4-524-25548-1
8.	『電子カルテ時代のPOS』	渡辺直	医学書院 2012	ISBN978-4-260-01635-3
9.	『内科外来診療マニュアル』	吉岡成人	医学書院 2003	ISBN-10: 4260102826,ISBN-13: 978-4260102827
10.	『全ての診療科で役立つ皮膚診療のコツ―これだけは知っておきたい症例60』	山崎雄一郎	羊土社 2010	ISBN-10: 4758106894,ISBN-13: 978-4758106894
11.	『ハリソン内科学 第5版』	日本語版監修 福井次矢、黒川 清	メディカルサイエンスインターナショナル 2017	ISBN-10: 489592873X,ISBN-13: 978-4895928731
12.	『内科診断学』	福井次矢	医学書院 2016	ISBN-10: 4260020641,ISBN-13: 978-4260020640
13.	『レジデントノート 2020年2月 Vol.21 No.16 外来診療をはじめよう?救急や病棟とは一味違った診療プロセスを意識して、一般外来患者さんを上手に診よう!』	石丸裕康 編集	羊土社 2020	ISBN-10: 4758116385,ISBN-13: 978-4758116381
14.	『外来診療ドリル-診断&マネジメント力を鍛える200問』	松村真司、矢吹拓	医学書院 2016	ISBN-10: 4260025058,ISBN-13: 978-4260025058
15.	『ジェネラリストのための内科外来マニュアル 第2版』	金城光代、金城紀与史、岸田直樹	医学書院 2017	ISBN-10: 4260028065,ISBN-13: 978-4260028066
16.	『ジェネラリストのための内科診断リファレンス: エビデンスに基づく究極の診断学をめざして』	上田剛士	医学書院	ISBN-10: 426000963X,ISBN-13: 978-42

			2014	60009638
17.	『内科レジデントの鉄則 第3版』	聖路加国際病院内科チーフレジデント	医学書院 2018	ISBN-10: 4260034618,ISBN-13: 978-4260034616
18.	『ホスピタリストのための内科診療フローチャート 第2版』	髙岸 勝繁	シーニュ 2019	ISBN-10: 4990950550,ISBN-13: 978-4990950552

関連リンク	
添付ファイル ※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK	

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/08/24(月)	５時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義) 心電図(不整脈)			
	担当者（所属）	西井　明子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				1
2.	2026/08/24(月)	６時限	講義	講義室 203	16:35-17:45
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)感染症			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				2
3.	2026/08/25(火)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)消化器疾患とその病態			
	担当者（所属）	米澤　麻利亜			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				3
4.	2026/08/25(火)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)血液疾患			
	担当者（所属）	吉永　健太郎			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				4
5.	2026/08/25(火)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)膠原病・リウマチ疾患			
	担当者（所属）	田中　榮一			

	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				5
6.	2026/08/25(火)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)酸塩基平衡			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				6
7.	2026/08/25(火)	５時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)呼吸器疾患			
	担当者（所属）	赤羽　朋博			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				7
8.	2026/08/25(火)	６時限	講義	講義室 203	16:35-17:45
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)神経疾患			
	担当者（所属）	藤堂　謙一			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				8
9.	2026/08/26(水)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)慢性腎炎			
	担当者（所属）	武田　志帆			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				9
10.	2026/08/26(水)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)腎臓の病理			
	担当者（所属）	倉田　厚			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				10
11.	2026/08/26(水)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)内分泌疾患			
	担当者（所属）	大月　道夫			

	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				11
12.	2026/08/27(木)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)糖尿病、代謝性疾患とその病態			
	担当者（所属）	三浦　順之助 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				12
13.	2026/08/27(木)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)糖代謝、アミノ酸代謝			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				13
14.	2026/08/27(木)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義) 心電図(心筋症、心筋虚血)			
	担当者（所属）	西井　明子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				14
15.	2026/08/27(木)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)神経疾患			
	担当者（所属）	星野　岳郎			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				15
16.	2026/08/27(木)	５時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)膠原病・リウマチ疾患			
	担当者（所属）	勝又　康弘			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				16
17.	2026/08/28(金)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)病理と病態			

授業予定表		担当者（所属）	長嶋　洋治			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
		講義資料番号/連番(LMS)				17
	18.	2026/08/28(金)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
		タイトル	CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)病理と病態			
		担当者（所属）	長嶋　洋治			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
		講義資料番号/連番(LMS)				18
	19.	2026/11/04(水)	３時限	実習	講義室 203	12:30-13:40
		タイトル	遺伝カウンセリング全体説明			
		担当者（所属）	山本　俊至			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
		講義資料番号/連番(LMS)				19
	20.	2026/11/10(火)	２時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33	10:25-11:35
		タイトル	遺伝カウンセリング 実演			
		担当者（所属）	山本　俊至			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
		講義資料番号/連番(LMS)				20
	21.	2026/11/10(火)	３時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29	12:30-13:40

				テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33	
	タイトル	遺伝カウンセリング 実演			
	担当者（所属）	山本　俊至			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
	講義資料番号/連番 (LMS)				21
22.	2026/11/10(火)	４時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33	13:55-15:05
	タイトル	遺伝カウンセリング 実演			
	担当者（所属）	山本　俊至			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
	講義資料番号/連番 (LMS)				22
23.	2026/11/10(火)	５時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	感染予防と感染制御			
	担当者（所属）	菊池　賢			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-6-1)，A-6-3)			
	講義資料番号/連番 (LMS)				23
24.	2026/11/10(火)	６時限	講義	講義室 203	16:35-17:45
	タイトル	感染予防と感染制御			
	担当者（所属）	菊池　賢			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-6-1)，A-6-3)			
	講義資料番号/連番 (LMS)				24
25.	2026/11/19(木)	４時限	講義	－	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習まとめ・テスト(講義室202,203)			
	担当者（所属）	西井　明子			

	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-02-02-⑤,F-02-03-⑦⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮,F-02-04-①②,F-03-01-①②③④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				25
26.	2026/12/14(月)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	診療参加型臨床実習のための放射線安全講習会			
	担当者（所属）	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	E-6-1-3)			
	講義資料番号/連番 (LMS)				26
27.	2026/12/14(月)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	診療参加型臨床実習のための放射線安全講習会			
	担当者（所属）	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	E-6-1-3)			
	講義資料番号/連番 (LMS)				27
28.	2026/12/14(月)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習の前に、臨床現場を模擬体験しよう！			
	担当者（所属）	鈴木　厚子 西井　明子 河合　麻衣子 土井　範子 林　哲朗			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
	講義資料番号/連番 (LMS)				28
29.	2026/12/16(水)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	臨床実習の前に、臨床現場を模擬体験しよう！			
	担当者（所属）	鈴木　厚子 西井　明子 河合　麻衣子 土井　範子 林　哲朗			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
	講義資料番号/連番 (LMS)				29
30.	2026/12/16(水)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	薬物治療の安全確保と適正化			
	担当者（所属）	塩川　満			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-6-1)④,F-2-8)⑪,G-1-1)-(1)6			

		講義資料番号/連番(LMS)				30
	31.	2026/12/16(水)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
		タイトル	医療安全啓発センター/チーム医療(1)			
		担当者（所属）	世川　修			
		コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-5-1)①②③,A-6-1)①②③④⑤,A-6-2)①②③			
		講義資料番号/連番(LMS)				31
	32.	2026/12/16(水)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
		タイトル	医療安全啓発センター/チーム医療(2)			
		担当者（所属）	世川　修			
		コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-5-1)①②③,A-6-1)①②③④⑤,A-6-2)①②③			
		講義資料番号/連番(LMS)				32
	33.	2026/12/18(金)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
		タイトル	電子カルテシステム、医療情報の取り扱い、個人情報の保護①			
		担当者（所属）	－　－			
		コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)④,A-4-2)⑦,A-6-1)③,B-2-2)①②③④,F-3-3)④			
		講義資料番号/連番(LMS)				33
	34.	2026/12/18(金)	５時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
		タイトル	電子カルテシステム、医療情報の取り扱い、個人情報の保護②			
		担当者（所属）	－　－			
		コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(1)③,B-2-2)①②③④			
		講義資料番号/連番(LMS)				34

科目名	臨床基礎実習
科目責任者(所属)	小林　博人 種田　積子

到達目標	v
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	別添の各実習内容に記載　　　-
学修（教育）方法	別添の各実習内容に記載
評価方法 (1)総括的評価の対象	別添の各実習内容に記載
評価方法 (2)評価項目	別添の各実習内容に記載　　　-
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	各実習担当医による5段階評価 5：大変優れている 4：優れている 3：平均的 2：要努力 1：かなりの要努力
事前・事後学修	講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。
伝達事項	別添の各実習内容に記載
実務経験	○　大学病院の病理診断学の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う
教科書・参考図書	(see below)
関連リンク	
添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK	

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『別添の各実習内容に記載』			

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/09/10(木)	３時限	実習	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習オリエンテーション			
	担当者（所属）	小林　博人 野原　理子 武藤　剛			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/09/10(木)	４時限	実習	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習オリエンテーション			
	担当者（所属）	小林　博人 野原　理子 武藤　剛			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)					2
3.	2026/09/11(金)	１時限	実習	–		09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	– –				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					3
4.	2026/09/11(金)	２時限	実習	–		10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	– –				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					4
5.	2026/09/11(金)	３時限	実習	–		12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	– –				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					5
6.	2026/09/11(金)	４時限	実習	–		13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	– –				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					6
7.	2026/09/11(金)	５時限	実習	–		15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	– –				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					7
8.	2026/09/11(金)	６時限	実習	–		16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	– –				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					8

9.	2026/09/14(月)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2026/09/14(月)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2026/09/14(月)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2026/09/14(月)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2026/09/14(月)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2026/09/14(月)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2026/09/15(火)	１時限	実習	−	09:00-10:10

	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					15
16.	2026/09/15(火)	２時限	実習	−		10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					16
17.	2026/09/15(火)	３時限	実習	−		12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					17
18.	2026/09/15(火)	４時限	実習	−		13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					18
19.	2026/09/15(火)	５時限	実習	−		15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					19
20.	2026/09/15(火)	６時限	実習	−		16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					20
21.	2026/09/16(水)	１時限	実習	−		09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習				

	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2026/09/16(水)	２時限	実習	‒	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2026/09/16(水)	３時限	実習	‒	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2026/09/16(水)	４時限	実習	‒	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2026/09/17(木)	１時限	実習	‒	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2026/09/17(木)	２時限	実習	‒	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2026/09/17(木)	３時限	実習	‒	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					27
28.	2026/09/17(木)	４時限	実習	−		13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					28
29.	2026/09/17(木)	５時限	実習	−		15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					29
30.	2026/09/17(木)	６時限	実習	−		16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					30
31.	2026/09/18(金)	１時限	実習	−		09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					31
32.	2026/09/18(金)	２時限	実習	−		10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					32
33.	2026/09/18(金)	３時限	実習	−		12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					

	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2026/09/18(金)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2026/09/18(金)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2026/09/18(金)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2026/09/24(木)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2026/09/24(木)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2026/09/24(木)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				39

40.	2026/09/24(木)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2026/09/24(木)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2026/09/24(木)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2026/09/25(金)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				43
44.	2026/09/25(金)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2026/09/25(金)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2026/09/25(金)	４時限	実習	−	13:55-15:05

	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					46
47.	2026/09/25(金)	５時限	実習	−		15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					47
48.	2026/09/25(金)	６時限	実習	−		16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					48
49.	2026/09/28(月)	１時限	実習	−		09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					49
50.	2026/09/28(月)	２時限	実習	−		10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					50
51.	2026/09/28(月)	３時限	実習	−		12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	− −				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					51
52.	2026/09/28(月)	４時限	実習	−		13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習				

	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				52
53.	2026/09/28(月)	５時限	実習	－	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2026/09/28(月)	６時限	実習	－	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				54
55.	2026/09/29(火)	１時限	実習	－	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2026/09/29(火)	２時限	実習	－	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2026/09/29(火)	３時限	実習	－	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2026/09/29(火)	４時限	実習	－	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2026/09/29(火)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2026/09/29(火)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2026/09/30(水)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2026/09/30(水)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2026/09/30(水)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2026/09/30(水)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				64
65.	2026/10/01(木)	1時限	実習	–	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				65
66.	2026/10/01(木)	2時限	実習	–	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				66
67.	2026/10/01(木)	3時限	実習	–	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				67
68.	2026/10/01(木)	4時限	実習	–	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				68
69.	2026/10/01(木)	5時限	実習	–	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				69
70.	2026/10/01(木)	6時限	実習	–	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				70

71.	2026/10/02(金)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				71
72.	2026/10/02(金)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				72
73.	2026/10/02(金)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				73
74.	2026/10/02(金)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				74
75.	2026/10/02(金)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				75
76.	2026/10/02(金)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				76
77.	2026/10/05(月)	１時限	実習	−	09:00-10:10

	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				77
78.	2026/10/05(月)	２時限	実習	－	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				78
79.	2026/10/05(月)	３時限	実習	－	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				79
80.	2026/10/05(月)	４時限	実習	－	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				80
81.	2026/10/05(月)	５時限	実習	－	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				81
82.	2026/10/05(月)	６時限	実習	－	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				82
83.	2026/10/06(火)	１時限	実習	－	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			

	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				83
84.	2026/10/06(火)	２時限	実習	－	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				84
85.	2026/10/06(火)	３時限	実習	－	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				85
86.	2026/10/06(火)	４時限	実習	－	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				86
87.	2026/10/06(火)	５時限	実習	－	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				87
88.	2026/10/06(火)	６時限	実習	－	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				88
89.	2026/10/07(水)	１時限	実習	－	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				89
90.	2026/10/07(水)	２時限	実習	–	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				90
91.	2026/10/07(水)	３時限	実習	–	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				91
92.	2026/10/07(水)	４時限	実習	–	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				92
93.	2026/10/08(木)	１時限	実習	–	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				93
94.	2026/10/08(木)	２時限	実習	–	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				94
95.	2026/10/08(木)	３時限	実習	–	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				95
96.	2026/10/08(木)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				96
97.	2026/10/08(木)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				97
98.	2026/10/08(木)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				98
99.	2026/10/09(金)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				99
100.	2026/10/09(金)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				100
101.	2026/10/09(金)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				101

102.	2026/10/09(金)	４時限	実習	－	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				102
103.	2026/10/09(金)	５時限	実習	－	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				103
104.	2026/10/09(金)	６時限	実習	－	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				104
105.	2026/10/13(火)	１時限	実習	－	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				105
106.	2026/10/13(火)	２時限	実習	－	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				106
107.	2026/10/13(火)	３時限	実習	－	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				107
10	2026/10/13(火)	４時限	実習	－	13:55-15:05

108.	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				108
109.	2026/10/13(火)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				109
110.	2026/10/13(火)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				110
111.	2026/10/14(水)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				111
112.	2026/10/14(水)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				112
113.	2026/10/14(水)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				113
114.	2026/10/14(水)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			

授業予定表

	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				114
115.	2026/10/15(木)	１時限	実習	–	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				115
116.	2026/10/15(木)	２時限	実習	–	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				116
117.	2026/10/15(木)	３時限	実習	–	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				117
118.	2026/10/15(木)	４時限	実習	–	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				118
119.	2026/10/15(木)	５時限	実習	–	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				119
120.	2026/10/15(木)	６時限	実習	–	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					120
121.	2026/10/20(火)	５時限	実習	講義室 203		15:15-16:25
	タイトル	CPCオリエンテーション				
	担当者（所属）	倉田　厚				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					121
122.	2026/11/09(月)	１時限	実習	−		09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	−　−				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					122
123.	2026/11/09(月)	２時限	実習	−		10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	−　−				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					123
124.	2026/11/09(月)	３時限	実習	−		12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	−　−				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					124
125.	2026/11/09(月)	４時限	実習	−		13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	−　−				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					125
126.	2026/11/09(月)	５時限	実習	−		15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	−　−				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					

	講義資料番号/連番(LMS)				126
127.	2026/11/09(月)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				127
128.	2026/11/12(木)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				128
129.	2026/11/12(木)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				129
130.	2026/11/12(木)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				130
131.	2026/11/12(木)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				131
132.	2026/11/12(木)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				132

133.	2026/11/12(木)	６時限	実習	–	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				133
134.	2026/11/13(金)	１時限	実習	–	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				134
135.	2026/11/13(金)	２時限	実習	–	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				135
136.	2026/11/13(金)	３時限	実習	–	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				136
137.	2026/11/13(金)	４時限	実習	–	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				137
138.	2026/11/13(金)	５時限	実習	–	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				138
13	2026/11/13(金)	６時限	実習	–	16:35-17:45

9.	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				139
140.	2026/11/17(火)	２時限	試験	－	10:25-11:35
	タイトル	CPC試験10:25-11:35(講義室202,203)			
	担当者（所属）	倉田　厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				140
141.	2026/11/20(金)	１時限	実習	－	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				141
142.	2026/11/20(金)	２時限	実習	－	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				142
143.	2026/11/20(金)	３時限	実習	－	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				143
144.	2026/11/20(金)	４時限	実習	－	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				144
145.	2026/11/20(金)	５時限	実習	－	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			

	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				145
146.	2026/11/20(金)	６時限	実習	–	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				146
147.	2026/11/24(火)	１時限	実習	–	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				147
148.	2026/11/24(火)	２時限	実習	–	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				148
149.	2026/11/24(火)	３時限	実習	–	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				149
150.	2026/11/24(火)	４時限	実習	–	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				150
151.	2026/11/24(火)	５時限	実習	–	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				151
152.	2026/11/24(火)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				152
153.	2026/11/25(水)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				153
154.	2026/11/25(水)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				154
155.	2026/11/25(水)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				155
156.	2026/11/25(水)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				156
157.	2026/11/26(木)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				157
158.	2026/11/26(木)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				158
159.	2026/11/26(木)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				159
160.	2026/11/26(木)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				160
161.	2026/11/26(木)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				161
162.	2026/11/26(木)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				162
163.	2026/11/30(月)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				163

164.	2026/11/30(月)	２時限	実習	–	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				164
165.	2026/11/30(月)	３時限	実習	–	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				165
166.	2026/11/30(月)	４時限	実習	–	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				166
167.	2026/11/30(月)	５時限	実習	–	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				167
168.	2026/11/30(月)	６時限	実習	–	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				168
169.	2026/12/01(火)	１時限	実習	–	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				169
17	2026/12/01(火)	２時限	実習	–	10:25-11:35

0.	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	－－				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					170
171.	2026/12/01(火)	３時限	実習	－		12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	－－				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					171
172.	2026/12/01(火)	４時限	実習	－		13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	－－				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					172
173.	2026/12/01(火)	５時限	実習	－		15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	－－				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					173
174.	2026/12/01(火)	６時限	実習	－		16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	－－				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					174
175.	2026/12/02(水)	１時限	実習	－		09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	－－				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					175
176.	2026/12/02(水)	２時限	実習	－		10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習				

	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				176
177.	2026/12/02(水)	３時限	実習	‒	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				177
178.	2026/12/02(水)	４時限	実習	‒	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				178
179.	2026/12/03(木)	１時限	実習	‒	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				179
180.	2026/12/03(木)	２時限	実習	‒	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				180
181.	2026/12/03(木)	３時限	実習	‒	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				181
182.	2026/12/03(木)	４時限	実習	‒	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	‒ ‒			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				182
183.	2026/12/03(木)	５時限	実習	–	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				183
184.	2026/12/03(木)	６時限	実習	–	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				184
185.	2026/12/04(金)	１時限	実習	–	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				185
186.	2026/12/04(金)	２時限	実習	–	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				186
187.	2026/12/04(金)	３時限	実習	–	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				187
188.	2026/12/04(金)	４時限	実習	–	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				188
189.	2026/12/04(金)	５時限	実習	–	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				189
190.	2026/12/04(金)	６時限	実習	–	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				190
191.	2026/12/07(月)	１時限	実習	大実習室 3	09:00-10:10
	タイトル	放射線診断演習オリエンテーション			
	担当者（所属）	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				191
192.	2026/12/07(月)	２時限	実習	大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	放射線診断演習オリエンテーション			
	担当者（所属）	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				192
193.	2026/12/07(月)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	放射線診断演習①			
	担当者（所属）	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				193
194.	2026/12/07(月)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	放射線診断演習①			
	担当者（所属）	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				194

195.	2026/12/07(月)	５時限	実習	–	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				195
196.	2026/12/07(月)	６時限	実習	–	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				196
197.	2026/12/08(火)	１時限	実習	–	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				197
198.	2026/12/08(火)	２時限	実習	–	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				198
199.	2026/12/08(火)	３時限	実習	–	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				199
200.	2026/12/08(火)	４時限	実習	–	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				200
20	2026/12/08(火)	５時限	実習	–	15:15-16:25

1.	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				201
202.	2026/12/08(火)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				202
203.	2026/12/09(水)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				203
204.	2026/12/09(水)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				204
205.	2026/12/09(水)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	放射線診断演習②			
	担当者（所属）	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				205
206.	2026/12/09(水)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	放射線診断演習②			
	担当者（所属）	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				206
207.	2026/12/10(木)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			

	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				207
208.	2026/12/10(木)	２時限	実習	－	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				208
209.	2026/12/10(木)	３時限	実習	－	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				209
210.	2026/12/10(木)	４時限	実習	－	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				210
211.	2026/12/10(木)	５時限	実習	－	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				211
212.	2026/12/10(木)	６時限	実習	－	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	－－			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				212
213.	2026/12/11(金)	１時限	実習	大実習室 3	09:00-10:10
	タイトル	放射線診断演習③			
	担当者（所属）	坂井　修二			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					213
214.	2026/12/11(金)	２時限	実習	大実習室 3		10:25-11:35
	タイトル	放射線診断演習③				
	担当者（所属）	坂井　修二				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					214
215.	2026/12/11(金)	３時限	実習	大実習室 3		12:30-13:40
	タイトル	放射線診断演習④				
	担当者（所属）	坂井　修二				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					215
216.	2026/12/11(金)	４時限	実習	大実習室 3		13:55-15:05
	タイトル	放射線診断演習④				
	担当者（所属）	坂井　修二				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					216
217.	2026/12/11(金)	５時限	実習	−		15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	−　−				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					217
218.	2026/12/11(金)	６時限	実習	−		16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	−　−				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					
	講義資料番号/連番(LMS)					218
219.	2026/12/15(火)	１時限	実習	−		09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習				
	担当者（所属）	−　−				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準					

	講義資料番号/連番(LMS)				219
220.	2026/12/15(火)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				220
221.	2026/12/15(火)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				221
222.	2026/12/15(火)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				222
223.	2026/12/15(火)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				223
224.	2026/12/15(火)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				224
225.	2026/12/17(木)	１時限	実習	−	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				225

226.	2026/12/17(木)	２時限	実習	−	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				226
227.	2026/12/17(木)	３時限	実習	−	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				227
228.	2026/12/17(木)	４時限	実習	−	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				228
229.	2026/12/17(木)	５時限	実習	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				229
230.	2026/12/17(木)	６時限	実習	−	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				230

セグメント8「臨床基礎実習」、「診療の基礎」ローテーション表　9/10～9/25

資料3

〈臨床基礎実習〉

- 心E ･･･心エコー（本院）　※スキルスラボ
- 心 ･･･心電図（本院）　※スキルスラボ
- 病 ･･･病理診断（本院）
- 内 ･･･内視鏡（本院）　※スキルスラボ
- 腹E ･･･腹部エコー（本院）　※スキルスラボ
- 東 ･･･東洋医学（本院）　※講義室203

時間 ･･･1･2限：9:00～11:35
･･･3･4限：12:30～15:05
･･･5･6限：15:15～17:45

時間 ･･･1限：9:00～10:10
･･･2限：10:25～11:35
･･･3限：12:30～13:40
･･･4限：13:55～15:05
･･･5限：15:15～16:25
･･･6限：16:35～17:45

＜診療の基礎＞

※1、2、4の実施場所：テュートリアル室を2部屋連結して使用（実施の部屋は別紙資料6参照）

- 1 ：医療面接
- 2 ：全身状態とバイタルサイン
- 4 ：胸　部 【循環器内科、呼吸器内科）】

（1・2）【腎臓内科、糖尿病・代謝内科、血液内科、麻酔科、小児科、皮膚科、眼科、放射線腫瘍科、産科・婦人科・母子総合医療センター】

※5の実施場所：302講義室

- 5 ：腹　部 【消化器内科、消化器外科】

※スキルスラボ

- 6 ：神　経 【脳神経内科】　※9/11～9/25はスキルスラボ
- 4 ：胸　部（イチロー、ラング）【循環器内科（イチロー）、呼吸器内科（ラング）】
- 7ガ導 ：ガウンテクニック＆持続的導尿 【泌尿器科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科、形成外科、統合教育学修センター】

2026年9月

日	4	10				11			14			15			16		
曜日	金	木				金			月			火			水		
時限	終日	1	2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6
1G	CBT試験（PC室1）	OSCEオリエンテーション（203講義室）	診療の基礎講義（203講義室）	臨床基礎実習オリエンテーション（203講義室）	診療の基礎実習（203講義室）					1	2	病	病	6	心E	腹E	
2G								4	心	1	2		6				
3G										5			1	2			
4G											6		1	2		内	
5G							5	4		1	2		6		心	内	
6G										5		心E	1	2	心	腹E	
7G							5			1	2	心	6			4	
8G											4		5	6		1	2
9G						心	1	2						6		4	
10G						心				4			1	2			
11G											6		4			1	2
12G											6			4		1	2
13G						病	病						5	4		1	2
14G							1	2	病	病	4	心	6			5	
15G						心E	1	2					4	6		5	
16G							1	2	心	4	6				病	病	

日	17					18			21	22	23	24						25					
曜日	木					金			月	火	水	木						金					
時限	1･2	3	4	5	6	1･2	3･4	5･6	終日	終日	終日	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1G		7ｶﾞｳﾝ&導尿					5					1-1 医面	2 全バ	4 イチロー	4 ラング			心		4			
2G		5		7ｶﾞｳﾝ&導尿			内					1-1 医面	2 全バ	4 イチロー	4 ラング					心E			
3G	心	7ｶﾞｳﾝ&導尿										1-1 医面	2 全バ	4 ラング	4 イチロー			法		4		6	
4G		4			7ｶﾞｳﾝ&導尿		5					1-1 医面	2 全バ	4 ラング	4 イチロー			心					
5G				7ｶﾞｳﾝ&導尿								4 イチロー	4 ラング	1-1 医面	2 全バ			病		病			
6G		4		7ｶﾞｳﾝ&導尿								4 イチロー	4 ラング	1-1 医面	2 全バ			法				6	
7G					7ｶﾞｳﾝ&導尿							4 ラング	4 イチロー	1-1 医面	2 全バ								
8G	心	7ｶﾞｳﾝ&導尿					内					4 ラング	4 イチロー	1-1 医面	2 全バ								
9G			7ｶﾞｳﾝ&導尿	203 東		心E										4 イチロー	4 ラング	1-1 医面	2 全バ	5			
10G			7ｶﾞｳﾝ&導尿	203 東												4 イチロー	4 ラング	1-1 医面	2 全バ	5		6	
11G			7ｶﾞｳﾝ&導尿	203 東		心						法		5		4 ラング	4 イチロー	1-1 医面	2 全バ				
12G			7ｶﾞｳﾝ&導尿	203 東		心						法		5		4 ラング	4 イチロー	1-1 医面	2 全バ			腹E	
13G					7ｶﾞｳﾝ&導尿		腹E									203 東		心E		1-1 医面	2 全バ	6	
14G					7ｶﾞｳﾝ&導尿											203 東				1-1 医面	2 全バ		
15G		7ｶﾞｳﾝ&導尿					腹E									203 東				1-1 医面	2 全バ		
16G	心E	5		7ｶﾞｳﾝ&導尿												203 東				1-1 医面	2 全バ	腹E	

セグメント8「臨床基礎実習」、「診療の基礎」 ローテーション表　9/29～10/8

資料3

〈臨床基礎実習〉

心E	･･･心エコー（本院）	※スキルスラボ
心	･･･心電図（本院）	※スキルスラボ
内	･･･内視鏡（本院）	※スキルスラボ
腹E	･･･腹部エコー（本院）	※スキルスラボ
東	･･･東洋医学（本院）	※講義室203

時間 ･･･1限：9:00～10:10
･･･2限：10:25～11:35
･･･3限：12:30～13:40
･･･4限：13:55～15:05
･･･5限：15:15～16:25
･･･6限：16:35～17:45

＜診療の基礎＞

※テュートリアル室（2部屋連結して使用、実施の部屋は別紙資料6参照）

3-1	：頭頸部 【高血圧･内分泌内科】
3-2	：頭頸部 【耳鼻咽喉科】
6	：神　経 【脳神経内科】

※彌生記念教育棟2階看護実習室

7手縫	：手洗い･縫合 【内分泌外科･小児外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科】
10	：四肢･脊柱 【膠原病リウマチ内科、整形外科】

※スキルスラボ

4	：胸　部（イチロー、ラング） 【循環器内科（イチロー）、呼吸器内科（ラング）】
5-1	：腹　部（模擬患者） 【消化器内科、消化器外科】
8QQ	：成人＆小児 【救急医学、小児科】
9	：採血･PPE 【統合教育学修センター、内分泌外科･小児外科、脳神経外科、形成外科】
11 心・S	：心電図、経皮的動脈血酸素飽和度（SPO_2）（模擬患者付） 【循環器内科】

※模擬患者

11 心・S　5-1　･･･基礎医学系教職員

※採血･PPEの実施時間（100分）
9～12G　9/29（火）9:00～10:40　／　13～16G　9/29（火）10:50～12:30
1～4G　9/30（水）13:30～15:10　／　5～8G　9/30（水）15:20～17:00

月	2026年9月																	
日	28						29						30					
曜日	月						火						水					
時限	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1G	5-1 腹部														9 採血PPE			
2G	5-1 腹部														9 採血PPE			
3G	5-1 腹部														9 採血PPE			
4G	5-1 腹部												法		9 採血PPE			
5G		5-1 腹部					心E				6	6					9 採血 PPE	
6G		5-1 腹部									6	6					9 採血 PPE	
7G		5-1 腹部									6	6					9 採血 PPE	
8G		5-1 腹部									6	6					9 採血 PPE	
9G			5-1 腹部				9 採血PPE											
10G			5-1 腹部				9 採血PPE						心E		内			
11G			5-1 腹部				9 採血PPE		内									
12G			5-1 腹部				9 採血PPE								内			
13G				5-1 腹部	心			9 採血 PPE										
14G				5-1 腹部	心E			9 採血 PPE					法					
15G	法			5-1 腹部	心			9 採血 PPE										
16G	法			5-1 腹部				9 採血 PPE	内									

月	2026年10月											
日	1						2					
曜日	木						金					
時限	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1G	法		8QQ 成人				3-1 頭頸	3-2 頭頸				
2G	法		8QQ 成人				3-1 頭頸	3-2 頭頸	腹E			
3G			8QQ 成人						3-1 頭頸	3-2 頭頸		
4G			8QQ 成人				心E		3-1 頭頸	3-2 頭頸		
5G	3-1 頭頸	3-2 頭頸		8QQ 成人	203 東		法					
6G	3-1 頭頸	3-2 頭頸		8QQ 成人	203 東				内			
7G	3-2 頭頸	3-1 頭頸		8QQ 成人	203 東							
8G	3-2 頭頸	3-1 頭頸		8QQ 成人	203 東		法		腹E			
9G			3-1 頭頸	3-2 頭頸	8QQ 成人							
10G			3-1 頭頸	3-2 頭頸	8QQ 成人							
11G			3-2 頭頸	3-1 頭頸	8QQ 成人							
12G			3-2 頭頸	3-1 頭頸	8QQ 成人		病		病			
13G	4 イチロー	4 ラング	6	6		8QQ 成人	3-2 頭頸	3-1 頭頸	内			
14G	4 イチロー	4 ラング	6	6		8QQ 成人	3-2 頭頸	3-1 頭頸				
15G	4 ラング	4 イチロー	6	6		8QQ 成人			3-2 頭頸	3-1 頭頸		
16G	4 ラング	4 イチロー	6	6		8QQ 成人			3-2 頭頸	3-1 頭頸		

月	2026年10月																	
日	5						6						7					
曜日	月						火						水					
時限	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1G									11 心・S	10 脊柱	6	6		7 手洗縫合	内			
2G									11 心・S	10 脊柱	6	6				7 手洗縫合		
3G	7 手洗縫合		内						11 心・S	10 脊柱	6	6	心E		腹E			
4G	7 手洗縫合						10 脊柱	11 心・S	腹E		6	6						
5G				7 手洗縫合			10 脊柱	11 心・S										
6G				7 手洗縫合			10 脊柱	11 心・S										
7G			腹E		心E		法		10 脊柱	11 心・S						7 手洗縫合		
8G	心E		7 手洗縫合				11 心・S	10 脊柱										
9G	法		6	6			10 脊柱	11 心・S	腹E						7 手洗縫合			
10G	法		6	6			11 心・S	10 脊柱							7 手洗縫合			
11G			6	6			11 心・S	10 脊柱					7 手洗縫合		腹E			
12G			6	6			心E		11 心・S	10 脊柱			7 手洗縫合					
13G			7 手洗縫合				法		10 脊柱	11 心・S								
14G			腹E				11 心・S	10 脊柱						7 手洗縫合	内			
15G		7 手洗縫合	内						10 脊柱	11 心・S			病		病			
16G		7 手洗縫合							10 脊柱	11 心・S								

セグメント8「臨床基礎実習」、「診療の基礎」 ローテーション表　　10/9～11/27

資料3

〈臨床基礎実習〉

- 免 ･･･生化学･免疫（本院･足立医療センター）　※本院は大実習室3
- 血 ･･･血液（本院･足立医療センター）　※本院は大実習室3
- 輸 ･･･輸血療法（本院）　※講義室203もしくは302
- 病 ･･･病理診断（本院･八千代医療センター）
- 微 ･･･微生物（本院）　※講義室203
- 東 ･･･東洋医学（本院）　※講義室203
- 法 ･･･法医（中毒学）（本院）　※巴研究教育棟 法医検査室
- 内 ･･･内視鏡（本院）　※スキルスラボ
- 腹E ･･･腹部エコー（本院）　※スキルスラボ
- 心E ･･･心エコー（本院）　※スキルスラボ
- 心 ･･･心電図（本院）　※スキルスラボ
- 安 ･･･医療安全（本院）　※講義室203
- 臨研 ･･･臨床研究（本院）　※講義室203
- 保健所 ･･･保健所実習（各地域の保健所）

＜診療の基礎＞

※彌生記念教育棟3階　テュートリアル室

- 1-2 :医療面接（模擬患者付）【腎臓内科、糖尿病･代謝内科、血液内科、麻酔科、小児科、皮膚科、眼科、放射線腫瘍科、産科･婦人科･母子総合医療
- 4-2 :胸　部（模擬患者付）【心臓血管外科、呼吸器外科】

※彌生記念教育棟3階　302講義室

- 5-2 :腹　部（模擬患者付）【消化器内科、消化器外科】

※模擬患者

1-2 医面　4-2 胸部　5-2 腹部　･･･響き合いネットワーク東京SPの会

〈国際コミュニケーション〉

- 英語 ･･･英語医療面接

時間 ･･･1限：9:00～10:10
･･･2限：10:25～11:35
･･･3限：12:30～13:40
･･･4限：13:55～15:05
･･･5限：15:15～16:25
･･･6限：16:35～17:45

時間 ･･･1･2限：9:00～11:35
･･･3･4限：12:30～15:05
･･･5･6限：15:15～17:45

月	2026年10月																			
日	8						9						12	13	14	15	16	17
曜日	木						金						月	火	水	木	金	土
時限	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	終日	終日	終日	終日	終日	終日
1G	1-2 医面	1-2 医面	8QQ 小児	10 四肢	203 東				4-2 胸部	5-2 腹部			スポーツの日	OSCE前自己学修日	OSCE前自己学修日	OSCE前自己学修日	OSCE前自己学修日	OSCE
2G	1-2 医面	1-2 医面	8QQ 小児	10 四肢	203 東				4-2 胸部	5-2 腹部								
3G	1-2 医面	1-2 医面	8QQ 小児	10 四肢	203 東				5-2 腹部	4-2 胸部								
4G	1-2 医面	1-2 医面	8QQ 小児	10 四肢	203 東				5-2 腹部	4-2 胸部								
5G	4-2 胸部	5-2 腹部	10 四肢	8QQ 小児			1-2 医面	1-2 医面	腹E									
6G	4-2 胸部	5-2 腹部	10 四肢	8QQ 小児			1-2 医面	1-2 医面										
7G	5-2 腹部	4-2 胸部	10 四肢	8QQ 小児			1-2 医面	1-2 医面	内									
8G	5-2 腹部	4-2 胸部	10 四肢	8QQ 小児			1-2 医面	1-2 医面										
9G			1-2 医面	1-2 医面	8QQ 小児	10 四肢	4-2 胸部	5-2 腹部	内									
10G			1-2 医面	1-2 医面	8QQ 小児	10 四肢	4-2 胸部	5-2 腹部	腹E									
11G	心E		1-2 医面	1-2 医面	8QQ 小児	10 四肢	5-2 腹部	4-2 胸部										
12G			1-2 医面	1-2 医面	8QQ 小児	10 四肢	5-2 腹部	4-2 胸部										
13G			4-2 胸部	5-2 腹部	10 四肢	8QQ 小児			1-2 医面	1-2 医面								
14G			4-2 胸部	5-2 腹部	10 四肢	8QQ 小児			1-2 医面	1-2 医面								
15G			5-2 腹部	4-2 胸部	10 四肢	8QQ 小児			1-2 医面	1-2 医面								
16G			5-2 腹部	4-2 胸部	10 四肢	8QQ 小児			1-2 医面	1-2 医面								

月	2026年11月																							
日	9			12			13			20			24			25			26			30		
曜日	月			木			金			金			火			水			木			月		
時限	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6	1･2	3･4	5･6
1G	保健所A（1名）				203 輸	203 安					気F		保健所B（6名）						203 微		英語			
2G			203 安			302 輸	病八	病八	－	英語	気F		203 微						保健所A（4名）			保健所B（3名）		
3G			203 安	病	病			302 輸		英語	気F		保健所（7名）						203 微	203 臨研				
4G			203 安	病八	病八	－		302 輸		英語	気F		203 微			保健所A（4名）				203 臨研		保健所B（2名）		
5G	保健所A（3名）				203 輸	気F			203 安	保健所B（4名）			203 微	203 臨研		血足	免足	－			英語			
6G	病八	病八	－	保健所（7名）				302 輸	203 安		英語	気F	203 微	203 臨研										
7G					気F	203 安	病	病	302 輸	英語			203 微	203 臨研					保健所A（4名）			血足	免足	－
8G	保健所A（3名）				203 輸	気F			203 安	病八	病八	－	203 微	203 臨研			英語		保健所B（4名）					
9G	病	病	203 安		気F	302 輸				保健所A（4名）			203 微				英語		血足	免足	－			
10G			203 安		気F	302 輸							病八	病八	－	保健所A（4名）			203 微		英語	保健所B（3名）		
11G				保健所B（3名）				302 輸	203 安	病	病	気F	血足	免足	－	保健所A（4名）			203 微		英語			
12G					気F	203 安			302 輸	保健所A（3名）							英語		203 微	203 臨研				
13G						203 安			302 輸		英語	気F	203 微						保健所（7名）					
14G	保健所A（2名）				203 輸	気F			203 安		203 臨研						英語		203 微					
15G	保健所A（4名）				気F	203 安			302 輸		英語					保健所B（4名）			203 微	203 臨研				
16G			203 安			302 輸	保健所A（2名）				英語	気F				保健所B（4名）			203 微			保健所C（2名）		

セグメント8「臨床基礎実習」、「国際コミュニケーション（英語医療面接）」
ローテーション表　　12/1～12/12

資料3

センター】〈臨床基礎実習〉

- 安 ・・・医療安全(本院)　※講義室203
- 輸 ・・・輸血療法(本院)　※講義室203もしくは302
- 臨研 ・・・臨床研究(本院)　※講義室203
- 気F ・・・気道管理（本院）＆FAID（本院）　※スキルスラボ
- 免 ・・・生化学・免疫（本院・足立医療センター）　※本院は大実習室3
- 血 ・・・血液（本院・足立医療センター）　※本院は大実習室3
- 病 ・・・病理診断（本院・八千代医療センター）

時間 ・・・1限：9:00～10:10
・・・2限：10:25～11:35
・・・3限：12:30～13:40
・・・4限：13:55～15:05
・・・5限：15:15～16:25
・・・6限：16:35～17:45

時間 ・・・1・2限：9:00～11:35
・・・3・4限：12:30～15:05
・・・5・6限：15:15～17:45

月	2026年12月																																	
日	1			2			3			4			5	7			8			9			10			11			15			17		
曜日	火			水			木			金			土	月			火			水			木			金			火			木		
時限	1・2	3・4	5・6	1・2	3・4	5・6	1・2	3・4	5・6	1・2	3・4	5・6	終日	1・2	3・4	5・6	1・2	3・4	5・6	1・2	3・4	5・6	1・2	3・4	5・6	1・2	3・4	5・6	1・2	3・4	5・6	1・2	3・4	5・6
1G		203 臨研					血足	免足	－				創立記念日	放射線診断演習オリエンテーション（大実習室３）	放射線診断演習①（大実習室３）						放射線診断演習②（大実習室３）					放射線診断演習③（大実習室３）	放射線診断演習④（大実習室３）							
2G					203 臨研		大3 血	大3 免																										
3G				血足	免足	－																												
4G							大3 血	大3 免																										
5G																																		
6G	大3 血	大3 免																																
7G				保健所B（3名）																														
8G	大3 血	大3 免																																
9G		203 臨研		保健所B（3名）																														
10G					203 臨研		大3 血	大3 免																										
11G		203 臨研																																
12G	大3 血	大3 免		保健所B（4名）																														
13G	血足	免足	－		203 臨研																													
14G				保健所B（6名）			大3 血	大3 免																										
15G	大3 血	大3 免																																
16G					203 臨研					血足	免足	－																						

臨床基礎実習

生化学・免疫

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。
Ⅰ-1-A-(3-4)-①
2) 疾患･症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④
3) 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-①
4) 基本的医療技能を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-①
5) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-②
6) データ・結果の根拠を批判的に説明できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-①
7) 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。Ⅰ-5-A-(3-4)-②
8) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
Ⅱ-2-A-(3-4)-②
9) 自分の選択・判断の根拠を説明できる。Ⅱ-4-A-(3-4)-①

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

Reversed CPR を行い、試問により評価する。

(2) 評価項目

1) 血漿タンパク質の基準値とその変化の意義を説明できる。
2) 自己抗体の種類と臨床的意義を説明できる。
3) 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。CS-02-03-01
4) 臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。CS-02-03-02
5) 臨床検査の安全な実施方法（患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理）を説明できる。CS-02-03-03
6) 臨床検査の特性（感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率（事前確率）・検査後確率（事後確率）、尤度比、receiver operating characteristic <ROC>曲線）と判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。CS-02-03-04
7) 臨床検査の生理的変動、測定誤差、精度管理、ヒューマンエラーを説明できる。CS-02-03-05
8) 小児、高齢者、妊産婦の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。 CS-02-03-06
9) 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。CS-02-03-04
10) 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。CS-02-03-07
11) 免疫血清学検査、輸血検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。CS-

02-03-07, PS-03-02-03

(3) 評価基準

上記評価項目について試問を行い、評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

1) 金井正光　編著　臨床検査法提要改訂第35版　金原出版　2020
2) 高木康・山田俊幸　編集　標準臨床検査医学(第5版)　医学書院　2023
3) 日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会編　臨床検査のガイドライン JSLM検査値アプローチ/症候/疾患　2021
4) 日本臨床衛生検査技師会編　臨床検査精度管理教本　2022

実習表

【本院】
実習係　古屋実（内線　27389）
連絡係　菅野宙子（PHS 29628）
集合場所　彌生記念教育棟B1F 大実習室3

【足立医療センター】
実習係　藤原智之（PHS　31399）
連絡係　佐藤浩一郎（PHS 31397）
集合場所　４F総合医科学研究所分室

実習内容	実習場所／実習担当者	
	本院	足立
1. 臨床検査値の読み方総論。 1)基準範囲、臨床判断値 2)検査結果に影響を及ぼす因子 3)測定法 2. 生化学分析の実習（比色分析など）。 3. 免疫血清学測定の原理の説明。EIA法(CLEIA, ECLIA, FAIA等)の説明。 4. 患者資料を用いた免疫血清検査（インフルエンザなど）の実習。 5. Reversed CPCによる検査結果の解釈と評価。 6. 検査室を見学し、採血から検査結果報告までの流れを理解する。	彌生記念教育棟B1F 大実習室3 菅野宙子 古屋実 名執由紀 小林葉子	4F総合医科学研究所分室 24714 検査科： 佐藤浩一郎、 藤原智之 古市好宏 小林史怜 立田顕久 浅野直仁 帷子美雪 病理診断科： 黒田　一

持参すべき物品：白衣、名札、マスク

臨床基礎実習

血液

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。
   Ⅰ-1-A-(3-4)-①
2) 疾患･症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④
3) 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-①
4) 基本的医療技能を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-①
5) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-②
6) データ・結果の根拠を批判的に説明できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-①
7) 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。Ⅰ-5-A-(3-4)-②
8) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
   Ⅱ-2-A-(3-4)-②
9) 自分の選択・判断の根拠を説明できる。Ⅱ-4-A-(3-4)-①

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

以下についての試問および小試験により評価を行う。

1) 末梢血塗抹標本で末梢血白血球 5 分類ができる。
2) 末梢血・骨髄塗抹標本で特徴的疾患を類推できる。
3) 凝固異常について説明し、異常データから疾患を類推できる。

(2) 評価項目

1) 赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。PS-02-02-01
2) 白血球の種類と機能を説明できる。PS-02-02-01
3) 血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。PS-02-02-01
4) 末梢血の血球数の基準値とその変化の意義を説明できる。PS-02-02-03
5) 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄生検）を説明できる。PS-02-02-03
6) 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。PS-02-02-07

(3) 評価基準

上記評価項目について試問を行い、評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3 以上を合格とする。

参考図書

1） 奈良信雄　最新臨床検査学講座　血液検査学　第2版　医学書院　2021年

2） 医療情報科学研究所「病気がみえる」Vol.5 血液　第3版 メディックメディア　2023年

実習表

【本院】
実習係　　菊地千絵（内線 21059）
連絡係　　菅野宙子（PHS 29628）
集合場所　彌生記念教育棟 B1F
　　　　　大実習室 3

【足立医療センター】
実習係　　藤原智之（PHS　31399）
連絡係　　佐藤浩一郎（PHS 31397）
集合場所　４F 総合医科学研究所分室

実習内容	実習場所／実習担当者	
	本院	足立
1. 血算・凝固検査の基礎と疾患について総論。 2. 用手法により APTT を実習し、凝固の仕組みを理解する。 3. 正常白血球分類についてセルバイセルで説明。 4. 特徴的な血液疾患について顕鏡にて説明。	彌生記念教育棟 B1F 大実習室 3 菅野宙子 菊地千絵 金子有希	4F 総合医科学研究所分室 24714 検査科： 佐藤浩一郎、 藤原智之 古市好宏 小林史怜 立田顕久 浅野直仁 帷子美雪 病理診断科： 黒田一

持参すべき物品：白衣、名札、マスク

輸血療法

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 適切な治療法とその根拠を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-②
2) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-②

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

上記到達目標に達しているか否かを判断する口頭試問

(2) 評価項目（コアカリキュラム番号）

1) 血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。F-2-13)①
2) 血液型(ABO、RhD)検査、血液交差適合（クロスマッチ）試験、不規則抗体検査を説明できる。F-2-13)②
3) 輸血副反応、輸血使用記録保管義務、不適合輸血の防止手順を説明できる。F-2-13)③
4) 輸血の適正使用、成分輸血、自己血輸血、緊急時の輸血を説明できる。F-2-13)④

(3) 評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

1) 図解臨床輸血ガイド―イラストでわかる、輸血の基本戦略　山本晃士 編（文光堂）
2) 輸血学　（改訂第４版）前田平生、大戸　斉、岡崎　仁　編（中外医学社）
3) Mollison's Blood Transfusion in Clinical Medicine, 11th ed. Klein HG, Anstee DJ. Oxford: Blackwell Publishing, 2006.

実習表

実習係　小林博人（PHS　28928）
連絡係　山本圭子（PHS　28926）
実施場所　講義室 203 もしくは 302
※ローテーション表確認

実習内容	実習場所 実習担当者
輸血検査と患者確認の方法 1. ABO 血液型、Rh 血液型の判定 2. 血液製剤取り扱いの基本 3. 検体採血時・輸血開始時の三点チェック 輸血療法の基本 1. インフォームド・コンセント 2. 輸血療法の適応と適正輸血 3. 副作用発生時の対応	実習場所： 講義室 203・302 実習担当者： 小林博人 菅野　仁 山本圭子 長内聡子

持参すべき物品：白衣、筆記用具

臨床基礎実習

病理診断

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-①
2) 診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(3-4)-①
3) 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。
   Ⅰ-6-B-(3-4)-③
4) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
   Ⅱ-2-A-(3-4)-②
5) 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。
   Ⅱ-5-B-(3-4)-②

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

フリーデイスカッションの内容による指導医の評価

(2) 評価項目(コアカリキュラム番号)

1) 病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。F-2-4)-①
2) 診断に必要な臨床情報の適切な提供法を説明できる。F-2-4)-②
3) 術中迅速診断の利点、欠点を説明できる。F-2-4)-③
4) デジタル画像を用いた病理診断(遠隔診断を含む)の利点、欠点を説明できる。F-2-4)-④
5) 病理解剖の医療における位置付けと法的事項、手続等を説明
6) できる。F-2-4)-⑤

(3) 評価基準

上記評価項目について試問を行い、評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3 以上を合格とする。

参考図書

1) Basic Pathology 11th ed. Kumar et al. Elsevier 2023
2) 解明病理学(第 4 版) 青笹克之編 医歯薬出版 2021
3) 器官病理学 笠原正典、石倉 浩、佐藤昇志 編 南山堂 2013
4) Robbins and Cotran Atlas of Pathology.Klatt eds. Saunders 2008

5) 日本病理学会　病理コア画像
http:pathology.or.jp/corepicture2010/index.html
6) 正常画像と比べてわかる病理アトラス（改訂第3版）
下　正宗、長嶋洋治　編　羊土社　2024

実習表

【本院】
実習係　　長嶋洋治　（PHS 29611）
連絡係　　長嶋洋治　（PHS 29611）
集合場所　西病棟A2階病理診断科ｾﾐﾅｰ室

【八千代医療センター】
実習係　　中澤匡男　PHS 7912
連絡係　　中澤匡男　PHS 7912
集合場所　外来棟4階大会議室前のロビー

実習内容	実習場所／実習担当者	
	本院	八千代
病理診断学実習 1. 症例の臨床情報の検討 2. 基本的な標本作製過程の見学と理解 3. 病理診断システムの操作と診断の実践	西病棟A2階 病理診断科・ 病理検査室 長嶋洋治	入院棟2階 病理診断科 中澤匡男

持参すべき物品：白衣（八千代医療センターは不要）、筆記用具

微生物

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-①
2) 適切な治療法とその根拠を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-②
3) 適切な診療ガイドラインを選択できる。Ⅰ-3-A-(3-4)-②
4) 医療チームでの情報共有について説明できる。Ⅰ-4-C-(3-4)-②
5) 診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(3-4)-①
6) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
   Ⅱ-2-A-(3-4)-②
7) 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。
   Ⅱ-5-B-(3-4)-②

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

常在菌の培養、同定実習と微生物検査室での感染症検査の流れを、レポートで提出。

(2) 評価項目(コアカリキュラム番号)

1) 微生物迅速検査、特にグラム染色の有用性、限界について説明でき、手技を実際に施行できる。E-2-2)②③④、F-2-3)⑬
2) 大まかな病原菌を挙げられ、その形態的特徴を述べることができる。E-2-2)①
3) 常在菌の意義と病院感染、耐性菌選択との関係を説明できる。E-2-1)②③④⑤
4) 微生物同定方法と結果の解釈について説明できる。E-2-2)③④⑤、F-2-3)⑬
5) 微生物感受性検査方法の原理、解釈、治療への反映について説明できる。 E-2-1)①、E-2-2)⑤⑥、F-2-3)⑬
6) 適切な微生物検査提出の方法、タイミングについて説明できる。E-2-1)①、E-2-2)②③④、F-2-3)⑬
7) 微生物検査の特殊性と限界について理解できる。E-2-2)②③④、F-2-3)⑬
8) 病院感染で問題となる微生物とその感染対策について説明できる。E-2-1)②③④

（3）評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3 以上を合格とする。

参考図書

1） 臨床微生物検査ハンドブック第 4 版　小栗豊子編　三輪書店
2） 新・カラーアトラス微生物検査　山中喜代治編　医歯薬出版株式会社

実習表

実習係　　菊池　賢　（PHS　28921）
連絡係　　菊池　賢　（PHS　28921）
集合場所　講義室 203

実習内容	実習場所 実習担当者
1. 常在菌のコロニー観察とグラム染色 2. MALDI-TOF MS を用いた微生物の同定 3. 微生物検査室における培養検査の流れ、実際の感染症患者から分離された微生物のコロニー、同定パネル、感受性試験を見て、病原菌と常在菌の違い、意義について討論	講義室 203 菊池　賢

COVID-19 のリスクを考慮し、シミュレーションによる実習を予定。

当日持参すべき物品：筆記用具

臨床基礎実習

気道管理/FAID

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 疾患･症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④
2) 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-①
3) 基本的医療技能を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-①

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

実習時の態度と理解度評価（最後に確認テストを行う）

(2) 評価項目（コアカリキュラム番号）

1) 基本的医療技能を実践できる。A-3-1)⑥
2) 安全に配慮して、医療を実践できる。A-6-1)⑤
3) 気道の確保と管理ができる。F-2-10)⑤
4) 患者に合わせた診断・治療ができる。F-3-6)-(4)-②
5) 救命救急処置が必要な患者を判断できる。G-3-4)①

(3) 評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

1) 「改訂５版　救急蘇生法の指針（市民用)」､「改訂５版　救急蘇生法の指針（市民用・解説編)」監修：日本救急医療財団心肺蘇生法委員会　編著：日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会　発行所：株式会社へるす出版
2) 応急手当指導者標準テキスト　東京法令出版

実習表

実習係　　武田宗和　（PHS　28911）
連絡係　　並木みずほ（PHS　28912）
集合場所　総合研究棟／統合教育学修センター（スキルスラボ）

実習内容	実習場所 実習担当者
気道管理 1. 気道の確保 2. 用手換気 3. 気管挿管 4. 外科的気道確保 超音波検査	総合研究棟／統合教育学修センター（スキルスラボ） 武田宗和 朝田慎平

持参すべき物品：聴診器、白衣、マスク

臨床基礎実習

法医（中毒学・Ai）

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-①

学修(教育)方法

実習

評価方法

（1）総括的評価の対象

1) 実習への参加
2) 検査結果の判定・レポートの作成

（2）評価項目（コアカリキュラム番号）

1) 中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。E-5-1)①
2) 一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。E-5-3)-(1)②
3) 農薬による中毒の機序、診断と治療を説明できる。E-5-3)-(1)③
4) メタノール、重金属、青酸、ヒ素、自然毒による中毒を概説できる。E-5-3)-(1)④
5) アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。E-5-3)-(1)⑤
6) 医薬品による中毒を説明できる。E-5-3)-(1)⑥
7) 死亡時画像診断（オートプシー・イメージング；Ai）の適用、利点、限界を説明できる。E-9-1)③

（3）評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、0.欠席、のいずれかとして判定し、3 以上を合格とする。

参考図書

1) 日本中毒学会. 新版 急性中毒標準診療ガイド、へるす出版、2023 年

注意事項

1) 遅刻、私語、居眠りはご遠慮下さい。検査室外の廊下でも私語をしないで下さい。
2) 白衣を着用し、白衣のボタンを全て合わせて下さい。
3) 頭髪の肩にかかる人は頭髪をゴムで束ねておいて下さい。頭髪があまり長くない人も束ねて頂くことがあるためゴムを持参して下さい。
4) 運動靴を履いてきて下さい。
5) 持参物は筆記具のみとし、荷物は各自ロッカーに置いてきて下さい。防寒用コートを着用して来てもかまいません。ハンガーを用意しています。
6) 携帯電話、スマートホン、タブレットの使用はできません。

7) 検体を取り扱うときはニトリル手袋、マスク、アイガードを着用して下さい。
8) レポートは実習終了時に提出して下さい。
9) 遅刻、私語、居眠りをする方、白衣のボタンを全て合わせない方、長い頭髪をゴムで束ねない方、運動靴以外の靴を履く方、荷物を持参する方、携帯電話・スマートホン・タブレットを使用する方は受講ができません。
10) 当教室への連絡にはメールをお送り下さい。電話はご遠慮下さい。
11) 欠席は当方で把握しますので、欠席の連絡は不要です。

実習表

実習係　　中尾賢一朗（nakao.kenichiro@twmu.ac.jp）
連絡係　　木林和彦（kibayashi.kazuhiko@twmu.ac.jp）
集合場所　巴研究教育棟１階正面入口内

実習内容	実習場所 実習担当者
中毒学 1. 急性中毒に関する知識の確認 2. 検体の採取、保管、提出の方法 薬物の定性・定量検査 1. 分光光度計を用いた一酸化炭素ヘモグロビンの定量検査 2. ガスクロマトグラフ分析計（GC）を用いたエタノールとメタノールの定性・定量検査 3. ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）を用いたシアン化合物の定性・定量検査 4. ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）を用いた乱用薬物の定性・定量検査 5. 液体クロマトグラフ・タンデム質量分析計（LC-MS･MS）を用いた医薬品の定性・定量検査 6. 液体クロマトグラフ四重極飛行時間型質量分析計（LC-QTOF-MS）を用いた自然毒の定性検査 7. 検査結果の判定 死亡時画像診断（オートプシー・イメージング；Ai） 1. 死後 CT 検査の適用、利点、限界の確認 2. 法医解剖例の画像診断	全員が巴研究教育棟１階正面入口内に集合する。その後２組に分かれる。 巴研究教育棟１階法医検査室・CT室・巴研究教育棟1階会議室 教授　木林和彦 准教授　島田　亮 准講師　中尾賢一朗 助教　町田光代 助教　多々良有紀

持参すべき物品：白衣と筆記用具（その他は持参しないで下さい。白衣のポケットに入らない大きな筆箱は持参しないで下さい。防寒用コートを着用して来てもかまいません。傘を持ってきた場合は建物入口の傘立てに立てて下さい。）

臨床基礎実習

心電図

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1） 検査に関する基本的臨床手技を実施できる。CS-03-01-01

学修(教育)方法

実習

評価方法

（1）総括的評価の対象

1） 正しい位置に電極を装着し 12 誘導心電図記録ができる。
2） 記録した心電図の基本的所見（調律、心拍数、軸、PQ 時間、Q 波、QRS 幅、ST 変化、移行帯など）を述べることができる。

（2）評価項目（コアカリキュラム番号）

1） 心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系を説明できる。D-5-1)-③
2） 興奮収縮連関を概説できる。D-5-1)-④
3） 心電図の主な所見を説明できる。D-5-2)-①
4） 生体機能検査（心電図）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。F-2-3)-⑫

（3）評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3 以上を合格とする。

参考図書

1） 図解心電図テキスト　Dale Dubin 著　文光堂
2） わかりやすい心電図の読み方　Ken Grauer 著　Medical View

実習表

実習係　　　鈴木　敦　（PHS　28373）
連絡係　　　医局秘書　（内線 23111）
集合場所　巴女子学生会館１階／統合教育学修センター（スキルスラボ）

実習内容	実習場所 実習担当者
心電図の記録法 1. 知識の再確認 2. 心電図記録スキルの習得 シミュレータで確認した後、お互いで実際に心電図をとる 心電図所見 1. 知識の再確認 2. 心電図所見の読影と解釈	巴女子学生会館１階／ 統合教育学修センター （スキルスラボ 2） 山口淳一・南　雄一郎 鈴木　敦 上野敦子・菊池規子・ 芦原京美・坂井晶子・ 柳下大悟・ 春木伸太郎・小柳千紘・ 服部英敏・小暮智仁・ 樋口　諭・ 稲垣裕介・曽根麻衣子・ 中尾梨紗子・長谷川　瞬・ 春木　薫・柴橋英次・ 南　義成・大槻尚男

持参すべき物品：白衣、聴診器、筆記用具

臨床基礎実習

心エコー

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 検査に関する基本的臨床手技を実施できる。CS-03-01-01

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

1) 基本的断面（傍胸骨左縁長軸断層像・短軸断層像、心尖部四腔像・三腔像・二腔像など）を描出することができる。
2) 描出された心臓超音波画像の解剖学的な位置・部位を説明できる。

(2) 評価項目（コアカリキュラム番号）

1) 心臓超音波検査の主な所見と心腔内の形態（左心房、右心房、左心室、右心室、大動脈弁、僧帽弁、三尖弁など）を説明できる。D-5-2)-②
2) 生体機能検査（超音波検査）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。F-2-3)-⑫
3) 超音波機器の種類と原理を説明できる。F-2-7)-①
4) 超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。F-2-7)-②
5) 主な疾患、病態のエコー像を概説できる。F-2-7)-③

評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

1) 心臓超音波テキスト 日本超音波検査学会　医歯薬出版
2) 心エコーハンドブック 基礎と撮り方 竹中 克ら 金芳堂
3) 新・心臓病診療プラクティス〈1〉心エコー図で診る　中谷　敏ら　文光堂

実習表

実習係　　　鈴木　敦　（PHS　28373）

連絡係　　　医局秘書　（内線 23111）

集合場所　巴女子学生会館１階／統合教育学修センター（スキルスラボ）

実習内容	実習場所 実習担当者
心エコー検査 1. 知識の再確認 2. 各エコーウィンドウから観察される断面を観察する。 3. カラードップラー画像を観察する。 4. パルスドップラーや連続波ドップラーによる血流パターンを観察する。 5. シミュレータを用いた後、お互いで実際に描出する。	巴女子学生会館１階／統合教育学修センター（スキルスラボ１） 山口淳一・南　雄一郎・ 鈴木　敦・ 上野敦子・菊池規子・ 芦原京美・坂井晶子・ 柳下大悟・春木伸太郎・ 小柳千紘・ 服部英敏・小暮智仁・ 樋口　諭・ 稲垣裕介・曽根麻衣子・ 中尾梨紗子・長谷川　瞬・ 春木　薫・柴橋英次・ 南　義成・大槻尚男

持参すべき物品：白衣、聴診器、筆記用具

臨床基礎実習

腹部エコー

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 基本的医療技能を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-①
2) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-②
3) 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。Ⅱ-1-B-(3-4)-①

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

1) 超音波検査の施行意義、原理、種類、代表疾患の画像、治療、安全性について説明できる。
2) 超音波検査を行う過程でのシミュレーションを行なうことができる。
3) 患者に配慮した超音波検査を行なうことが出来る。

(2) 評価項目(コアカリキュラム番号)

1) 超音波機器の種類と原理を説明できる。F-2-7) ①
2) 超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。F-2-7) ②
3) 主な疾患、病態のエコー像を概説できる。F-2-7) ③
4) 超音波を用いる治療を概説できる。F-2-7) ④
5) 超音波の生体作用と安全性を説明できる。F-2-7) ⑤
6) 超音波造影法を説明できる。F-2-7) ⑥
7) 検査に際して患者の状態に応じた配慮ができる。A-4-2) ①
8) 超音波検査シミュレータを用いた反復練習をすることで臨床技能を磨く。G-4-4) ①

(3) 評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

1) チャレンジ!超音波走査(上巻, 下巻). CareNet DVD

実習表

実習係　　片桐　聡　　（ PHS　28556 ）
連絡係　　髙山敬子　　（ PHS　28500 ）
集合場所　巴女子学生会館１階／統合教育学修センター（スキルスラボ）

実習内容	実習場所 実習担当者
1. 知識の再確認 2. 患者への対応 3. 超音波検査における基本的な走査 4. 超音波検査の実際	巴女子学生会館１階／統合教育学修センター（スキルスラボ） 片桐　聡 高山敬子 山本果奈 白田龍之介 大塚奈央 石垣賀子 中林良太 林　涼子 高鹿美姫

持参すべき物品：筆記用具

臨床基礎実習

内視鏡

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。
   Ⅰ-1-A-(3-4)-①
2) 疾患・症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④
3) 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-①
4) 適切な治療法とその根拠を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-②
5) 基本的医療技能を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-①
6) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-②
7) 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。Ⅰ-4-A-(3-4)-①
8) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
   Ⅱ-2-A-(3-4)-②

学修(教育)方法

実習

評価方法

（1）総括的評価の対象

1) 出席状況、実習の態度
2) 内視鏡像を用いた試問

（2）評価項目（コアカリキュラム番号）

1) 基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。A-3-1-③
2) 消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。D-7-2-③
3) 消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。D-7-2-④
4) 内視鏡機器の種類と原理を説明できる。F-2-6-①
5) 内視鏡検査法の種類を列挙し、概説できる。F-2-6-②
6) 内視鏡を用いる治療を概説できる。F-2-6-③
7) シミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。G-4-4-①

（3）評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

1） 藤城光弘編：消化管内視鏡診断テキスト（1）食道・胃・十二指腸　第 4 版、文光堂 2017
2） 多賀須幸男、櫻井幸弘：上部消化管内視鏡スタンダードテキスト、医学書院 2010
3） 芳野純治、川口　実、浜田　勉編：内視鏡所見のよみ方と鑑別診断　上部消化管　第 2 版、医学書院 2007

実習表

【本院】

実習係　　野中 康一　（PHS 28560）
連絡係　　岸野 真衣子（PHS 28524）
集合場所　巴女子学生会館 1 階／統合教育学修センター（スキルスラボ）

実習内容	実習場所／実習担当者
	本院
内視鏡 1. 実際の内視鏡、視覚素材を用いて、その構造を学修する。 2. 内視鏡シミュレータもしくは胃モデルを用いて、内視鏡の操作、検査法を体験する。 3. 系統解剖の知識を復習し、内視鏡像からみた臨床解剖（臓器や部位）と対比する。 4. 内視鏡像、動画により、代表的疾患や治療内視鏡を学修する。	巴女子学生会館 1 階／統合教育学修センター（スキルスラボ） 野中 康一 中村 真一 岸野 真衣子 三角 宜嗣 渡辺　舞 八辻　将 鈴木康介

持参すべき物品：筆記用具

臨床基礎実習

東洋医学

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 疾患・症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④
2) 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-①
3) 適切な治療法とその根拠を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-②
4) 傾聴できる。Ⅱ-1-A-(3-4)-①
5) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
Ⅱ-2-A-(3-4)-②
6) 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①
7) 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。
Ⅱ-5-B-(3-4)-②

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

実習（出席80%、診察実技20%）により評価する。

(2) 評価項目（コアカリキュラム番号）

1) 漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる。F-2-8)⑬
2) 当該診療科の基本的な診察技能について学ぶ。G-4-2)④

(3) 評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

本　題　名	著者・編者	出版社	出版年
やさしい東洋医学	伊藤　隆、木村容子、蛯子慶三	ナツメ社	2016年
医学生のための東洋医学入門	東京女子医大東洋医学研究所編	図書館蔵書	
基本がわかる　漢方医学講義	日本漢方医学教育協議会編	羊土社	2020年

実習表

実習係　宮川亨平　（TEL 内線 27976）
連絡係　二木友香　（TEL　6709-9024）
集合場所　彌生記念教育棟　講義室203

実習内容	実習場所 実習担当者
1. 診察実習 東洋医学の診察法 「四診」 望診：視診、舌診 聞診：聴診、嗅診 問診：問診 切診：触診、脈診、腹診	彌生記念教育棟 講義室203 （河尻澄宏）
2. 鍼灸実習 経穴の探り方 鍼の刺し方、お灸のすえ方	彌生記念教育棟 講義室203 （蛯子慶三）
3. 生薬実習 1）主な生薬について 2）生薬に触れてみる	彌生記念教育棟 講義室203 （宮川亨平）

持参すべき物品：
マスク、筆記用具、別途配付する実習資料（Webclassに掲載資料、デバイスは問いません）

臨床基礎実習

医療安全

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-②

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

1) 全体／グループワークへの積極的な参加を評価する。
2) 全体／グループワークで与えられた役割を適切に発揮するために努力していることを評価する。
3) 全体／グループワークにおいて他の人に良い影響を与えるような態度や行動を実践できるかどうかを評価する。

(2) 評価項目(コアカリキュラム番号)

1) 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意(ヒューマンエラーの防止)はもとより、組織的なリスク管理(制度・組織エラーの防止)が重要であることを説明できる。A-6-1)②
2) 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録(カルテ)改竄の違法性を説明できる。A-6-1)③
3) 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。A-6-1)①
4) 医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。A-6-1)⑤
5) 医療の安全性に関する情報(薬剤等の副作用、薬害、医療過誤(事例や経緯を含む)、やってはいけないこと、優れた取組事例等)を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。A-6-1)④
6) 基本的予防策(ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセイフ・フールプルーフの考え方等)を概説し、指導医の指導の下に実践できる。A-6-2)④

(3) 評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3 以上を合格とする。

参考図書

1） 患者安全推進ジャーナル別冊 危険予知トレーニングブック
財団法人日本医療機能評価機構編集 認定病院患者安全推進協議会発行
2） 医療安全ワークブック 川村治子著 医学書院発行
3） ナース専科 BOOKS こうすればできる安全な看護[改訂版]
東京医科大学病院看護部安全対策委員会 監修ディジットブレーン 発行

実習表

実習係 松村 剛毅（PHS 28438）
連絡係 杉本 勝則 （PHS 29137）
集合場所 弥生記念教育棟 講義室 203

実習内容	実習場所 実習担当者
医療安全 1. インシデントアクシデント報告とは何か？ 2. 適切なコミュニケーションとは？ 3. 模擬事例を通して、どう対応をするか？医療者として、医療安全的な観点からどのように考えるか、どのように行動するのか、何を知らなくてはならないのかを考え、ディスカッションしていただきます。	弥生記念教育棟 講義室 203 松村剛毅

持参すべき物品：筆記用具

臨床基礎実習

臨床研究

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①
2) 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。
Ⅱ-5-B-(3-4)-②

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

模擬被験者を用いた同意取得技能の評価

(2) 評価項目（コアカリキュラム番号）

1) 医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。B-3-1)①
2) 臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。 B-3-1)②
3) 臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準（(Good Clinical Practice <GCP>)、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board <IRB>)）を説明できる。B-3-1)③
4) 模擬患者の協力を得て、臨床技能（コミュニケーションスキルを含む）や医療者に求められる態度を身につける。G-4-4)②

(3) 評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

1) 臨床試験の進め方　大橋 靖雄（編集），荒川 義弘（編集）　南江堂
2) IRBハンドブック 第2版―臨床研究の倫理性確保、被験者保護のために　ロバート J.アムダー（著），エリザベス・A・バンカード（著），栗原 千絵子（翻訳），斉尾武郎（翻訳）　中山書店

実習表

実習係　　研究推進センター蒋池　勇太（PHS：26404）
連絡係　　研究推進センター 佐々木　孝寛（PHS： 26659）
集合場所　彌生記念教育棟　講義室 203

実習内容	実習場所 実習担当者
1.　被験者同意取得のロールプレイ	蒋池　勇太 佐々木　孝寛 他、研究推進センター担当者

持参すべき物品：配布資料（治験実施計画書、同意説明文書）、筆記用具、白衣

臨床基礎実習

CPC

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-①
2) 疾患、症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④
3) 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。Ⅰ-2-B-(3-4)-②

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

1) 出席状況と実習に対する取り組みの態度
2) 実習症例および関連する病理学的事項についての筆記試験

(2) 評価項目（コアカリキュラム番号）

1) 必要な課題を自ら発見できる。A-2-1)-①
2) 自分に必要な課題を、重要性、必要性に照らして順位付けできる。A-2-1)-②
3) 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。A-2-1)-③
4) 課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。A-2-1)-④
5) 適切な自己評価ができ、改善のため具体的方策を立てることが出来る。A-2-1)-⑤

(3) 評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

1) Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease. 10th ed. Kumar et al. Elsevier 2021
2) 標準病理学 第7版　北川昌伸/仁木利郎 編　医学書院 2023
3) 組織病理アトラス 第6版　深山正久 編　文光堂 2015
4) 日本病理学会 病理コア画像 https://pathology.or.jp/corepictures2010/

実習表

実習係　　倉田 厚　（内線　26456）
連絡係　　倉田 厚
集合場所　　自宅学修 e-Learning

実習内容	実習場所 実習担当者
PC 上の提示される症例に関して、問題に解答する事で、以下の項目を学修する。 1. 病理解剖症例（剖検例）の臨床経過を説明できる。 2. 剖検例の臨床診断を理解できる。 3. 剖検例の臨床上の問題点を抽出できる。 4. 剖検例の諸臓器の肉眼所見を説明できる。 5. 剖検例の組織学的所見を説明できる。 6. 剖検例の病理診断を理解できる。 7. 臨床上の問題点について病理学的な説明が出来る。 8. 剖検例の病因と病態を説明し、死に至る過程を総合的に理解できる。 通常、PC 上で解答を行うが、例外的に筆記による考察作成を行う場合がある。	病理学講座（人体病理学・病態神経科学分野）: 倉田・箱崎・遠藤 病理診断科： 山本・種田・吉澤・井藤

持参すべき物品：白衣、筆記用具

※WebClass を用いた自宅学修 e-Learning で実施いたします。
　詳細は、2026 年 10 月 20 日（火）CPC オリエンテーションで説明します。

臨床基礎実習

放射線診断演習

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

1) 疾患･症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④
2) 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-①
3) 適切な治療法とその根拠を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-②
4) 適切な診療ガイドラインを選択できる。Ⅰ-3-A-(3-4)-②
5) 診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(3-4)-①

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

1) E-learningによる設問に解答し、コースに設定された採点方法で評価。
2) 実習の理解度や到達度を総合的に評価。

(2) 評価項目（コアカリキュラム番号）

1) 基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。A-3-1)-③
2) 問題の同定から治療やマネジメントに至るプロセスを列挙できる。F-2-1)-①
3) 診断仮説を検証するために、診断仮説に基づいた情報収集を実施できる。F-2-1)-④
4) 状況に応じ、診断プロセスと治療やマネジメントが並行して行われることが説明できる。F-2-1)-⑥
5) エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の原理を説明できる。F-2-5)-①
6) エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の読影の基本を説明できる。F-2-5)-②
7) 放射線診断・治療による利益と不利益を説明できる。F-2-5)-④
8) インターベンショナルラジオロジー（画像誘導下治療）を概説できる。F-2-5)-⑤
9) 超音波機器の種類と原理を説明できる。F-2-7)-①
10) 超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。F-2-7)-②
11) 主な疾患、病態のエコー像を概説できる。F-2-7)-③
12) 超音波の生体作用と安全性を説明できる。F-2-7)-⑤
13) 基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。F-3-1)-①
14) 得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。F-3-1)-②
15) 病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。F-3-1)-③
16) 主要疾患の症例に関して、診断・治療計画を立案できる。F-3-1)-④
17) 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。G-4-2)-①
18) 疾患の病態や疫学を理解する。G-4-2)-②
19) 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。G-4-2)-④

（3）評価基準

上記評価項目について評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3 以上を合格とする。

参考図書

1) CT/MRI 画像解剖ポケットアトラス（第 4 版）第Ⅰ巻　町田徹 監訳　MEDSi 2015
2) CT/MRI 画像解剖ポケットアトラス（第 4 版）第Ⅱ巻　町田徹 監訳　MEDSi 2015
3) CT/MRI 画像解剖ポケットアトラス（第 4 版）第Ⅲ巻　町田徹 監訳　MEDSi 2018
4) 標準放射線医学（第 7 版）西谷弘・他 編集　医学書院　2011
5) 画像診断ガイドライン 2021 年版　日本医学放射線学会、日本放射線専門医会・医会 編　金原出版　2021
6) Radiology Review Manual（8th Edition）W.Dahnert　WOLTERS KLUWER 2017
7) 新 核医学テキスト　絹谷清剛 編　中外医学社　2023
8) 最新臨床核医学（第 3 版）　久田欣一 監修　金原出版　1999
9) TNM 悪性腫瘍の分類　日本語版（第 8 版）　UICC 日本委員会 TNM 委員会 訳　金原出版　2017
10) 脳 MRI 1 正常解剖（第 2 版）　高橋昭喜 編著　学研メディカル秀潤社　2005
11) 脳 MRI 2 代謝・脱髄・変性・外傷・他　高橋昭喜 編著　学研メディカル秀潤社 2008
12) 脳 MRI 3 血管障害・腫瘍・感染症・他　高橋昭喜 編著　学研メディカル秀潤社 2010
13) 脳脊髄の MRI（第 2 版）細矢貴亮 他編　MEDSi 2009
14) 新版胸部単純Ｘ線診断　画像の成り立ちと読影の進め方（第 2 版）　林邦昭、中田肇 編著　学研メディカル秀潤社　2000
15) 胸部の CT（第 4 版）　村田喜代史・他 編著　MEDSi 2018
16) 腹部の CT（第 3 版）　陣崎雅弘 監修　MEDSi 2017
17) 腹部の MRI（第 3 版）　荒木力 編集　MEDSi 2014
18) 関節の MRI（第 3 版）　上谷雅孝・他 編集　MEDSi 2020
19) IVR マニュアル（第 3 版）　山門亨一郎・他　編集　医学書院　2024
20) 頭部 画像診断の勘ドコロ NEO　田岡俊昭 編集　メジカルビュー社　2021
21) 頭頸部 画像診断の勘ドコロ NEO　浮洲龍太郎 編集　メジカルビュー社　2020
22) 心臓・大血管 画像診断の勘ドコロ NEO　横山健一 編集　メジカルビュー社 2021
23) 消化器 画像診断の勘ドコロ NEO　松本俊郎 編集　メジカルビュー社　2021
24) 泌尿器領域 画像診断の勘ドコロ NEO　玉田勉 編集　メジカルビュー社　2021
25) 産婦人科 画像診断の勘ドコロ NEO　藤井進也 編集　メジカルビュー社　2021
26) 胸部 画像診断の勘ドコロ NEO　髙橋雅士 編集　メジカルビュー社　2023
27) 小児 画像診断の勘ドコロ NEO　宮嵜治 編集　メジカルビュー社　2023
28) 乳房 画像診断の勘ドコロ NEO　角田博子 編集　メジカルビュー社　2024

実習表

実習係　坂井　修二　（ PHS　28258 ）
連絡係　五十嵐　有希（ 内線　37526 ）
集合場所　彌生記念教育棟　大実習室３

実習内容	実習場所
1. PC を用いた e-learning	彌生記念教育棟　大実習室３
実習担当者 坂井修二・長尾充展・森田　賢・鈴木一史・早野敏郎・仁品　祐・ 坂井鈴子・太田貴美・小川悠子・山本篤志・遠藤創太・大野敏寛・ 前川由依・國弘泰裕	

持参すべき物品：筆記用具

臨床基礎実習

保健所

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号
1) 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①
2) 自分の選択・判断の根拠を説明できる。Ⅱ-4-A-(3-4)-①
3) 他者の考えを聞いて自分の選択を判断して説明できる。Ⅱ-4-A-(3-4)-②

学修(教育)方法
保健所や保健センター等における実習

評価方法
(1) 総括的評価の対象
1) 出席状況およびレポートにより評価する。

(2) 評価項目(コアカリキュラム番号)
1) 必要な課題を自ら発見できる。A-2-1)①
2) 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。A-2-1)②
3) 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。A-2-1)③
4) 適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。A-2-1)⑤
5) 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健(母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性を説明できる。A-7-1)③B-1-7)③
6) 地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。A-7-1)⑤B-1-7)⑤
7) 衛生学・公衆衛生学実習等と連携し、社会医学的(主に量的)な視点から地域を診る学習機会を作る。G-4-3)④

(3) 評価基準
出席状況(60%)及び課題レポート(40%)について、評価者による点数化を行い、5.きわめてよく理解している、4.よく理解している、3.平均的に理解している、2.最低限は理解している、1.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書
1) 一般財団法人 厚生労働統計協会 国民衛生の動向 2025/2026 2025
2) 厚生労働省 令和7年版厚生労働白書 2025

実習表

実習係　野原　理子　（ PHS　　　　　）
連絡係　武藤　剛　　（ 内線　31417 ）
集合場所　各保健所

実習内容	実習場所 実習担当者
1. 保健所及び保健センターの役割と調整機能 2. 地域住民に必要なサービスを提供する仕組みづくり 3. 地域の健康危機管理に関する広域的・専門的・技術的拠点機能	各保健所または保健センター

持参すべき物品：筆記用具

保健所実習の手引き

感染症のパンデミックや大規模な自然災害などにより、保健所の果たす役割がますます期待されている。保健所の実施事業については地域保健法に以下のように定められている。

I.　保健所が実施する事業

地域保健法第六条（事業）

保健所は、次に掲げる事項につき、企画、調整、指導及びこれらに必要な事業を行う。

① 地域保健に関する思想の普及及び向上に関する事項
② 人口動態統計その他地域保健に係る統計に関する事項
③ 栄養の改善及び食品衛生に関する事項
④ 住宅、水道、下水道、廃棄物の処理、清掃その他の環境の衛生に関する事項
⑤ 医事及び薬事に関する事項
⑥ 保健師に関する事項
⑦ 公共医療事業の向上及び増進に関する事項
⑧ 母性及び乳幼児並びに老人の保健に関する事項
⑨ 歯科保健に関する事項
⑩ 精神保健に関する事項
⑪ 治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病により長期に療養を必要とする者の保健に関する事項
⑫ エイズ、結核、性病、伝染病その他の疾病の予防に関する事項
⑬ 衛生上の試験及び検査に関する事項
⑭ その他地域住民の健康の保持及び増進に関する事項

II. 保健所の判断で実施

地域保健法第七条

保健所は、前条に定めるもののほか、地域住民の健康の保持及び増進を図るために必要があるときは、次に掲げる事業を行うことができる。

① 所管区域に係る地域保健に関する情報を収集し、整理し、及び活用すること。
② 所管区域に係る地域保健に関する調査及び研究を行うこと。
③ 歯科疾患その他厚生労働大臣の指定する疾患の治療を行うこと。
④ 試験及び検査を行い、並びに医師、歯科医師、薬剤師その他の者に試験及び検査に関する施設を利用させること。

III. 市町村の求めに応じて実施

地域保健法第八条（都道府県の設置する保健所の業務）

都道府県の設置する保健所は、前二条に定めるもののほか、所管区域の市町村の地域保健対策の実施に関し、市町村の求めに応じ、技術的助言、市町村職員の研修その他必要な援助を行うことができる。

上記のように多様な事業を実施する保健所の役割を理解することは、人々の命と健康をまもる医師にとって非常に重要である。

【一般目標】

保健所で実施されている業務を通して、現場の実態や連携の必要性を学ぶ。また、地域住民の健康がどのように守られているのか具体的にイメージを掴むことで、公衆衛生の理解を深める。

また、吉岡彌生先生は著書の中で、“*学生時代の優等生より、(地域実習で) 働きのある生徒の方が、患者に接して親切で、評判がよろしいようであります。ですから、単に学科の成績がいいということだけではだめで、人間ができていなければならず、ことに現在のような時代には有能な医者として国家のため社会のためにつくすという精神、精神ばかりでなく、その実行力をつくっておくことが何より重要だと思います。*(吉岡彌生著『吉岡弥生 : 吉岡弥生伝』)”と述べられている。本実習を通して現場で求められる力を学ぶ。

【目的】

- 保健所および保健センターの役割と機能を学習する。
- 地域住民に必要なサービスを提供する仕組みづくりを学習する。
- 地域の健康危機管理に関する広域的・専門的・技術的拠点であることを学習する。

【実習で対応するアウトカム】

社会に奉仕する姿勢

A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①
  - 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。(A)

B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。Ⅱ-3-B-(3-4)-①②③
  - 基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。(C)
  - 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。(C)
  - 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。(C)

先導と協働する姿勢

A. 自分の判断を説明できる。Ⅱ-4-A-(3-4)-①②
  - 自分の選択・判断の根拠を説明できる。(A)
  - 他者の考えを聞いて自分の選択を判断して説明できる。(A)

B. グループを先導できる。Ⅱ-4-B-(3-4)-①②③
  - 討論・話し合いを促せる。(B)
  - 自分の方針を説明し同意を得ることができる。(B)
  - 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。(C)

C.　医療チームの中で協働できる。Ⅱ-4-C-(3-4)-①②

- グループ目標達成のために行動できる。(B)
- 構成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。(C)

アウトカムの重要度	
(A)	少なくともこれだけは
(B)	できればここまで
(C)	もし余裕があれば

【保健所実習事前課題】

1. 実習先の保健所で学びたいことや聞きたいことを箇条書きで3～5項目記載してください。

【レポート課題】

1. 実習で体験した内容とその体験から学んだことを記述してください。(400字以内)
2. 実習先で実施していた取組みを一つ挙げ、実習先の地域の特徴を踏まえて内容を説明し、それに対する新たな提案を考察してください。(800字以内)

【評価】

知識、技能、態度について振り返り、出席（60%）およびレポート（40%）で評価する。

【身だしなみ、服装など】

身だしなみ　学生便覧（p.48～50に準ずる）

- 服装は原則としてスーツ着用とする。各実習先からの指示がある場合はそれに従う。
- 履物は歩きやすく音の静かなものとする。
- 肩に届く以上の長さの頭髪は必ず束ねる。
- アクセサリーは禁止とし、髪留めは華美でないものを使用する。
- 爪は伸ばさず、マニキュア・ネイルアートは禁止とする。
- 言葉遣い、気配り、態度に十分注意する。

集合場所

- 各保健所または保健センター。

スケジュール

- 各保健所または保健センターの予定に従う（時間は厳守すること）。

＊集合場所とスケジュールについては各実習の 1 週間前を目途に連絡するので、各自確認すること。

大学の緊急連絡

- 電話　（大代表）03-3353-8111　（内線）31417
- メール　野原理子　nohara.michiko@twmu.ac.jp
  　　　　武藤剛　muto.go@twmu.ac.jp

【メモ】

縦 断 教 育 科 目

科目名	「至誠と愛」の実践学修
科目責任者(所属)	野原　理子

到達目標	本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めなくてはならない。「「至誠と愛」の実践学修」では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。 具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような６本の柱がある。各講義・ワークショップ、実習はこの６本の柱の下に構成されている。 【６本の柱】 （1）専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係） （2）専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力） （3）医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ （4）医療人としての倫理―解釈と判断（法と倫理に基づく実践力） （5）女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢） （6）自校の理念、歴史を知る（自校教育）
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	適切な治療法とその根拠を説明できる。　Ⅰ-1-B-(3-4)-② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。　Ⅰ-1-C-(3-4)-② 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。　Ⅰ-2-A-(1-2)-① 問題の優先度および重要度を判断できる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-① 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-② 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。　Ⅰ-2-A-(5-6)-① 患者の診療上の問題を明らかにできる。　Ⅰ-2-A-(5-6)-② 問題の科学的重要性を評価できる。　Ⅰ-2-B-(3-4)-① 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。　Ⅰ-2-C-(3-4)-② 適切な問題解決を行ったか検証できる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-① 結果の客観的評価ができる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-② 結果の解釈の限界を明らかにできる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-③ 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。　Ⅰ-4-A-(3-4)-① 患者に分かる言葉を選択できる。　Ⅰ-4-A-(3-4)-② 研究・実習・症例などの要約が作成できる。　Ⅰ-4-B-(3-4)-① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。　Ⅰ-4-C-(3-4)-① 医療チームでの情報共有について説明できる。　Ⅰ-4-C-(3-4)-② 患者の人権・尊厳を説明できる。　Ⅱ-1-A-(3-4)-② 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。　Ⅱ-1-B-(3-4)-① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。　Ⅱ-3-A-(3-4)-① 自分の選択・判断の根拠を説明できる。　Ⅱ-4-A-(3-4)-① 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。　Ⅱ-4-A-(3-4)-② 討論・話し合いを促せる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-① 自分の方針を説明し同意を得ることができる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-② 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-③ グループ目標達成のために行動できる。　Ⅱ-4-C-(3-4)-① 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。　Ⅱ-4-C-(3-4)-② 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。　Ⅱ-5-B-(3-4)-②
学修（教育）方法	講義、ワークショップ、実習、行事、小グループ討論
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義と行事の課題、ワークショップと実習の学修成果で評価する。なお、履修要件として本科目授業数の8割以上の出席が必要である。
	医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。　A-1-1)① 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。　A-1-1)② ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。　A-1-1)③ リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。　A-1-2)① 患者の自己決定権の意義を説明できる。　A-1-2)② 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。　A-1-2)③ インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。　A-1-2)④ 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。　A-1-3)② 医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。　A-1-3)③ 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。　A-1-3)④ 医師の法的義務を列挙し、例示できる。　A-1-3)⑤ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。　A-2-1)② 課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。　A-2-1)④ 患者の病状（症状、身体所見、検査所見等）、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。　A-3-1)⑤ 緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。　A-3-1)⑥

評価方法 (2)評価項目	患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して誠実で適切な支援を行える。	A-3-1)⑧
	コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。	A-4-1)①
	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	A-4-1)②
	患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。	A-4-1)③
	患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。	A-4-2)①
	患者に分かりやすい言葉で説明できる。	A-4-2)②
	患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	A-4-2)③
	医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。	A-4-2)④
	患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。	A-4-2)⑤
	患者のプライバシーに配慮できる。	A-4-2)⑥
	患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	A-4-2)⑦
	チーム医療の意義を説明できる。	A-5-1)①
	医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。	A-5-1)②
	自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	A-5-1)③
	保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。	A-5-1)④
	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team (DMAT))、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team (DPAT))、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team (JMAT))、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。	A-7-1)⑥
	抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。	A-8-1)④
	生涯学習の重要性を説明できる。	A-9-1)①
	生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	A-9-1)②
	キャリア開発能力を獲得する。	A-9-1)③
	キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。	A-9-1)④
	臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にする。	A-9-1)⑤
	根拠に基づいた医療(EBM)の５つのステップを列挙できる。	B-1-3)①
	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(DMAT)、災害派遣精神医療チーム(DPAT)、日本医師会災害医療チーム(JMAT)、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。	B-1-7)⑥
	医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。	B-1-8)⑥
	医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。	B-1-8)⑦
	植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。	B-2-1)①
	異状死・異状死体の取扱いと死体検案を説明できる。	B-2-1)②
	臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice (GCP))、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board (IRB))）を説明できる。	B-3-1)③
	医療人類学や医療社会学等の行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論を概説できる。	B-4-1)①
	病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。	B-4-1)②
	自身が所属する文化を相対化することができる。	B-4-1)③
	人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。	B-4-1)④
	人の言動の意味をその人の人生史や社会関係の文脈の中で説明することができる。	B-4-1)⑤
	文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。	B-4-1)⑥
	病人役割を概説できる。	B-4-1)⑨
	多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。	B-4-1)⑬
	具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。	B-4-1)⑭
	行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係を概説できる。	C-5-1)③
	生理的動機（個体保存、種族保存）、内発的動機（活動、感性、好奇、操作等）及び社会的動機（達成、親和、愛着、支配等）を概説できる。	C-5-3)①
	動機付けを例示できる。	C-5-3)②
	欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できる。	C-5-3)③
	適応（防衛）機制を概説できる。	C-5-3)④
	主なストレス学説を概説できる。	C-5-4)①
	人生、日常生活や仕事におけるストレッサーとその健康への影響を例示できる。	C-5-4)②
	ストレス－コーピング過程に関連する心理社会的要因を説明できる。	C-5-4)③
	ストレス対処法を概説できる。	C-5-4)④
	対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。	C-5-7)①
	人間関係における欲求と行動の関係を概説できる。	C-5-7)②
	主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。	C-5-7)③
	集団の中の人間関係（競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ）を概説できる。	C-5-7)④
	効果的な対人コミュニケーションを説明できる。	C-5-7)⑤
	話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。	C-5-7)⑥
	個と集団に及ぼす文化的影響を例示できる。	C-5-7)⑦
	文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。	C-5-7)⑧
	健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。	C-5-8)①
	行動療法を説明できる。	C-5-8)②
	認知行動療法を説明できる。	C-5-8)③
	心理教育を説明できる。	C-5-8)④
	生活習慣病における患者支援（自律性支援）や保健指導を概説できる。	C-5-8)⑤
	高齢者の人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を説明できる。	E-8-1)⑫
	死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる	E-9-1)⑥

	人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。	E-9-1)⑦
	患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。	E-9-1)⑩
	緩和ケア（緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む）を概説できる。	F-2-16)①
	全人的苦痛を説明できる。	F-2-16)②
	緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛、心理社会的苦痛を列挙することができる。	F-2-16)③
	疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、癌疼痛治療法を説明できる。	F-2-16)④
	オピオイドの適応と課題を説明できる。	F-2-16)⑤
	緩和ケアにおける患者・家族の心理を説明できる。	F-2-16)⑥
	救急科：チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。	G-4-1-7)③
	救急科：家族や地域といった視点をもち、保健・医療・福祉・介護との連携を学ぶ。	G-4-1-7)④
	救急科：救急隊員との連携を通じて、病院前救護体制とメディカルコントロールについて学ぶ。	G-4-1-7)⑤
	救急科：地域の災害医療体制について学ぶ。	G-4-1-7)⑥

評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
事前・事後学修	講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。
伝達事項	①形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）として、出席状況、遅刻状況、実習・ワークショップ中の態度、提出物（課題については既定の文字数、内容を満たしていること）が評価対象となる。 ②授業の実施方法には、講義、ワークショップ、実習、行事がある。 ③準備学修（予習・復習）の具体的な内容およびこれに必要な時間：あらかじめ学生ポータルサイトに掲示されるレジメや説明に目を通すこと。実習は、事前ガイダンスに参加して、学修目標、ドレスコードや実習先での心構えを意識すること。事前事後学修の目安0.25時間＋1.0時間。
実務経験	

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『人間関係教育と行動科学テキストブック（第3版）-「至誠と愛」の実践学修-』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会 編	三恵社 2018	9784864878425
2.	『人間の記録63 吉岡弥生 吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター 1998	9784820543084
3.	『糖尿病と向き合う一筋の道』	大森安恵	時空出版 2021	9784882670728
4.	『命は誰のものか 増補改訂版 』	香川知晶	ﾃﾞｨｽｶﾊﾞｰ・ﾄｩｴﾝﾃｨﾜﾝ 2021	9784799327296
5.	『麻酔科診療にみる医学留学へのパスポート（シリーズ日米医学交流No.12）』	公益財団法人 日米医学医療交流財団/編	はる書房 2012	9784899841272
6.	『心臓外科診療にみる医学留学へのパスポート（シリーズ日米医学交流No.15）』	公益財団法人 日米医学医療交流財団/編	はる書房 2015	9784899841531
7.	『平静の心：オスラー博士講演集 新訂増補版』	オスラー [述]；日野原重明, 仁木久恵訳	医学書院 2003	426012708X
8.	『医者が心をひらくとき：a piece of mind 上』	ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳	医学書院 2002	4260138995
9.	『医者が心をひらくとき：a piece of mind 下』	ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳	医学書院 2002	4260139002
10.	『出生と死をめぐる生命倫理：連続と不連続の思想』	仁志田博司	医学書院 2015	9784260024013
11.	『学生のための医療概論 第4版』	小橋 元、近藤 克則、黒田 研二、千代 豪昭	医学書院 2020	9784260041256
12.	『らくらく視覚障害生活マニュアル』	加藤明彦	医歯薬出版 2003	4263234170
13.	『日本の医の倫理：歴史と現代の課題』	関根透	学建書院 1998	4762406066
14.	『患者の権利とは何か（岩波ブックレット No.297）』	鈴木利廣	岩波書店 1993	400032372
15.	『コンプレックス（岩波新書 青808）』	河合隼雄	岩波書店 1971	400412073X
16.	『ユーモアは老いと死の妙薬：死生学のすすめ』	アルフォンス・デーケン	講談社 1995	4062079488
17.	『対話のレッスン 日本人のためのコミュニケーション術』	平田オリザ	講談社学術文庫 2015	9784062922999

18.	『新版増補　生命倫理事典』	酒井昭夫	太陽出版 2010	9784884696672
19.	『新版 医療倫理Q&A』	関東医学哲学・倫理学会編	太陽出版 2013	4884697693
20.	『明治を生きた男装の女医　高橋瑞物語』	田中ひかる	中央公論社 2020	9784120053207
21.	『人間の詩と真実：その心理学的考察』	霜山徳爾	中央公論社 絶版 1978	9784121005243
22.	『詩と死をむすぶもの：詩人と医師の往復書簡（朝日新書；137）』	谷川俊太郎, 徳永進	朝日新聞社 2008	9784022732378
23.	『インフォームド･コンセント（NHKブックス　711）』	森岡恭彦	日本放送出版協会 1994	4140017112
24.	『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション：誤解･失敗･すれ違い』	久米昭元, 長谷川典子著	有斐閣 2007	9784641281080
25.	『22世紀の医師のリアル：時代を先取る医師に聞く､これからの時代のキャリアの築き方』	西﨑祐史、志水太郎、上原由紀　編	メジカルビュー社 2023	9784758317863

関連リンク

1.	スフィアハンドブック 人道憲章と人道支援における最低基準 2018 JQAN	https://jqan.info/wpJQ/wp-content/uploads/2020/04/spherehandbook2018_jpn_web_April2020.pdf
2.	講義と演習で学ぶ保健医療行動科学　第2版	https://www.jahbs.info/textbook.html
3.	心理的応急処置（サイコロジカル･ファーストエイド：PFA）フィールド･ガイド．（2011）世界保健機関	https://www.mhlw.go.jp/content/000805675.pdf

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/16(木)	５時限	講義	–	15:15-16:25
	タイトル	災害医療（1）(203講義室)※収録配信なし、対面のみ			
	担当者（所属）	武田　宗和			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-3-1)⑤⑥,A-5-1)①②③,A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,B-4-1)⑬, G-4-1-7③-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/05/22(金)	３時限	行事	–	12:30-13:40
	タイトル	吉岡彌生記念講演会 （各自配信動画を視聴）			
	担当者（所属）	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-01-02①、A-01-03②④、A-02-01②④、A-09-01①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/05/22(金)	４時限	行事	–	13:55-15:05
	タイトル	吉岡彌生記念講演会 （各自配信動画を視聴）			
	担当者（所属）	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-01-02①、A-01-03②④、A-02-01②④、A-09-01①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				3

4.	2026/05/22(金)	５時限	行事	－	15:15-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会 （各自配信動画を視聴）			
	担当者（所属）	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-01-02①、A-01-03②④、A-02-01②④、A-09-01①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				4
5.	2026/06/13(土)	１時限	行事	－	09:30-12:30
	タイトル	女性医師・研究者支援シンポジウム2026 ※配信とするか未定			
	担当者（所属）	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-8-1)④,A-9-1)①-④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				5
6.	2026/06/13(土)	２時限	行事	－	09:30-12:30
	タイトル	女性医師・研究者支援シンポジウム2026 ※配信とするか未定			
	担当者（所属）	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-8-1)④,A-9-1)①-④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				6
7.	2026/10/21(水)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	緩和ケア			
	担当者（所属）	高山　敬子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	F-2-16) ①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				7
8.	2026/10/26(月)	５時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	生命倫理（1）「終末期ケアの理論」			
	担当者（所属）	高山　敬子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-1)②③,A-1-2)①-④,A-1-3)②-⑤,A-4-2)①④⑥⑦,B-1-8)⑥⑦,B-2-1)①②,B-3-1)③			
	講義資料番号/連番 (LMS)				8
9.	2026/10/27(火)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	行動科学（3）ストレスと行動科学			
	担当者（所属）	小林　清香			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	C-5-1)③,C-5-3)①-④			

		講義資料番号/連番(LMS)				9
	10.	2026/10/27(火)	４時限	実習	講義室 203	13:55-15:05
		タイトル	行動科学（3）ストレスと行動科学・実習			
		担当者（所属）	小林　清香			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	C-5-1)③,C-5-3)①-④,C-5-4)①-④			
		講義資料番号/連番(LMS)				19
	11.	2026/10/28(水)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
		タイトル	患者中心医療			
		担当者（所属）	高山　敬子			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-2)①-④,A-3-1)⑧,A-4-1)①②③,A-4-2)①-⑤,A-5-1)①-④,B-4-1)②③④⑤⑥⑬⑭			
		講義資料番号/連番(LMS)				10
授業予定表	12.	2026/10/29(木)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
		タイトル	行動科学（4）「行動科学とは／保健医療行動と動機づけ」			
		担当者（所属）	諏訪　茂樹			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	B-4-1)①②③④⑨,C-5-7)⑦⑧,C-5-8)①B-4-1)			
		講義資料番号/連番(LMS)				11
	13.	2026/10/29(木)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
		タイトル	行動科学（5）「行動変容ステージと各種アプローチ」			
		担当者（所属）	諏訪　茂樹			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-2)②③④,C-5-8)⑤			
		講義資料番号/連番(LMS)				12
	14.	2026/11/02(月)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
		タイトル	臨床研究倫理（2）			
		担当者（所属）	蒋池　勇太 佐々木　孝寛 佐藤　康仁			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	C-5-8)①-⑤			
		講義資料番号/連番(LMS)				13
	15.	2026/11/02(月)	４時限	講義	−	13:55-15:05
		タイトル	臨床研究倫理（2）ワークショップ※収録配信なし、対面のみ(講義室203)			
		担当者（所属）	蒋池　勇太 佐々木　孝寛			

		佐藤 康仁			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	C-5-8)①-⑤			
	講義資料番号/連番 (LMS)				14
16.	2026/11/02(月)	５時限	講義	−	15:15-16:25
	タイトル	臨床研究倫理（2）ワークショップ※収録配信なし、対面のみ(講義室203)			
	担当者（所属）	蒋池 勇太 佐々木 孝寛 佐藤 康仁			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	C-5-8)①-⑤			
	講義資料番号/連番 (LMS)				15
17.	2026/11/04(水)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	キャリアを考える（5）「海外における卒後臨床研修」			
	担当者（所属）	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-4-1)③,A-4-2)①,B-1-3)①			
	講義資料番号/連番 (LMS)				16
18.	2026/11/05(木)	３時限	実習	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	災害医療（2）Psychological First Aid			
	担当者（所属）	大沼 麻実			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,C-5-7)①-⑧			
	講義資料番号/連番 (LMS)				20
19.	2026/11/05(木)	４時限	実習	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	災害医療（2）Psychological First Aid			
	担当者（所属）	大沼 麻実			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,C-5-7)①-⑧			
	講義資料番号/連番 (LMS)				21
20.	2026/11/06(金)	３時限	実習	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	行動科学（6）行動変容の理論と技法			
	担当者（所属）	辻 かをる 井上 敦子 小林 清香			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	C-5-8)①-⑤			
	講義資料番号/連番 (LMS)				22

21.	2026/11/06(金)	４時限	実習	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	行動科学（6）行動変容の理論と技法			
	担当者（所属）	辻　かをる 井上　敦子 小林　清香			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	C-5-8)①-⑤			
	講義資料番号/連番 (LMS)				23
22.	2026/11/06(金)	５時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	キャリアを考える（6）「大学病院における臨床医」			
	担当者（所属）	篠崎　和美 遠井　素乃 番場　嘉子 山口　沙耶			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-9-1)①-④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				17
23.	2026/11/11(水)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	ハンセン病問題から学ぶこと			
	担当者（所属）	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-1) ①			
	講義資料番号/連番 (LMS)				18

科目名	AI･データサイエンスと医療
科目責任者(所属)	大月　道夫

到達目標	セグメント8では、縦断科目である「情報処理・統計」のセグメント５， ６における基礎的な学修をさらに発展させ、応用能力の開発を目標とする。具体的目標としては、コアとなる診療科のEBMの学修を土台とし、今後の臨床実習において自発的にガイドラインを参照できる能力を獲得し、EBMの実践が行えることである。 カリキュラムの前半3コマのうち、最初の3コマでEBMの基本を学修する。ここでの学修目標は、根拠に基づいた医療 <EBM> の5つのステップ、診療ガイドラインの使用上の注意点を列挙できる、診療ガイドラインの推奨レベルの違いを説明できる、診療ガイドラインの使い方を説明できる、である。3コマのガイダンス講義を通して後半の各論講義の理解に必要な基本的な考え方を整理・確認することができる。 各論講義は、外科系3コマ、内科系7コマ、計10コマからなる。すべての診療科を網羅することは困難であるため、重要度の高い代表的な疾患を中心に各専門家による講義を組み入れた。内科系と外科系の講義が含まれる。 一連の学修を通じて、講義で取り扱わなかった疾患に対しても自らEBMが正しく実践できる能力が身に付くと期待される。次年度の臨床実習で経験する症例に対してガイドラインに基づいた判断ならびに批判的吟味を自ら行い、指導医とのディスカッションによって深い学修につながることを期待する。
アウトカム･ロードマップに係わる到達目標/項目番号	根拠に基づいた医療<EBM>の5つのステップを列挙できる　B-1-3)-① Patient, population, problem, interventon（exposure), comparison, outocome <PICO(PECO)>を用いた問題の定式化ができる。　B-1-3)-② 研究デザインを概説できる。観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス）。　B-1-3)-③ データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。　B-1-3)-④ 得られた情報の批判的吟味ができる　B-1-3)-⑤ 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。　B-1-3)-⑥ 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。　B-1-3)-⑦ 罹患率と発生割合の違いを説明できる。　B-1-4)-③ 疫学とその応用（疫学の概念、疫学指標（リスク比、リスク差、オッズ比）とその比較（年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio<SMR>)、バイアス、交絡）を説明できる。　B-1-4)-④ 予防医学（一次、二次、三次予防）と健康保持増進（健康管理の概念･方法、健康診断･診査と事後指導）を概説できる。　B-1-4)-⑤
学修（教育）方法	講義
評価方法 (1)総括的評価の対象	定期試験（筆記試験）の点数100%で評価する。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。
評価方法 (2)評価項目	根拠に基づいた医療<EBM>の5つのステップを列挙できる　B-1-3)-① Patient, population, problem, interventon（exposure), comparison, outocome <PICO(PECO)>を用いた問題の定式化ができる。　B-1-3)-② 研究デザインを概説できる。観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス）。　B-1-3)-③ データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。　B-1-3)-④ 得られた情報の批判的吟味ができる　B-1-3)-⑤ 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。　B-1-3)-⑥ 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。　B-1-3)-⑦ 罹患率と発生割合の違いを説明できる。　B-1-4)-③ 疫学とその応用（疫学の概念、疫学指標（リスク比、リスク差、オッズ比）とその比較（年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio<SMR>)、バイアス、交絡）を説明できる。　B-1-4)-④ 予防医学（一次、二次、三次予防）と健康保持増進（健康管理の概念･方法、健康診断･診査と事後指導）を概説できる。　B-1-4)-⑤
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について、定期試験にて100点満点の点数化を行い、S．極めて良く理解している（90%以上）、A．良く理解している（80%以上905未満）、B．平均的に理解している（70%未満80%以上）、C．最低限は理解している（60%以上70%未満）、D．理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C 以上を合格とする。
事前･事後学修	講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。
伝達事項	-
実務経験	○　大学病院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う
教科書・参考図書	（下表）

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『初めて学ぶ優しい疫学　改訂第3版』	日本疫学会	南江堂 2018	2147483647
2.	『臨床疫学：EBM実践のための必須知識 第3版 （原著第5版）』	ロバート・H,フレッチャー	メディカルサイエンスインターナショナル 2016	9784895928533

3.	『臨床のためのEBM入門：決定版JAMAユーザーズガイド』	Gordon Guyatt	医学書院 2003	9784260127073
4.	『各種疾患のガイドライン（ダウンロードできるものが多い）』			

関連リンク	
添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK	

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/10/19(月)	５時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	1. EBM（概論）			
	担当者（所属）	花井　豪			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/10/19(月)	６時限	講義	講義室 203	16:35-17:45
	タイトル	10. 臨床におけるEBM （糖尿病）			
	担当者（所属）	花井　豪			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-3)④⑤⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/10/20(火)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	2. EBM（診断、治療、予後）			
	担当者（所属）	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-4)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2026/10/20(火)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	3. 診療ガイドラインの作成方法			
	担当者（所属）	佐藤　康仁			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-4)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/10/20(火)	６時限	講義	講義室 203	16:35-17:45
	タイトル	4. 臨床におけるEBM（関節リウマチ）			
	担当者（所属）	田中　榮一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-3)③④⑤⑥⑦			

授業予定表		講義資料番号/連番(LMS)				5
	6.	2026/10/21(水)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
		タイトル	11．臨床におけるEBM （消化器系疾患）			
		担当者（所属）	中井　陽介			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	B-1-4)③④⑤			
		講義資料番号/連番(LMS)				6
	7.	2026/10/26(月)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
		タイトル	5．臨床におけるEBM （循環器疾患）			
		担当者（所属）	村崎　かがり			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	B-1-3) ③④⑤⑥⑦			
		講義資料番号/連番(LMS)				7
	8.	2026/10/26(月)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
		タイトル	6．臨床におけるEBM （脳血管疾患）			
		担当者（所属）	星野　岳郎			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	D-2-4)-(1)①			
		講義資料番号/連番(LMS)				8
	9.	2026/10/26(月)	６時限	講義	講義室 203	16:35-17:45
		タイトル	7．臨床におけるEBM （肺悪性腫瘍）			
		担当者（所属）	井坂　珠子			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	B-1-3)④⑤⑥⑦			
		講義資料番号/連番(LMS)				9
	10.	2026/10/28(水)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
		タイトル	8．臨床におけるEBM （腎臓・高血圧）			
		担当者（所属）	内田　啓子			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	B-1-3)④⑤⑥⑦,D-8-4)-(1)②③,D-8-4)-(2)②③			
		講義資料番号/連番(LMS)				10
	11.	2026/10/30(金)	５時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
		タイトル	9．臨床におけるEBM （呼吸器・アレルギー性疾患）			
		担当者（所属）	多賀谷　悦子			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	B-1-3)④⑤⑥⑦			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2026/10/30(金)	６時限	講義	講義室 203	16:35-17:45
	タイトル	13．臨床におけるEBM （内分泌外科）			
	担当者（所属）	堀内 喜代美			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-3)④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2026/11/05(木)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	12．臨床におけるEBM（腹部外科疾患）			
	担当者（所属）	田村 由香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-3)④⑤⑥⑦,D-7-4)-(1)①-③,D-7-4)-(2)①-⑧,D-7-4)-(3)①-⑰,D-7-4)-(4)①-④,D-7-4)-(7)①-③,D-7-4)-(8)①-⑫			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2026/11/17(火)	３時限	試験	－	14:00-15:30
	タイトル	AI・データサイエンスと医療 試験14:00-15:30(講義室202,203)			
	担当者（所属）	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2026/11/17(火)	４時限	試験	－	14:00-15:30
	タイトル	AI・データサイエンスと医療 試験14:00-15:30(講義室202,203)			
	担当者（所属）	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2026/11/27(金)	３時限	追・再試験	－	12:30-13:40
	タイトル	AI・データサイエンスと医療 追再試験12:30-13:40(講義室203)			
	担当者（所属）	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				16

科目名	基本的・医学的表現技術
科目責任者(所属)	木林　和彦

到達目標	基本的・医学的表現技術では自分の表現したいことと表現すべきことを的確に把握して文書で正確に表現する能力を養う。医師として患者自身に全人的な関心を持ち、患者の状態を表現し共有するため、診療録、患者要約、診療情報提供書の記載ができること、また、患者のニーズを把握してチームで適切な検査治療が行われるように処方箋、検査依頼書の作成ができること、さらに、診断書類を正確に作成できることを目標とする。医学研究のための研究計画書、症例報告と論文が作成できること、学会発表ができることも目標としている。 これまでの学修として、①セグメント1では大学生として基本的な読解力と文章力、学び・気づき・変容を省察して表現する技能を習得した。②セグメント2では科学的実験の記録方法、医療関係講演の記録方法、医学情報の伝達と説明に必要な基本的表現技術、基礎医学に関する基本的表現技術を習得した。③セグメント4では研究者や医師として研究活動で学会発表や論文発表を行うための準備教育として、学会発表の抄録、スライド、ポスターの作成方法、医学情報を論文等で正しく文書表現する方法を学修した。④セグメント5では医療で扱う診療諸記録の種類と役割を理解し、患者情報の記録、管理及び伝達の方法を学修した。 今回のセグメント8では医学・医療における文書作成について学修し、医師としての基本的表現技術を養うことを目標とする。即ち、①診療録、患者要約（入院時・退院時サマリー）、診療情報提供書、検査依頼書、処方箋の具体的な記載方法を学修する。また、②診断書、出生証明書、死産証書、死亡診断書、死体検案書、死胎検案書、各種意見書の具体的な記載方法を学修する。今後、病院実習で診療諸記録の作成を実習する際に役立つ内容である。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	医学情報をわかりやすく伝えることができる。　Ⅰ-4-A-(3-4)-① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。　Ⅰ-4-B-(3-4)-① POMRに基づく診療情報記録方法を説明できる。　Ⅰ-4-B-(3-4)-② 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。　Ⅰ-6-B-(3-4)-③
学修（教育）方法	講義。講義中に医療文書の作成演習を行い、全体でディスカッションを行う。
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義の出席を50%、講義（演習）での作成文書を50%の割合として成績を評価する。試験は行わないため、講義出席と作成文書提出が評価に必要である。
評価方法 (2)評価項目	1)診療録（カルテ）についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record (POMR))形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。　[A-3-1)④] 2)診療録（カルテ）に関する基本的な知識（診療録の管理と保存（電子カルテを含む）、診療録の内容、診療情報の開示、プライバシー保護、セキュリティー、問題志向型医療記録(POMR)、主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan (SOAP))）を説明でき、実際に作成できる。　[B-2-2)①] 3)診療に関する諸記録（処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約）を説明できる。　[B-2-2)②] 4)診断書、検案書、証明書（診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書）を説明できる。　[B-2-2)③]
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
事前・事後学修	講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。
伝達事項	-
実務経験	○　医学・医療での教育と実務の経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う
教科書・参考図書	(下表)

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『医療従事者のための「効果的な文章の書き方」入門』	園部俊晴著	運動と医学の出版社 2010	9784904862018
2.	『診療録の記載とプレゼンテーションのコツ』	酒巻哲夫, 阿部好文編集	メジカルビュー社 2009	9784758300773
3.	『標準的診療記録作成・管理の手引き』	全日本病院協会医療の質向上委員会(DRG・TQM委員会)編著	じほう 2004	4840733074
4.	『医師・医療クラークのための医療文書の書き方』	中村雅彦著	永井書店 2012	9784815918965
5.	『医療文書の正しい書き方と医療補償の実際』	日野原重明, 加我君孝編集	金原出版 2007	9784307004565
6.	『医療文書作成マニュアル』	小林光雄, 山川美登里著	ミクス 1997	4895872238

	7.	『診療録と重要な医療文書の書き方』	山沢【イク】宏著	ミクス 2000	4895872580
	8.	『医師のための紹介状・返信の正しい書き方』	市村恵一編集	金原出版 2002	4307004302
関連リンク					
添付ファイル ※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/08/24(月)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	1. 診療記録の書き方（1）診療録、患者要約（入院時・退院時サマリー）、診療情報提供書、検査依頼書、処方箋の記載			
	担当者（所属）	木林　和彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)④,B-2-2)①,B-2-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/08/24(月)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	2. 診療記録の書き方（2）診療録、患者要約（入院時・退院時サマリー）、診療情報提供書、検査依頼書、処方箋の記載【演習】			
	担当者（所属）	木林　和彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)④,B-2-2)①,B-2-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/08/28(金)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	3. 診断書類の書き方（1）診断書、出生証明書、死産証明書、死亡診断書、死体検案書、死胎検案書、各種意見書の記載			
	担当者（所属）	木林　和彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)④,B-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2026/08/28(金)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	4. 診断書類の書き方（2）診断書、出生証明書、死産証明書、死亡診断書、死体検案書、死胎検案書、各種意見書の記載【演習】			
	担当者（所属）	木林　和彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)④,B-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				4

科目名	国際コミュニケーション
科目責任者(所属)	長坂 安子

到達目標	セグメント６までに学んだ基礎的医学英語のスキルをより向上させ、本格的な症例サマリーが英語で書けて、それを報告できることと、基本的な問診ができるまでの英語力を身につけることを到達目標とする。12月中旬には全員がネイティブの模擬患者と一対一の面接を実施する。また、引き続き医学関連のトピックに関心を持ち、積極的に英語で行われる研究会に参加するなど、英語で学ぼうという自主的な学習姿勢を維持するとともに、e－learning による医学英語の語彙学習の継続性を定着させる。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 Ⅰ-4-A-(3-4)-① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。 Ⅰ-4-B-(3-4)-① 卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。 Ⅱ-2-A-(3-4)-① 学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。 Ⅱ-2-C-(3-4)-① 学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 Ⅱ-2-D-(3-4)-② 問題の優先度および重要度を判断できる。 Ⅰ-2-A-(3-4)-① 事例から自分の知らないことを発見できる。 Ⅰ-2-C-(3-4)-① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 Ⅰ-3-A-(3-4)-① 患者に分かる言葉を選択できる。 Ⅰ-4-A-(3-4)-② 根拠となる文献を検索できる。 Ⅰ-5-A-(3-4)-③ 傾聴できる。 Ⅱ-1-A-(3-4)-① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 Ⅱ-1-B-(3-4)-① 自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-①
学修（教育）方法	講義・演習
評価方法 (1)総括的評価の対象	１． 授業参加度（授業態度など）10% ２．語彙テスト＆e-learning学修状況 30% ３．レポート・授業課題の期限までの提出 40% ４．英語模擬医療面接（含む、授業での演習）20% ただし、2,3,4に関しては、すべてを実施していることが合格の必要条件であり、欠席はマイナス点となる。
評価方法 (2)評価項目	1) 基礎的医学英語のスキルを駆使して、英語で発信できる。 A-2-1)-①②③④⑤ 2）e-learning による医学英語の語彙学修を継続的に行い、４年次までに必要な基本語彙を習得することができる。 A-2-2)-①②③④⑤ 3）医学関連分野の講義を英語で聴いて理解し、知識・教養を増やすとともに、積極的に発言して、コミュニケーション能力を高めることができる。 A-2-3)-①②③④⑤ 4）基本的な英語模擬医療面接ができる。 A-2-4)-①②③④⑤
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	通年で評価する。上記の評価項目全ての総合点(100 点満点)で 60点以上を合格とする。S.極めて良く理解している（90%以上） A.良く理解している（80%以上90%未満） B.平均的に理解している（70%以上80%未満） C.最低限は理解している（60%以上70%未満） D.理解が不十分である（60%未満）
事前・事後学修	講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。
伝達事項	1)英語は日々の積み重ねが大切です。e-learningの学修などを通して、継続的に英語に触れるようにしましょう。 2)毎回講義の一週間前までにはポータルサイトを通して準備学修などの連絡を致します。確認準備の上、講義に臨んでください。
実務経験	○ 大学病院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『最新医学用語演習』	岡田聚 / 名木田恵理子/ 田中伸代	南雲堂 2021	9784523178699

教科書・参考図書	2.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2016	9784758304481
	3.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2017	9784758304498
	4.	『医師のための医療面接の英語』	Thomas, James C. （他）	アスク出版 2016	9784872179651
	5.	『医師のための身体診察と検査の英語』	Thomas, James C. （他）	アスク出版 2016	9784872179644

関連リンク	1.	The New England Journal of Medicine	https://www.nejm.org
	2.	The Lancet	https://www.thelancet.com
添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK			

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/10/27(火)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	医学分野の英語レクチャー①			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,A-8-1)①④,B-4-1)⑭,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番 (LMS)				1
2.	2026/10/27(火)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	医学分野の英語レクチャー ② Structure of H&P, synonyms			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-4-2)①②,A-7-2)③④⑤,A-8-1)①④,B-4-1)③,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番 (LMS)				2
3.	2026/10/29(木)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	医学分野の英語レクチャー③ ROS			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,A-8-1)①④,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番 (LMS)				3
4.	2026/10/29(木)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	医学分野の英語レクチャー④ Physical exams			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子			

		佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,A-8-1)①④,B-4-1)⑭,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/11/02(月)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	医学分野の英語レクチャー⑤ PMHx, Allergy, Social Hx			
	担当者（所属）	長坂 安子 大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-4-2)①②⑥⑦,A-8-1)①④,C-5-7)⑥⑦⑧,F-3-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/11/02(月)	２時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	医学分野の英語レクチャー⑥ Problem lists, based on HPI, ROS and exams			
	担当者（所属）	長坂 安子 大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-4-2)①②,A-7-2)③④⑤,A-8-1)①④,B-4-1)③,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/11/11(水)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	Conversation skills for history taking (lecture)			
	担当者（所属）	長坂 安子 大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-4-2)①②⑥⑦,A-8-1)①④,C-5-7)⑥⑦⑧,F-3-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/11/11(水)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	Conversation skills for history taking (hands-on)			
	担当者（所属）	長坂 安子 大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-4-2)①②⑥⑦,A-8-1)①④,C-5-7)⑥⑦⑧,F-3-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2026/11/20(金)	１時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20	09:00-10:10

				テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				9
10.	2026/11/20(金)	２時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	10:25-11:35
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				10
11.	2026/11/20(金)	３時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26	12:30-13:40

授業予定表					テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	
		タイトル	英語模擬医療面接			
		担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
		講義資料番号/連番 (LMS)				11
	12.	2026/11/20(金)	４時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	13:55-15:05
		タイトル	英語模擬医療面接			
		担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
		講義資料番号/連番 (LMS)				12
	13.	2026/11/20(金)	５時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32	15:15-16:25

				テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				13
1 4.	2026/11/20(金)	６時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	16:35-17:45
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				14
1 5.	2026/11/25(水)	３時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	12:30-13:40
	タイトル	英語模擬医療面接			

	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				15
1 6.	2026/11/25(水)	４時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	13:55-15:05
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				16
1 7.	2026/11/26(木)	５時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	15:15-16:25
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			

	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				17
1 8.	2026/11/26(木)	６時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 テュートリアル室 31 テュートリアル室 32 テュートリアル室 33 テュートリアル室 34 テュートリアル室 35 テュートリアル室 36	16:35-17:45
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者（所属）	長坂　安子 大野　純子 佐藤　明可 岡野　龍介			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番 (LMS)				18

科目名	医療・患者安全学
科目責任者(所属)	清水　優子

到達目標	現代医学における科学的発見により医療成績は大いに改善された一方で、さまざまな研究によりこの医療の発展の陰で患者安全が重大に危険に曝されていることが明らかにされている。医療に関与する全員が患者安全の原則と概念を熟知し、それらの応用に習熟しておくことが不可欠である。 患者安全学では世界標準の患者安全教育カリキュラム（WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版）を基盤として、ヒューマンファクターズ、システム思考、リスク管理から質改善などを通じて「組織人」としての医療者への成長を目標とし、知識・技能・行動・態度に渡って包括的かつ体系的に学んでいく。 4年次（S8）では、臨床実習で患者安全行動を実践できることを目標として医看両学部協働演習にて、医療提供システム全体において、チームのパフォーマンスを最大限に活用するための、エビデンスにもとづいたトレーニング方法であるチームステップス®を行う。 また、1年から3年まで学んできた知識および行動方法等を用いて、実際の臨床現場を想定した模擬事例につき、グループ討議を通じて、課題抽出、分析、対策立案などの過程を経ながら具体的な解決策立案能力を高めることを目標とする。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	問題の優先度および重要度を判断できる。 Ⅰ-2-A-(3-4)-① 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 Ⅰ-2-A-(3-4)-② 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。 Ⅰ-2-A-(5-6)-① 問題の科学的重要性を評価できる。 Ⅰ-2-B-(3-4)-① 事例から自分の知らないことを発見できる。 Ⅰ-2-C-(3-4)-① 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 Ⅰ-2-C-(3-4)-② 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 Ⅰ-3-A-(3-4)-① 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-④ 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 Ⅰ-3-B-(5-6)-② 適切な問題解決を行ったか検証できる。 Ⅰ-3-C-(3-4)-① 結果の客観的評価ができる。 Ⅰ-3-C-(3-4)-② 結果の解釈の限界を明らかにできる。 Ⅰ-3-C-(3-4)-③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-③ 患者に分かる言葉を選択できる。 Ⅰ-4-A-(3-4)-② 医療チームでの情報共有について説明できる。 Ⅰ-4-C-(3-4)-② 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 Ⅰ-4-C-(5-6)-④ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。 Ⅰ-6-B-(5-6)-③ 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 Ⅱ-1-A-(5-6)-① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 Ⅱ-1-B-(3-4)-① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-① 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-② 患者・家族への説明の場に配慮できる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-③ 卒業までの学習目標を立て、自分の達成度を評価できる。 Ⅱ-2-A-(3-4)-① 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 Ⅱ-2-A-(3-4)-② グループ目標達成のために行動できる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-① 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-② 自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。 Ⅱ-4-C-(5-6)-①
学修（教育）方法	講義、演習
評価方法 (1)総括的評価の対象	筆記試験を80%、演習点を20%として評価する。
評価方法 (2)評価項目	チーム医療の意義を説明できる。 A-5-1)① 医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 A-5-1)② 自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 A-5-1)③ 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。 A-6-1)① 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。 A-6-1)② 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。 A-6-1)③ 医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やってはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。 A-6-1)④ 医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。 A-6-1)⑤ 医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度）を概説できる。 A-6-1)⑥ 真摯に疑義に応じることができる。 A-6-1)⑧ 医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。 A-6-2)① 医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。 A-6-2)② 基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセイフ・フールプルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。 A-6-2)④
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	上記評価項目について筆記試験と演習の総合点を100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90点以上）A.良く理解している（80点以上90点未満）　B.平均的に理解している（70点以上80点未満）C.最低限は理解している（60点以上70点未満）　D.理解が不

	十分である（60点未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
事前・事後学修	講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。
伝達事項	形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識・技能・態度全般にわたって演習の際に随時行う。
実務経験	○ / 大学病院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『WHO 患者安全カリキュラムガイド 多職種版』	世界保健機関著、 (学)東京医科大学訳	 2011	9789241501958
2.	『これだけは知っておきたいWHO 患者安全カリキュラムガイド』	相馬孝博	メディカ出版 2013	9784840445245
3.	『医療におけるヒューマンエラー（第2版）』	河野龍太郎	医学書院 2014	9784260019378
4.	『人は誰でも間違える～より安全な医療システムを目指して』	米国医療の質委員会/医学研究所著、医学ジャーナリスト協会訳	日本評論社 2000	4-535-98175-2

関連リンク

1.	東京医科大学医学教育学分野 WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版について 2013/3/8	http://meded.tokyo-med.ac.jp/who%E6%82%A3%E8%80%85%E5%AE%89%E5%85%A8%E3%82%AB%E3%83%AA%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%A9%E3%83%A0%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E5%A4%9A%E8%81%B7%E7%A8%AE%E7%89%88%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6/

添付ファイル ※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/10/19(月)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	国際患者安全目標（JCI)①			
	担当者（所属）	清水 優子			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-5-1)①②③,A-6-1)①②③④⑤⑧,A-6-2)②④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				1
2.	2026/10/19(月)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	国際患者安全目標（JCI)②			
	担当者（所属）	松村 剛毅			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-5-1)①②③,A-6-1)①②③④⑤⑧,A-6-2)②④			
	講義資料番号/連番 (LMS)				2
3.	2026/10/26(月)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	医療安全（1）医療安全に関して			
	担当者（所属）	松村 剛毅			

授業予定表		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-4-2)①③④,A-5-1)①-④,A-7-1)④			
		講義資料番号/連番 (LMS)				3
	4.	2026/10/26(月)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
		タイトル	医療安全（2）インシデント・アクシデントリポートと原因分析			
		担当者（所属）	松村　剛毅			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-6-1)①-⑥,A-6-2)①②④			
		講義資料番号/連番 (LMS)				4
	5.	2026/10/28(水)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
		タイトル	チームステップス演習（１）			
		担当者（所属）	清水　優子			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-5, A-6			
		講義資料番号/連番 (LMS)				5
	6.	2026/10/28(水)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
		タイトル	チームステップス演習（２）			
		担当者（所属）	清水　優子			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-5, A-6			
		講義資料番号/連番 (LMS)				6
	7.	2026/10/30(金)	３時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
		タイトル	医療安全（3）ヒューマンエラー			
		担当者（所属）	清水　優子			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-6-1)②			
		講義資料番号/連番 (LMS)				7
	8.	2026/10/30(金)	４時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
		タイトル	医療安全（4）ノンテクニカルスキル～KYＴ/team STEPPS～			
		担当者（所属）	清水　優子			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準	A-5-1)①,③,A-6-1)①			
		講義資料番号/連番 (LMS)				8
	9.	2026/11/19(木)	３時限	試験	−	12:30-13:40
		タイトル	医療・患者安全学 試験12:30-13:40(講義室202,203)			
		担当者（所属）	− −			

	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				9
1 0.	2026/11/27(金)	４時限	追･再試験	−	13:55-15:05
	タイトル	医療･患者安全学 追再試験13:55-15:05(講義室203)			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				10

科目名	健康管理
科目責任者(所属)	横田　仁子

到達目標	医師という職業選択をすでにすませている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることになります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康を管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、しいては、病院を守ることにつながります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。 また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学に理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体の健康だけではなく、心の健康についても６年間かけけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。　Ⅰ-1-A-(3-4)-① 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。　Ⅰ-1-A-(3-4)-② 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。　Ⅰ-1-B-(3-4)-③ 問題の優先度および重要度を判断できる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-① 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-② 女性のライフサイクルを説明できる。　Ⅱ-2-C-(3-4)-② 自分の特性を活かして学習できる。　Ⅱ-2-D-(3-4)-① 討論・話し合いを促せる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-① 自分の方針を説明し同意を得ることができる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-② 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-③
学修（教育）方法	講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義への出席、学生健康管理行事への参加（定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、その他）を形成的に評価する。総括的評価の対象とはしない
評価方法 (2)評価項目	医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。　A-06-03-① ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる。　B-01-05-⑥ 各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）を説明できる。　B-01-06-④
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について、講義内のアンケート、健康管理行事への参加を通して形成的に評価する
事前・事後学修	-
伝達事項	健康管理行事に理由無く欠席しないこと
実務経験	○　大学病院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う
教科書・参考図書	（下表）

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『健康行動と健康教育』	【訳】曽根智史ら	医学書院 2006年	978-4-260-00350-6
2.	『近代日本の女性専門職教育』	渡邊洋子	明石書店 2014年	978-4-7503-4097-5
3.	『吉岡弥生　吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター 1998年	4-8205-4308-3
4.	『最新　行動科学からみた健康と病気』	宗像恒次	メヂカルフレンド社 1996年	978-4-8392-1025-0
5.	『最新 保健学講座(別巻1)健康教育論』	宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨	メヂカルフレンド社 2006年	978-4-8392-1282-7
6.	『学生のための健康管理学(改訂2版)』	木村康一・熊澤幸子・近藤陽一	南山堂 2007年	978-4-525-62052-3
7.	『最新　女性心身医学』	本庄英雄監修、女性心身医学会編	ぱーそん書房 2015年	978-4907095246
8.	『TEXT BOOK 女性心身医学』	玉田太朗・本庄英雄編集責任、日本女性心身医学会編	永井書店 2006年	978-4-8159-1760-9
9.	『コンサイスガイド　女性のためのメンタルヘルス』	【訳】島悟・長谷川恵美子	日本評論社	4-535-98163-9

			1999年	
10.	『健康格差社会　何が心と健康を蝕むのか』	近藤克則	医学書院 2005年	978-4-260-00143-4
11.	『格差社会と健康　社会疫学からのアプローチ』	川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編	東京大学出版会 2006年	4-13-060406-6

関連リンク	1.	日本環境感染学会　医療者関係者のためのワクチンガイドライン第2版 | http://www.kankyokansen.org
	2.	文部科学省　学校において予防すべき感染症の概説 | http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko
添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK		

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/08/24(月)	１時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	セグメント8ガイダンス／講義・実習・TBL・CBT・OSCEに向けての体調管理			
	担当者（所属）	横田　仁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-3)①,A-9-1)②-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				1

基礎研究医養成プログラム

（趣旨）
第１条　本規程は、東京女子医科大学（以下「本学」という。）大学院学則第８および９条関係「履修方法に関する内規」に関し、本学の医学部学生（以下「学生」という。）で本学大学院医学研究科の基礎医学系（機能学系、形態学系、社会医学系）または先端生命医科学系専攻の各分野（以下「対象分野」という。）への進学を希望する者に対する仮単位履修制度（以下「本履修制度」という。）の取扱いについて必要な事項を定める。

（名称）
第２条　本履修制度を「基礎研究医養成プログラム」（以下「本プログラム」という。）と称する。
２　本プログラム登録を行った者（以下「登録者」という。）は、医学部在学中より本学大学院医学研究科の単位を仮単位として履修し、初期臨床研修の２年間を大学院医学研究科の１～２年次と兼ねることができる。

（目的）
第 3 条　本プログラム は、医学部在学中に医学部のカリキュラムと並行して大学院医学研究科の教育を受け、研究マインドを醸成し、基礎医学系の研究者を育成することを目的とする。

（資格）
第 4 条　本プログラムは、以下の資格条件を満たす者を対象とする。
(1)　本学医学部の 3 年から 6 年次に在籍する学生。
(2)　所属を希望する対象分野の指導教授から推薦のあった者。
(3)　原則として初期臨床研修を本学内の病院で行う予定の者。ただし、教務委員会が認めればその限りでない。

（定員）
第 5 条　対象分野につき若干名（指導教授の判断による）。

（登録）
第６条　本プログラムの履修を希望する者は、次の書類を学務課に提出しなければならない。
(1) 基礎研究医養成プログラム登録申請書
(2) 対象分野の指導教授からの推薦書

（登録許諾）
第 7 条　教務委員会は、登録の許否につき、書類審査および必要に応じて面接（志望者および対象分野の指導教授）を行った上で個別に審議し、登録を許可する場合は大学院委員会の承諾を得る。

（登録取消し）
第 8 条　登録者が登録を取り消す場合、理由書を付して教務委員会に提出する。教務委員会は、提出された理由書を個別に審議し、取り消す場合は大学院委員会の承諾を得る。

（履修科目および単位数）
第 9 条　履修科目および単位数について、登録者は、医学部在籍中（3～6 年次）に、本学大学院学則第８および９条関係「履修方法に関する内規」に定める学科目のうち、次のものを履修し、仮単位とすることができる（大学院修了に必要な最低修得単位数 30 単位のうち、最大 24 単位まで）。
・大学院共通カリキュラム：
「実習（機能学系、形態学系、社会医学系、先端生命医科学系専攻の実習）」4 単位（2 系の実習）
・大学院共通カリキュラム：
「教授（基幹分野長）による講義」5 単位（講義 25 コマ）
・主分野：15 単位

2　履修方法は、本学大学院学則ならびに本学大学院学則第８および９条関係「履修方法に関する内規」による。

3　登録者は、医学部在籍中の本プログラム履修に要する費用を負担しない。

（履修学科目、仮単位の認定）

第 10 条　大学院委員会は、履修学科目および仮単位について、登録者から提出された「仮単位申請書」により個別に審議し、仮単位の認定を行う。

（大学院入学の単位申請）

第 11 条　登録者は、６年次から後期臨床研修修了までに、本学大学院医学研究科の入学試験を受験する。大学院入学後の所属は原則として医学部在籍中に登録した対象分野とする。入学許可後、第 10 条において認定した仮単位を既修得単位とする。

(改廃)

第 12 条　本規程の改廃は、決裁規程に基づき、理事会運営会議または理事会の承認を得るものとする。

Ⅳ 試験科目表・試験日程表

［ 試験科目・試験日程 ］

	年月日	曜	時間	講義内容	試験場
1	2026/09/04	金	09:00 ～ 12:00	CBT（ブロック1～2）	PC室1
2	2026/09/04	金	12:50 ～ 17:30	CBT（ブロック3～7）	PC室1
3	2026/10/17	土	08:00 ～ 17:00	OSCE	テュートリアル室
4	2026/10/31	土	09:00 ～ 12:00	CBT（ブロック1～2）（追・再試験）1回目	PC室1
5	2026/10/31	土	12:50 ～ 17:30	CBT（ブロック3～7）（追・再試験）1回目	PC室1
9	2026/11/15	日	08:30 ～ 18:00	OSCE（追・再試験） ※共用試験実施評価機構主催の会場で実施場合	関西会場
10	2026/11/17	火	10:25 ～ 11:35	CPC	202,203講義室
6	2026/11/17	火	14:00 ～ 15:30	AI・データサイエンスと医療	202,203講義室
7	2026/11/19	木	10:00 ～ 11:30	東洋医学系	202,203講義室
8	2026/11/19	木	12:30 ～ 13:40	医療・患者安全学	202,203講義室
11	2026/11/27	金	10:00 ～ 11:30	東洋医学系（追・再試験）	203講義室
12	2026/11/27	金	12:30 ～ 13:40	AI・データサイエンスと医療（追・再試験）	203講義室
13	2026/11/27	金	13:55 ～ 15:05	医療・患者安全学（追・再試験）	203講義室
14	2026/11/28	土	09:00 ～ 12:00	CBT（ブロック1～2）（臨時追・再試験）	PC室1
15	2026/11/28	土	12:50 ～ 17:30	CBT（ブロック3～7）（臨時追・再試験）	PC室1
16	2025/12/08(火) もしくは 2025/12/10(木)		08:00 ～ 17:00	OSCE（臨時追・再試験）	テュートリアル室

総合試験について

1）目　　的	医行為を伴う臨床実習に参加するための基本的知識および問題解決能力を修得していることを評価する。
2）試験内容	①共用試験CBT（320問6ブロック、及び7ブロックは試験についてのアンケート）、②問題解決能力評価（Problem-solving ability test,P-SAT）
3）試験範囲	①医学教育モデル・コア・カリキュラム、②テュートリアル、診療の基礎、「至誠と愛」の実践学修
4）出題形式	①PCを用いた五肢択一型問題、多選択肢型問題、および順次解答型4連問（ただし予定、CBTホームページ参照）、②PCを用いた多選択肢型および記入式問題

科目名	共用試験ＯＳＣＥ
科目責任者(所属)	村崎　かがり

到達目標	リンク集または「学修の手引き」参照
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	リンク集または「学修の手引き」参照 -
学修（教育）方法	リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (1)総括的評価の対象	リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (2)評価項目	リンク集または「学修の手引き」参照 -
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	リンク集または「学修の手引き」参照
事前・事後学修	-
伝達事項	リンク集または「学修の手引き」参照
実務経験	
教科書・参考図書	(see table below)
関連リンク	
添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK	

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『リンク集または「学修の手引き」参照』			

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/10/17(土)	１時限	試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（8:00-17:00）			
	担当者（所属）	－－			

	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				1
2.	2026/10/17(土)	２時限	試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（8:00-17:00）			
	担当者（所属）	－　－			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				2
3.	2026/10/17(土)	３時限	試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（8:00-17:00）			
	担当者（所属）	－　－			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2026/10/17(土)	４時限	試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（8:00-17:00）			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/10/17(土)	５時限	試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（8:00-17:00）			
	担当者（所属）	– –			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				5

6.	2026/10/17(土)	６時限	試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（8:00-17:00）			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				6
7.	2026/11/15(日)	１時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（追・再試験）※共用試験実施評価機構主催の会場で実施場合			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				7
8.	2026/11/15(日)	２時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10	08:00-17:00

				テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	OSCE（追・再試験）※共用試験実施評価機構主催の会場で実施場合			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				8
9.	2026/11/15(日)	３時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（追・再試験）※共用試験実施評価機構主催の会場で実施場合			
	担当者（所属）	‒ ‒			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				9
10.	2026/11/15(日)	４時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14	08:00-17:00

				テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	OSCE（追・再試験）※共用試験実施評価機構主催の会場で実施場合			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				10
11.	2026/11/15(日)	５時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（追・再試験）※共用試験実施評価機構主催の会場で実施場合			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				11
12.	2026/11/15(日)	６時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18	08:00-17:00

授業予定表					テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
		タイトル	OSCE（追・再試験）※共用試験実施評価機構主催の会場で実施場合			
		担当者（所属）	－ －			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				12
	13.	2026/12/08(火)	１時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
		タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
		担当者（所属）	－ －			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				13
	14.	2026/12/08(火)	２時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22	08:00-17:00

				テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				14
1 5.	2026/12/08(火)	３時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				15
1 6.	2026/12/08(火)	４時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26	08:00-17:00

				テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				16
17.	2026/12/08(火)	５時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	− −			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				17
18.	2026/12/08(火)	６時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00

	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				18
19.	2026/12/10(木)	１時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				19
20.	2026/12/10(木)	２時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	－ －			

	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				20
21.	2026/12/10(木)	３時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	－　－			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				21
22.	2026/12/10(木)	４時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	－　－			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2026/12/10(木)	５時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	－　－			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2026/12/10(木)	６時限	追・再試験	テュートリアル室 07 テュートリアル室 08 テュートリアル室 09 テュートリアル室 10 テュートリアル室 11 テュートリアル室 12 テュートリアル室 13 テュートリアル室 14 テュートリアル室 15 テュートリアル室 16 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	08:00-17:00
	タイトル	OSCE（臨時追・再試験）			
	担当者（所属）	－　－			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				24

臨床実習前客観的臨床能力試験(OSCE)

Pre-Clinical Clerkchip Objective structured clinical examination (Pre-CC OSCE)

Ⅰ．　Pre-CC OSCE

目的:「診療の基礎」実習終了後、病院実習に入る前に学生が医学生として、最低限必要な基本的な診療技能、態度を身に付けているかどうかの到達度を形成的に評価することを目的とする。
全国医学系共用試験の実施試験として位置づけられる。

1　実施日：令和8年10月17日(土)、午後8時00分～午後5時　第3土曜日（外来休診日）を予定。

2　評価者
1)認定評価者
2)標準模擬患者(医療面接)
3)外部評価委員（予定）

3　模擬患者
1)身体診察：教職員
2)医療面接：標準模擬患者

4　評価項目および課題
評価項目および課題は、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構より割り振られる。

5　実施場所:彌生記念教育棟　テュートリアル室および講義室

6　ステーションの数
いくつかのステーションを設け、医療面接、頭頸部、胸部、全身状態・バイサルサイン、腹部、神経、基本的臨床手技、救急、四肢・脊柱、感染対策などの課題を中心に試験を行う。

7　OSCE の運営にあたっての実務は、OSCE 委員会が担当する。

8　追・再試験実施日：令和8年11月15日(日)共用試験実施評価機構が主催する近畿大学で実施。

OSCE 委員

委員長	村崎かがり	教授	予防医学科
副委員長	飯嶋睦	教授	内科学（脳神経内科学分野）
	西井明子	教授	統合教育学修センター基礎教育学
	松本卓子	准教授	統合教育学修センター基礎教育学
委員	橋本弥一郎	教授	放射線医学（放射線腫瘍学分野）
	有泉俊一	准教授	外科学（肝胆膵外科学分野）
	山村幸江	准教授	耳鼻咽喉科学（耳鼻咽喉科学分野）
	平井敏仁	准教授	泌尿器科学（泌尿器科学分野）
	石垣景子	准教授	小児科学（小児科学分野）
	井坂珠子	准教授	外科学（呼吸器外科学分野）
	堀内喜代美	准教授	外科学（内分泌外科学分野）
	関口治樹	准教授	睡眠科
	秋澤叔香	准教授	看護学部（産婦人科）
	岸野真衣子	講師	内科学（消化器内科学分野消化管内科部門）
	八木理充	講師	内科学（呼吸器内科学分野）
	小木曽智美	講師	内科学（消化器内科学分野）
	並木みずほ	講師	救急医学（救急医学分野）
	大森久子	講師	足立医療センター内科
	樋口亮太	講師	八千代医療センター消化器外科
	菊池規子	講師	内科学（循環器内科学分野）
	坂井晶子	講師	内科学（循環器内科学分野）
	石川源	講師	母子総合医療センター
	野口英一郎	講師	外科学（乳腺外科学分野）
	栗林茂彦	講師	放射線医学（放射線腫瘍学分野）
	久保田英	准講師	救急医学（救急医学分野）
	辻真世子	助教	内科学（呼吸器内科学分野）
	菅野宙子	助教	臨床検査科

科目名	総合試験（共用試験）ＣＢＴ
科目責任者(所属)	西井　明子

到達目標	リンク集または「学修の手引き」参照
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	リンク集または「学修の手引き」参照　-
学修（教育）方法	リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (1)総括的評価の対象	リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (2)評価項目	リンク集または「学修の手引き」参照　-
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	リンク集または「学修の手引き」参照
事前・事後学修	-
伝達事項	リンク集または「学修の手引き」参照
実務経験	

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『リンク集または「学修の手引き」参照』			

関連リンク

1.	リンク集または「学修の手引き」参照

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK	

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/09/04(金)	１時限	試験	–	09:00-12:00
	タイトル	CBT（ブロック1-2）09:00-12:00(PC室1)			
	担当者（所属）	–　–			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/09/04(金)	２時限	試験	–	09:00-12:00
	タイトル	CBT（ブロック1-2）09:00-12:00(PC室1)			
	担当者（所属）	–　–			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/09/04(金)	３時限	試験	–	12:50-17:30
	タイトル	CBT（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			

	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				3
4.	2026/09/04(金)	４時限	試験	－	12:50-17:30
	タイトル	CBT（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				4
5.	2026/09/04(金)	５時限	試験	－	12:50-17:30
	タイトル	CBT（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				5
6.	2026/09/04(金)	６時限	試験	－	12:50-17:30
	タイトル	CBT（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				6
7.	2026/10/31(土)	１時限	追・再試験	－	09:00-12:00
	タイトル	CBT 追・再試験（ブロック1-2）09:00-12:00(PC室1)			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				7
8.	2026/10/31(土)	２時限	追・再試験	－	09:00-12:00
	タイトル	CBT 追・再試験（ブロック1-2）09:00-12:00(PC室1)			
	担当者（所属）	－ －			
	コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
	講義資料番号/連番 (LMS)				8
9.	2026/10/31(土)	３時限	追・再試験	－	12:50-17:30
	タイトル	CBT 追・再試験（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			

授業予定表		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				9
	10.	2026/10/31(土)	４時限	追・再試験	ー	12:50-17:30
		タイトル	CBT 追・再試験（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			
		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				10
	11.	2026/10/31(土)	５時限	追・再試験	ー	12:50-17:30
		タイトル	CBT 追・再試験（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			
		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				11
	12.	2026/10/31(土)	６時限	追・再試験	ー	12:50-17:30
		タイトル	CBT 追・再試験（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			
		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				12
	13.	2026/11/28(土)	１時限	追・再試験	ー	09:00-12:00
		タイトル	CBT 臨時追・再試験（ブロック1-2）09:00-12:00(PC室1)			
		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				13
	14.	2026/11/28(土)	２時限	追・再試験	ー	09:00-12:00
		タイトル	CBT 臨時追・再試験（ブロック1-2）09:00-12:00(PC室1)			
		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				14
	15.	2026/11/28(土)	３時限	追・再試験	ー	12:50-17:30
		タイトル	CBT 臨時追・再試験（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			

		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				15
	1 6.	2026/11/28(土)	４時限	追・再試験	ｰ	12:50-17:30
		タイトル	CBT　臨時追・再試験（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			
		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				16
	1 7.	2026/11/28(土)	５時限	追・再試験	ｰ	12:50-17:30
		タイトル	CBT　臨時追・再試験（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			
		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				17
	1 8.	2026/11/28(土)	６時限	追・再試験	ｰ	12:50-17:30
		タイトル	CBT　臨時追・再試験（ブロック3～7）12:50-17:30(PC室1)			
		担当者（所属）	ー ー			
		コアカリキュラム/S10 国試出題基準				
		講義資料番号/連番 (LMS)				18

Ⅵ　S7,S8 教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

S7 教育委員会

委員長	野原理子	教授・基幹分野長	（衛生学公衆衛生学（公衆衛生学分野））
副委員長	竹村洋典	教授・基幹分野長	（内科学（総合診療・総合内科学分野））
委員	柳澤直子	教授	（微生物学免疫学分野）
	瀬尾幸子	教授・基幹分野長	（内科学（血液内科学分野））
	勝又康弘	教授・基幹分野長	（内科学（膠原病リウマチ内科学分野））
	森　周介	教授・基幹分野長	（救急医学（救急医学分野））
	長坂安子	教授・基幹分野長	（麻酔科学（麻酔科学分野））
	種田積子	准教授	（病理診断科学（病理診断学分野））
	廣田恵子	講師	（衛生学公衆衛生学（環境・産業医学部門））
	鈴木　敦	講師	（内科学（循環器内科学分野））
	尾身葉子	講師	（外科学（内分泌外科学分野））
	西井明子	教授	（統合教育学修センター基礎教育学）

S8 教育委員会

委員長	竹村洋典	教授・基幹分野長	（内科学（総合診療・総合内科学分野））
副委員長	野原理子	教授・基幹分野長	（衛生学公衆衛生学（公衆衛生学分野））
委員	木村容子	教授	（東洋医学研究所））
	小林博人	教授	（輸血・細胞プロセシング部）
	種田積子	准教授	（病理診断科学（病理診断学分野））
	西井明子	教授	（統合教育学修センター基礎教育学）
	大月道夫	教授・基幹分野長	（内科学（内分泌内科学分野））
	林　基弘	教授・部門長	（脳神経外科学（脳神経外科学分野））
	鈴木　敦	講師	（内科学（循環器内科学分野））
	尾身葉子	講師	（外科学（内分泌外科学分野））

テュートリアル・TBL 委員会

委員長	中村真一	教授	（内科学（消化器内科学分野））
副委員長	飯嶋　睦	教授	（内科学（脳神経内科学分野））
	山村幸江	准教授	（耳鼻咽喉科学（耳鼻咽喉科学分野））
	越野一朗	講師	（統合教育学修センター基礎科学）
委員（S7）	吉永健太郎	講師	（内科学（血液内科学分野））
	川口鎮司	臨床教授	（内科学（膠原病リウマチ内科学分野））
	並木みずほ	講師	（救急医学（救急医学分野））
	尾身葉子	講師	（外科学（内分泌外科学分野）
	松村剛毅	准教授	（医療安全科）
	有泉俊一	准教授	（外科学（肝胆膵外科学分野））

「至誠と愛」の実践学修／医療・患者安全学教育委員会

委員長　野原理子　教授　（衛生学公衆衛生学（公衆衛生学分野））

副委員長　柳澤直子　教授・基幹分野長（微生物学免疫学（微生物学免疫学分野））

西井明子　教授　（統合教育学修センター基礎教育学）

横田仁子　准教授　（学生健康管理室）

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委員長　正宗　賢　教授　（先端生命医科学研究所）

S7担当　大月道夫　教授・基幹分野長（内科学（内分泌内科学分野））

国際コミュニケーション教育委員会

委員長　長坂安子　教授・基幹分野長（麻酔科学（麻酔科学分野））

副委員長　佐藤明可　講師　（統合教育学修センター基礎教育学）

基本的・医学的表現技術教育委員会

委員長　木林和彦　教授・基幹分野長（法医学（法医学分野））

副委員長　辻村貴子　講師　（統合教育学修センター基礎教育学）

学生委員

藤堂謙一　教授・基幹分野長（内科学（脳神経内科学分野））

木林和彦　教授・基幹分野長（法医学（法医学分野））

藤枝弘樹　教授・基幹分野長（解剖学（神経分子形態学分野））

西井明子　教授　（統合教育学修センター基礎教育学）

横田仁子　准教授　（学生健康管理室）

Ⅵ　選　択　科　目

外　国　語
人文科学系
社会科学系
自然科学系
保 健 体 育
他大学オープン科目

※各科目の講義内容、評価に関すること、日程等の詳細については

「令和８（2026）年度学修の手引き＜選択科目＞」を参照すること。

履修要領をよく読んで履修登録を行ってください。

選択科目履修要領（第1～第4学年）

1.　科目名(23科目)

初級ドイツ語	初級中国語	心理学	物理学
初級フランス語	倫理学	医療人のための経済学	化学
English for Medical Professionals	文化人類学	医療人のための法学	食と栄養の科学
Preparation for Study Abroad	女性とジェンダー	医療と社会デザイン	医学情報学
医療英語（Medical English ）	哲学	数学	フィットネスの理論と実技
初級コリア語	歴史学	生物学	

2. 開講期間・曜日・時限

開講期間は各科目とも半年間です。その時期は前期を4/22から9/30、後期は10/7から翌年2/3までの水曜日5 限（15：20～16：30）、6 限（16：45～ 17：55）に開講する。

3. ガイダンスおよび履修登録について

・**ガイダンス**　新入生オリエンテーション時に実施します。学修の手引きを参照の上、履修登録を行うこと。

・**履修登録**について

１年生前期：

新入生オリエンテーション時に配布する学修の手引きをよく読み、Google フォームにて出席番号、氏名を入力し、履修希望科目を選び、送信すること。

登録期間は 4 月 10 日(金)12:30 まで

※１．期間厳守のこと。その後の申請は一切認めない。

２．Google フォームにて履修申請し、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。

３．科目によって受講者数を制限することがある。

４．登録結果および各科目の講義室は、開講日までに学生ポータルサイト１年総合掲示板に掲載する。

３．により登録されなかった科目があった場合の指示もこの時に掲載する。

１年生後期、および 2～4 年(前・後期)：

新学年ポータルサイトからの web 登録のみ受付を行う。

登録方法の詳細は登録期間前に各学年の総合掲示板に掲載する。

登録期間は次のとおり。

前期分…4 月 1 日(水)～4 月 10 日(金)12:30 まで（期間を過ぎると登録できない。）

後期分…8 月 24 日(月)～9 月 3 日(木)12:30 まで（　　　　〃　　　　）

※１．web 登録を行い、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。

２．受講者数の制限、登録結果等の掲載方法は上記と同様

4. 履修認定について

各科目は2単位(半年間)の科目を4年次の前期までにのべ6科目以上（12単位以上）履修しなければならない。

そのうち2科目以上は人文科学系もしくは社会科学系の科目(学生便覧:学則第9条関係別表Ⅰ)とする。

各科目の講義内容は、前期・後期が同じ場合も異なる場合もある。この場合、同一科目でも内容あるいは段階が異なるものなら2科目と認められる。 なお、他大学での既修得単位を認定する場合がある。（以上、**学生便覧参照**）

5. 履修登録完了後は、その取り消しおよび変更は認めない。

6. 選択科目の成績は及落判定の対象となる。ただし、ある学年で選択科目が不合格の場合、上級学年で単位を取得できると認められるときに限って、及落には特別の配慮を行うことがある。

7. なお、第2～第4学年では、上記12単位の他に指定する他大学のオープン科目(自由選択)の中からさらに受講することができる。取得した単位は、東京女子医科大学医学部では増加単位として認められる。(卒業単位へは算入されない)

医学部 選択科目時間割

前　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

前　期（4月22日～9月30日）	
~~初級フランス語Ｉ（）~~　令和8年度は非開講	
English for Medical Professionals Ｉ（岡野）	
Preparation for Study Abroad Ｉ（大野）	
医療英語（Medical EnglishＩ）（遠藤）	（共通）
初級中国語Ｉ（舘）	（共通）
哲学Ａ（山野）	（共通）
医療人のための法学Ａ（中島）	（共通）
医療と社会デザインＡ（山本）	
医学情報学（田村）	
心理学Ａ（大塚）	
フィットネスの理論と実技Ａ（沢田）　※	

【水曜　6限　16:45～17:55】

前　期（4月22日～9月30日）	
初級ドイツ語Ｉ（伊藤）	（共通）
初級コリア語Ｉ（朴）	（共通）
倫理学Ａ（磯部）	（共通）
歴史学Ａ（菅原）	（共通）
医療人のための経済学Ａ（大石）	（共通）
数学Ａ（小野木）	
フィットネスの理論と実技Ｂ（沢田）　※	

後　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

後　期（10月7日～2月3日）	
~~初級フランス語Ⅱ（）~~　令和8年度は非開講	
English for Medical Professionals Ⅱ（岡野）	
Preparation for Study Abroad Ⅱ（大野）	
医療英語（Medical EnglishⅡ）（遠藤）	（共通）
初級中国語Ⅱ（舘）	（共通）
哲学Ｂ（山野）	（共通）
医療人のための法学Ｂ（辻村）	（共通）
医療と社会デザインＢ（山本）	
生物学（後期）（石井）	
物理学（後期）Ｂ（辻野）	
化学（後期）（越野）	

【水曜　6限　16:45～17:55】

後　期（10月7日～2月3日）	
初級ドイツ語Ⅱ（伊藤）	（共通）
初級コリア語Ⅱ（朴）	（共通）
倫理学Ｂ（磯部）	（共通）
歴史学Ｂ（菅原）	（共通）
医療人のための経済学Ｂ（大石）	（共通）
数学Ｂ（小野木）	
物理学（後期）Ａ（辻野）	
心理学Ｂ（佐藤）	
食と栄養の科学（松井）	

（共通）は看護学部との共通科目です。

※「フィットネスの理論と実技」の5限と6限は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

＜看護学部の開講科目＞

【水曜　5限　15:15～16:25】（前期）　【水曜　5限　15:15～16:25】（後期）

※授業開始時間が医学部開講科目と異なりますので、ご注意ください。

前　期（4月22日～9月30日）	
文化人類学Ａ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＡ（平川）　※	（共通）

後　期（10月7日～2月3日）	
文化人類学Ｂ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＢ（平川）　※	（共通）

※「文化人類学」と「女性とジェンダー」の前期と後期は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

Ⅷ　講義・実習時間割表

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第1週	8／24 月	(講義) 健康管理 セグメント8ガイダンス／講義・実習・TBL・CBT・OSCEに向けての体調管理 (学生健康管理室　横田)	(講義) オリエンテーション クラスオリエンテーション／CBT受験手続きについて (脳神経内科学分野　藤堂)	(講義) 基本的・医学的表現技術 1. 診療記録の書き方(1)診療録、患者要約(入院時・退院時サマリー)、診療情報提供書、検査依頼書、処方箋の記載 (法医学(法医学分野)木林)	(講義) 基本的・医学的表現技術 2. 診療記録の書き方(2)診療録、患者要約(入院時・退院時サマリー)、診療情報提供書、検査依頼書、処方箋の記載【演習】 (法医学(法医学分野)木林)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習　心電図(不整脈) (統合教育学修センター　基礎教育学　西井)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)感染症 (微生物学免疫学分野　柳澤)
	8／25 火	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習(基礎・臨床ジョイント講義)消化器疾患とその病態 (消化器内科学分野)米澤	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)血液疾患 (内科学(血液科学分野)吉永)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)膠原病・リウマチ疾患 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 田中	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習(基礎・臨床ジョイント講義)酸塩基平衡 (統合教育学修センター　基礎科学 中村)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)呼吸器疾患 (内科学(呼吸器内科学分野) 赤羽	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)神経疾患 (内科学(脳神経内科学分野)　藤堂)
	8／26 水	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習(基礎・臨床ジョイント講義)慢性腎炎 (内科学(腎臓内科学分野)真壁)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習(基礎・臨床ジョイント講義)腎臓の病理 (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)倉田)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習(基礎・臨床ジョイント講義)内分泌疾患 (内科学(内分泌内科学分野)　大月)		(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55
	8／27 木	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習(基礎・臨床ジョイント講義)糖尿病、代謝性疾患とその病態 (内科学(糖尿病・代謝内科学分野)　三浦、統合教育学修センター　基礎科学　越野)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習(基礎・臨床ジョイント講義)糖代謝、アミノ酸代謝 (統合教育学修センター　基礎科学　越野)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義) 心電図(心筋症、心筋虚血) (統合教育学修センター　基礎科学　西井)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)神経疾患 (内科学(脳神経内科学分野)　星野)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)膠原病・リウマチ疾患 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 勝又	
	8／28 金	(講義) 基本的・医学的表現技術 3. 診断書類の書き方(1)診断書、出生証明書、死産証明書、死亡診断書、死体検案書、死胎検案書、各種意見書の記載 (法医学(法医学分野)木林)	(講義) 基本的・医学的表現技術 4. 診断書類の書き方(2)診断書、出生証明書、死産証明書、死亡診断書、死体検案書、死胎検案書、各種意見書の記載【演習】 (法医学(法医学分野)木林)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)病理と病態 (病理診断科　長嶋)	(講義) 入門型臨床実習 CBT演習 (基礎・臨床ジョイント講義)病理と病態 (病理診断科　長嶋)	(講義)　PC室1 オリエンテーション CBT事前体験 (統合教育学修センター　基礎教育学　西井)(微生物学免疫学(微生物学免疫学分野)　柳澤)	
	8／29 土						

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第2週	8／31 月						
	9／1 火						
	9／2 水					(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55
	9／3 木						
	9／4 金	(試験) PC室1 CBT(ブロック 1～2)		(試験) PC室1 CBT(ブロック 3～7)			
	9／5 土						

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第3週	9／7 月	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(1)　オリエンテーション・POMR (内科学(総合診療・総合内科学分野)　竹村)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(2) 全身状態・バイタルサイン (足立医療センター内科　森本)	(実習) 診療の基礎 EBM　情報の適応、診療行動の決定、フィードバック (外科学(内分泌外科学分野)　堀内)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(4) 基本的臨床手技③手指消毒・衛生的手洗い/PPE(個人防護具)の着脱・廃棄 (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　平井)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(6) 基本的臨床手技②手術時手洗い・ガウンテクニック (泌尿器科学(泌尿器科学分野)平井)(統合教育学修センター基礎教育学　松本)	
	9／8 火	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(7) 基本的臨床手技④ 静脈採血 (足立医療センター内科　森本)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(8)　基本的臨床手技①　速乾性アルコールによる手指消毒、滅菌手袋の装着と廃棄、消毒と滅菌、清潔と不潔の概念 (統合教育学修センター基礎教育学　松本)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(9) 胸部(心臓) (内科学(循環器内科学分野)　高木)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(10) 神経① (内科学(脳神経内科学分野)　飯嶋)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(11) 神経② (内科学(脳神経内科学分野)　飯嶋)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(13) 頭頸部 (耳鼻咽喉科学(耳鼻咽喉科学分野)　山村)
	9／9 水	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(5) 医療面接① (内科学(血液内科学分野)　吉永)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(12) 医療面接② (内科学(血液内科学分野)　吉永)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(14) 四肢脊柱 (整形外科学(整形外科学分野)　冨永)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(15) 救急蘇生 (救急医学(救急医学分野)　久保田)	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55
	9／10 木	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(16) オリエンテーション(OSCE・小グループ実習) (予防医学科　村崎)	(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(17) 腹部 (外科学(肝胆膵外科学分野)　有泉)	(実習) 臨床基礎実習 臨床基礎実習オリエンテーション (輸血・細胞プロセシング科　小林)		(講義) 診療の基礎 診察法・診断法(3) 胸部(肺) (内科学(呼吸器内科学分野)　八木)	
	9／11 金	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習
	9／12 土						

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第4週	9／14 月	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習
	9／15 火	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習
	9／16 水	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55
	9／17 木	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習
	9／18 金	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習
	9／19 土						

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第5週	9／21 月	敬老の日					
	9／22 火	国民の休日					
	9／23 水	秋分の日					
	9／24 木	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習
	9／25 金	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習
	9／26 土						

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第6週	9／28 月	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習
	9／29 火	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習
	9／30 水	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習		
	10／1 木	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習
	10／2 金	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習
	10／3 土						

令和8年度　Segment8　講義･実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第7週	10／5 月	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習
	10／6 火	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習
	10／7 水	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習		
	10／8 木	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習
	10／9 金	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習	（実習） 診療の基礎 臨床基礎実習
	10／10 土						

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第8週	10／12 月	スポーツの日					
	10／13 火	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習
	10／14 水	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習		
	10／15 木	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習	(実習) 診療の基礎 臨床基礎実習
	10／16 金						
	10／17 土	(試験) OSCE(8:00～17:00)					

令和8年度 Segment8 講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第9週	10／19 月	(講義) 東洋医学系 1. 漢方医学総論 (東洋医学研究所 木村)	(講義) 東洋医学系 2. 漢方医学の病態把握(1) (東洋医学研究所 河尻)	(講義) 医療・患者安全学 国際患者安全目標(JCI)① (医療安全科 清水)	(講義) 医療・患者安全学 国際患者安全目標(JCI)② (医療安全科 松村)	(講義) AI・データサイエンスと医療 1. EBM(概論) (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 花井)	(講義) AI・データサイエンスと医療 10. 臨床におけるEBM(糖尿病) (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 花井)
	10／20 火	(講義) 東洋医学系 3. 漢方医学の病態把握(2) (東洋医学研究所 宮川)	(講義) 東洋医学系 4. 漢方医学の診断法 (東洋医学研究所 宮川)	(講義) AI・データサイエンスと医療 2. EBM(診断、治療、予後) (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 野原)	(講義) AI・データサイエンスと医療 3. 診療ガイドラインの作成方法 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 佐藤)	(実習) 臨床基礎実習 CPCオリエンテーション (病理学(病態神経科学分野) 倉田)	(講義) AI・データサイエンスと医療 4. 臨床におけるEBM(関節リウマチ) (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 田中)
	10／21 水	(講義) 東洋医学系 5. 漢方薬について (東洋医学研究所 森永)	(講義) 東洋医学系 6. 漢方治療の実際(1) (東洋医学研究所 高橋)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 緩和ケア (内科学(消化器内科学分野) 高山)	(講義) AI・データサイエンスと医療 11. 臨床におけるEBM(消化器系疾患) (内科学(消化器内科学分野)中井)		
	10／22 木	女子医大祭の準備					
	10／23 金	女子医大祭					
	10／24 土	女子医大祭					

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI
第10週		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
	10／26 月	(講義) AI・データサイエンスと医療 5. 臨床におけるEBM（循環器疾患） （予防医学科　村崎）	(講義) AI・データサイエンスと医療 6. 臨床におけるEBM（脳血管疾患） （内科学（脳神経内科学分野）　星野）	(講義) 医療・患者安全学 医療安全（1）医療安全に関して （医療安全科　松村）	(講義) 医療・患者安全学 医療安全（2）インシデント・アクシデントリポートと原因分析 （医療安全科　松村）	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 生命倫理（1）「終末期ケアの理論」 （内科学（消化器内科学分野）　高山）	(講義) AI・データサイエンスと医療 7. 臨床におけるEBM（肺悪性腫瘍） （外科学（呼吸器外科学分野）　井坂）
	10／27 火	(講義) 国際コミュニケーション 医学分野の英語レクチャー① （麻酔科学（麻酔科学分野）　長坂、岡野、 統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、大野）	(講義) 国際コミュニケーション 医学分野の英語レクチャー ② Structure of H&P, synonyms （麻酔科学（麻酔科学分野）　長坂、岡野、 統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、大野）	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 行動科学（3）ストレスと行動科学 （埼玉医科大学総合医療センター　小林）	(実習) 「至誠と愛」の実践学修 行動科学（3）ストレスと行動科学・実習 （埼玉医科大学総合医療センター　小林）	(講義) オリエンテーション 臨床実習生証用写真撮影 （統合教育学修センター基礎教育学　松本、循環器内科　菊池）	
	10／28 水	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 患者中心医療 （内科学（消化器内科学分野）高山）	(講義) AI・データサイエンスと医療 8. 臨床におけるEBM（腎臓・高血圧） （内科学（腎臓内科学分野）　内田）	(講義) 医療・患者安全学 チームステップス演習（1） （医療安全科　清水）	(講義) 医療・患者安全学 チームステップス演習（2） （医療安全科　清水）		
	10／29 木	(講義) 国際コミュニケーション 医学分野の英語レクチャー③ ROS （麻酔科学（麻酔科学分野）　長坂、岡野、 統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、大野）	(講義) 国際コミュニケーション 医学分野の英語レクチャー④ Physical exams （麻酔科学（麻酔科学分野）　長坂、岡野、 統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、大野）	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 行動科学（4）「行動科学とは／保健医療行動と動機づけ」 （統合教育学修センター基礎教育学　諏訪 ）	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 行動科学（5）「行動変容ステージと各種アプローチ」 （統合教育学修センター基礎教育学　諏訪 ）		
	10／30 金	(講義) 東洋医学系 7. 漢方治療の実際(2) （東洋医学研究所　河尻）	(講義) 東洋医学系 8. 鍼灸総論 （東洋医学研究所　津嶋）	(講義) 医療・患者安全学 医療安全（3）ヒューマンエラー （医療安全科　清水）	(講義) 医療・患者安全学 医療安全（4）ノンテクニカルスキル～KYT /team STEPPS～ （医療安全科　清水）	(講義) AI・データサイエンスと医療 9. 臨床におけるEBM（呼吸器・アレルギー性疾患） （内科学（呼吸器内科学分野）　多賀谷）	(講義) AI・データサイエンスと医療 13. 臨床におけるEBM（内分泌外科） （外科学（内分泌外科学分野）　堀内）
	10／31 土	(試験)　PC室1 CBT追再試験（ブロック 1～2）		(試験)　PC室1 CBT追再試験（ブロック 3～7）			

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第11週	11／2 月	(講義) 国際コミュニケーション 医学分野の英語レクチャー⑤ PMHx, Allergy, Social Hx (麻酔科学(麻酔科学分野) 長坂、岡野、 統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、大野)	(講義) 国際コミュニケーション 医学分野の英語レクチャー⑥ Problem lists, based on HPI, ROS and exams (麻酔科学(麻酔科学分野) 長坂、岡野、 統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、大野)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 臨床研究倫理(2) (研究推進センター　佐藤、佐々木 、蒋池)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 臨床研究倫理(2)ワークショップ※収録配信なし、対面のみ (研究推進センター　佐藤、佐々木 、蒋池)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 臨床研究倫理(2)ワークショップ※収録配信なし、対面のみ (研究推進センター　佐藤、佐々木 、蒋池)	
	11／3 火	文化の日					
	11／4 水	(講義) 東洋医学系 9. 鍼灸各論 (東洋医学研究所　宮川)	(講義) 東洋医学系 10. 古典から学ぶ (東洋医学研究所　宮川)	(実習) 入門型臨床実習 遺伝カウンセリング全体説明 (ゲノム診療科　山本)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 キャリアを考える(5)「海外における卒後臨床研修」 (麻酔科学(麻酔科学分野) 長坂)		
	11／5 木		(講義) AI・データサイエンスと医療 12. 臨床におけるEBM(腹部外科疾患) (消化器・一般外科(消化管外科学))田村)	(実習) 「至誠と愛」の実践学修 災害医療(2)Psychological First Aid (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所　大沼)			
	11／6 金			(実習) 「至誠と愛」の実践学修 行動科学(6)行動変容の理論と技法 (埼玉医科大学総合医療センター　小林、精神医学(精神医学分野)　井上、辻)		(講義) 「至誠と愛」の実践学 キャリアを考える(6)「大学病院における臨床医」 (八千代医療センター　眼科　篠崎、消化器・一般外科　番場、足立医療センター　内科　遠井、眼科　山口)	
	11／7 土						

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00 – 10:10	Ⅱ 10:25 – 11:35	Ⅲ 12:30 – 13:40	Ⅳ 13:55 – 15:05	Ⅴ 15:15 – 16:25	Ⅵ 16:35 – 17:45
第12週	11／9 月	臨床基礎実習					
	11／10 火		(実習) 入門型臨床実習 遺伝カウンセリング実演 テュートリアル室17-33 (ゲノム診療科　山本)			(講義) 入門型臨床実習 感染予防と感染制御 (感染症科　菊池)	
	11／11 水		(講義) 「至誠と愛」の実践学修 ハンセン病問題から学ぶこと (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野)野原)	(講義) 国際コミュニケーション Conversation skills for history taking (lecture) (麻酔科学(麻酔科学分野)　長坂、岡野、統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、大野)	(講義) 国際コミュニケーション Conversation skills for history taking(hands-on) (麻酔科学(麻酔科学分野)　長坂、岡野、統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、大野)		
	11／12 木	保健所実習／臨床基礎実習					
	11／13 金	保健所実習／臨床基礎実習					
	11／14 土						

令和8年度　Segment8　講義･実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第13週	11／16 月						
	11／17 火		(試験) 202, 203 臨床基礎実習 CPC試験 病理学(人体病理学･病態神経科学分野) 倉田	(試験) 202, 203講義室 14:00～15:30 AI･データサイエンスと医療			
	11／18 水						
	11／19 木	(試験) 202, 203講義室 10:00～11:30 東洋医学系		(試験) 12:30～13:40 医療･患者安全学 202, 203講義室	(実習) 入門型臨床実習 入門型臨床実習まとめ･テスト 202・203講義室 (統合教育学修センター 基礎教育学　西井)		
	11／20 金	臨床基礎実習 国際コミュニケーション　英語模擬医療面接					
	11／21 土						

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第14週	11／23 月	勤労感謝の日					
	11／24 火	保健所実習／臨床基礎実習					
	11／25 水	臨床基礎実習 国際コミュニケーション　英語模擬医療面接					
	11／26 木	保健所実習／臨床基礎実習 国際コミュニケーション　英語模擬医療面接					
	11／27 金	(追再試験) 10:00～11:30 東洋医学系		(追再試験) 12:30～13:40 AI・データサイエンスと医療	(追再試験) 13:55～15:05 医療・患者安全学		
	11／28 土	(試験) CBT(ブロック1～2)(臨時追・再試験)		(試験) CBT(ブロック3～7)(臨時追・再試験)2回目			

令和8年度　Segment8　講義･実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第15週	11／30 月	臨床基礎実習					
	12／1 火	保健所実習／臨床基礎実習					
	12／2 水	臨床基礎実習					
	12／3 木	保健所実習／臨床基礎実習					
	12／4 金	臨床基礎実習					
	12／5 土	創立記念日					

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第16週	12／7 月	(実習) 臨床基礎実習 大実習室3 放射線診断演習オリエンテーション (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)		(実習) 臨床基礎実習 大実習室3 放射線診断演習① (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)		臨床基礎実習	
	12／8 火	保健所実習／臨床基礎実習 OSCE(臨時追・再試験)					
	12／9 水	臨床基礎実習		(実習) 臨床基礎実習 大実習室3 放射線診断演習② (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)			
	12／10 木	保健所実習／臨床基礎実習 OSCE(臨時追・再試験)					
	12／11 金	(実習) 臨床基礎実習 大実習室3 放射線診断演習③ (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)		(実習) 臨床基礎実習 大実習室3 放射線診断演習④ (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)		臨床基礎実習	
	12／12 土						

令和8年度　Segment8　講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第17週	12／14 月	(講義) 入門型臨床実習 診療参加型臨床実習のための放射線安全講習会 （放射線医学（画像診断学・核医学分野）　坂井）		(講義) 入門型臨床実習 臨床実習の前に、臨床現場を模擬体験しよう！ （統合教育学修センター西井、土井、林、鈴木　看護部　河合）			
	12／15 火	保健所実習／臨床基礎実習					
	12／16 水	(講義) 入門型臨床実習 臨床実習の前に、臨床現場を模擬体験しよう！ （統合教育学修センター西井、土井、林、鈴木　看護部　河合）	(講義) 入門型臨床実習 薬物治療の安全確保と適正化 （薬剤部　塩川）	(講義) 入門型臨床実習 医療安全啓発センター/チーム医療(1) （医療安全科　世川）	(講義) 入門型臨床実習 医療安全啓発センター/チーム医療(2) （医療安全科　世川）		
	12／17 木	保健所実習／臨床基礎実習					
	12／18 金	(講義) オリエンテーション セグメント9臨床実習前オリエンテーション （消化器・一般外科（消化管外科学）山口） （統合教育学修センター基礎教育学　松本） （内科学（循環器内科学分野）菊池）（予防医学科　村崎）		(講義) 病院実習総論 I 国家試験問題演習の学修方法 （統合教育学修センター基礎教育学　西井）	(講義) 入門型臨床実習 電子カルテシステム、医療情報の取り扱い、個人情報の保護① （未定）	(講義) 入門型臨床実習 電子カルテシステム、医療情報の取り扱い、個人情報の保護② （未定）	
	12／19 土	白衣授与式（10:30～12:00）					